

# 医史学関係文献目録 (五十音順)

平成19(2007)年

順天堂大学医史学研究室編

- |                   |                  |                         |
|-------------------|------------------|-------------------------|
| 01 単行本            | 23 疾病史           | 45 皮膚科史                 |
| 02 医学切手・書画        | 24 耳鼻咽喉科史        | 46 泌尿器科史                |
| 03 医学教育           | 25 種痘史           | 47 病院史                  |
| 04 医学用語           | 26 獣医学史          | 48 病跡学                  |
| 05 医師会・学会         | 27 書簡            | 49 病理学史                 |
| 06 医史学一般          | 28 書誌学           | 50 風俗史                  |
| 07 医の倫理           | 29 小児科史          | 51 仏教医学史                |
| 08 医療器械           | 30 神経学史          | 52 法医学史                 |
| 09 医療制度史・医療史      | 31 診断学史          | 53 放射線医学史               |
| 10 衛生・公衆衛生史・予防医学史 | 32 整形外科史         | 54 本草学史・博物学史            |
| 11 解剖学史           | 33 精神医学史         | 55 麻醉学史                 |
| 12 眼科史            | 34 生物学史          | 56 門人録                  |
| 13 看護史            | 35 西洋医学史         | 57 薬学史                  |
| 14 寄生虫学史          | 36 生化学史          | 58 蘭学史                  |
| 15 教室・大学史         | 37 生理学史          | 59 リハビリテーション関係史         |
| 16 軍陣医学史          | 38 地方史           | 60 検査                   |
| 17 形成外科学史         | 39 治療史           | 61 その他                  |
| 18 外科史            | 40 伝記            | 62 中国語文献                |
| 19 細菌学史           | 41 伝記(双)         | 63 韓国語文献                |
| 20 産婦人科史          | 42 伝染病史・防疫史・感染症史 | 64 欧文文献                 |
| 21 歯学史            | 43 東洋医学史・伝統医学史   | 今回は30, 34, 36, 52, 56にあ |
| 22 史跡・記念碑         | 44 内科史           | たる文献はありません。             |

## 01 単行本

今村英明『オランダ商館日誌と今村英生・今村明生一日蘭貿易や洋学の発展に貢献した阿蘭陀通詞の記録―』ブックコム

Ann Jannetta『The Vaccinators』Stanford University Press

先見創意の会『医療百論2007』日本医療総合研究所

中村光夫『神奈川の疱瘡神・II』

中村光夫『東京の疱瘡神・II』

ヴォルフガング・ミヒェル『中津市歴史民俗資料

館分館 医家史料館叢書IV』中津市歴史民俗資料館分館 医家史料館

ヴォルフガング・ミヒェル, 遠藤次郎, 中村輝子『村上医家史料館蔵の薬箱及びランビキについて』中津市教育委員会

山口拓史『第八高等学校―新制名古屋大学の包括学校①―』名古屋大学大学文書資料室

## 02 医学切手・書画

「掲載コラム「切手で見る皮膚科学」の紹介」小野公義『STETHOSCOPE』(189)3-5

- 「日本における赤十字思想の原点」小野公義『STETHOSCOPE』(188)3
- 「切手で医学散歩〈437〉-〈488〉ブリュッセルのヴェサリウス(1)他」金山知新『Medical Tribune』40(1-52)
- 「シーボルトの足跡を辿る旅 ライデン」金山知新『STETHOSCOPE』(187)7-13
- 「ルートヴィヒ2世の精神医学的考察」河部康男『STETHOSCOPE』(188)4-10
- 「絵双六「其紫湖月雙六」」酒井シヅ『CLINICIAN』(555)3-7
- 「歴史絵画に診る生活習慣病(抄)」篠田達明『長野県医学会雑誌』37,50
- 「コス島アスクレピエイオンでの「ヒポクラテスの誓い」」杉田克生『STETHOSCOPE』(189)9-13
- 「シーボルト紀行 ライデン」中村實郎『STETHOSCOPE』(187)3-6
- 「ルーマニアのメディフィラ Medifila について」羽生順一『STETHOSCOPE』(189)6-8
- 03 医学教育**
- 「オズーの人体解剖模型と日本(抄)(英語) J.T.L. Auzoux's 'Anatomie Clastique' and Japan」月澤美代子, ミヒェル・ヴォルフガング『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集(2007)』51-52, 91-92
- 「ポンペのオランダ語講義ノートの研究(抄)(英語) Research of the Dutch Lectures Notes by Pompe van Meerdervoort」相川忠臣, ハルメン・ボイケルス, 酒井シヅ, 山之内卯一『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集(2007)』47-48, 87-88
- 「【公衆衛生専門職の人材育成】公衆衛生大学院構想の歴史」青山英康『保健の科学』49(4)233-237
- 「理学療法士の卒前教育 日本における理学療法士教育の歴史の変遷」乾公美『理学療法ジャーナル』41(1)77-85
- 「新渡戸稲造の武士道から学ぶプロフェッショナルリズム 新渡戸稲造の「武士道」から何を学ぶか(抄)」植村和正『医学教育』38(Suppl.)5-6
- 「イギリスにおける女性医師養成の嚆矢 ロンドン女子医学校1874年~1884年」香川せつ子『西九州大学・佐賀短期大学紀要』(37)43-52
- 「【総合診療への誘い 総合診療を語り尽くす】日本の総合医教育はどうあるべきか 自治医科大学の歴史と役割からの考察」梶井英治『カレントセラピー』25(10)814-818
- 「天保五年当時の華岡家「春林軒」における医学修業の実体について(一)一大森泰輔(不明堂三楽)の塾中日記「南遊雑記 一・二」の翻刻一」梶谷光弘『古代文化研究』15, 161-190
- 「15年戦争下の医学教育」神谷昭典『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』7(2)1-8
- 「柔道整復師養成施設指導要領, 専門基礎分野における「医学史」授業に関する生徒指導書についての一考(抄)」川東信秀『柔道整復・接骨医学』15(3)164
- 「ドイツ医学導入とわが国の医学教育(1) ミュルレル, ホフマンの着任」吉良枝郎『内科』99(1)145-147
- 「ドイツ医学導入とわが国の医学教育(2) ミュルレルのみた東校」吉良枝郎『内科』99(2)351-353
- 「ドイツ医学導入とわが国の医学教育(3) ドイツ人医学教師着任時の大学東校の学制」吉良枝郎『内科』99(3)557-559
- 「ドイツ医学導入とわが国の医学教育(4)-(5) 明治4, 5年の医学校の変革(1)-(2)」吉良枝郎『内科』99(4-5)727-729, 937-939
- 「ドイツ医学導入とわが国の医学教育(6) 明治4, 5年の医学校の変革(3)」吉良枝郎『内科』100(1)168-170
- 「ドイツ医学導入とわが国の医学教育(7) 来日ドイツ人医学教師」吉良枝郎『内科』100(2)366-368
- 「ドイツ医学導入とわが国の医学教育(8) 動き出した東京医学校課程」吉良枝郎『内科』100(3)567-569
- 「ドイツ医学導入とわが国の医学教育(9) ドイツ人教師申報でみた当時の教育」吉良枝郎『内科』100(4)767-769

- 「ドイツ医学導入とわが国の医学教育（10）明治初期の予科，本科医学生」吉良枝郎『内科』100(5)977-979
- 「ドイツ医学導入とわが国の医学教育（11・最終回）医学士は各県に派遣された」吉良枝郎『内科』100(6)1362-1364
- 「ベルツの東京医学校における医学教育」榊原正義『日独文化交流史研究』(9)
- 「【我が国の近代解剖教育の歴史をめぐって】日本の献体活動 献体法制定の前後」佐藤達夫『解剖学雑誌』82(2)63-71
- 「日本の近代科学への道—ポンペ・ファン・メーデルフォールトの化学講義—（抄）（英語）Gate To Modern Chemistry in Japan — Lecture by Pompe van Meerdervoort at Nagasaki —」芝哲夫『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集（2007）』34-35, 76-77
- 「ポンペの地球環境科学：鉱物，気象，海水浴と牛乳飲用の奨励（抄）（英語）Pompe's Works related to Science on Earth and Environment: Mineral Collection, Weather Observation, Bathing at Beach and Drinking Milk」塚原東吾，財城真寿美，中上郁，大沢眞澄『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集（2007）』28, 70
- 「新渡戸稲造の武士道から学ぶプロフェッショナルリズム 日本の歴史から学ぶ医学教育という視点（抄）」錦織宏『医学教育』38(Suppl.)5
- 「高木兼寛の健康教育観に関する研究（第二報）—臨時教育会議での高等・大学教育改善に関する発言内容から（抄）」芳賀佐和子，平尾真智子，蝦名總子『日本医史学雑誌』53(1)70-71
- 「オックスフォード大学における科学的医学及び医学教育の発展 1858-1904年（抄）（英語）The Development of Scientific Medicine and Medical Education at the University of Oxford (1858-1904)」姫野友紀子『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集（2007）』30, 72
- 進化（英語）(Historical evolution of anatomical terminology from ancient to modern)」Sakai Tatsuo『Anatomical Science International』82(2)65-81
- 「健康」の語誌的研究」青木純一，北野与一『東横学園女子短期大学紀要』(41)1-16
- 「食育」という用語の嚆矢は明治29年（抄）」金子俊，丸井英二『日本公衆衛生学会総会抄録集』66回，276
- 「PCIとPTCAの概念と名称の変遷」木村剛『日本医事新報』(4352)89-90
- 「代替医療「12話」 統合へ向けた理解のために 西洋の代表的な代替医療「ホメオパシー」」小池弘人『看護技術』53(8)80-81
- 「アンケート特集「湿疹」という診断名を日常診療で使いますか？「湿疹」という病名を少なくする努力が必要」中山秀夫『皮膚病診療』29(3)341-342
- 「関場不二彦著「西医学東漸史話」について（第5報）—「外科」という呼称の由来について—（抄）」秦温信，松岡伸一，大西勝憲，関谷千尋，佐野文男，島田保久，鮫島夏樹『薬史学雑誌』42(2)164
- 「関場不二彦著「西医学東漸史話」にみられる「外科」という呼称の由来について」秦温信，松岡伸一，大西勝憲，関谷千尋，佐野文男，島田保久，鮫島夏樹『北辰』(8)17-29

#### 05 医師会・学会

- 「英国自然人類学会の傾向（英語）（抄）(Trends of academic societies for physical anthropology in UK)」Shimizu D.『Anthropological Science』115(3)267
- 「米国自然人類学会の最近の傾向（英語）（抄）(Recent Trends within the American Association of Physical Anthropologists)」Seguchi N.『Anthropological Science』115(3)267
- 「日本の顎咬合学会の歩み 日本顎咬合学会創立25周年にあたり」大矢政男『日本顎咬合学会誌：咬み合わせの科学』27(3)220-229
- 「日本看護福祉学会20年の歩みとこれから」岡崎美智子『日本看護福祉学会誌』13(1)27-32

#### 04 医学用語

「古代から現代迄の解剖学的専門用語の歴史的

「随想老年医学 日本老年医学会の半世紀の変遷」

小澤利男『Geriatric Medicine』45(8)1033-1036

「日本腹部救急医学会の設立とその後の展開(抄)」

北島政樹『日本腹部救急医学会雑誌』27(2)251

「看取りの心 Watch with Me ホスピスケア研究会

20年の歩みを通して」季羽倭文子『ホスピスケア』18(1)43-59

「糖尿病の歴史 アメリカ糖尿病学会(American

Diabetes Association, ADA)の設立と初期のエピソード」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』6(5)861-865

「糖尿病の歴史 初期のアメリカ糖尿病学会 第

2次大戦後の頃」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』6(6)1035-1037

「日米欧薬史学会ウェブサイトの比較(抄)」五位

野政彦, 宮崎啓一『薬史学雑誌』42(2)183

「「富山大学薬学文献研究会」の66年間のあゆみ」

酒井秀紀, 岩島誠『薬学図書館』52(2)178-180

「荘内医学会會報第百八十四号について」佐藤允

男『北陸医史』28(1)12-22

「長崎における薬剤師会の設立と活動(抄)」永田

修一『薬史学雑誌』42(2)188

「日本医学会と15年戦争」西山勝夫『15年戦争と

日本の医学医療研究会会誌』7(1)17-21

「日本臨床化学会の今後 歴史的考察と将来展望

(抄)」登勉『臨床化学』36(Suppl.2)11

「アレルギー疾患の歴史 小児アレルギーの歴史

小児アレルギー学会(研究会)の発足とその前後」馬場実『アレルギー・免疫』14(4)528-530

「3代の理事長に聞く 日本小児アレルギー学会

の歩みとアレルギー臨床・研究の歴史」馬場実, 西間三馨, 森川昭廣, 近藤直実『日本小児アレルギー学会誌』21(5)749-778

「日本神経治療学会25年の歩み その成果と今後

の課題」平山恵造『神経治療学』24(6)615-622

「法人化した日本歯科麻酔学会の進むべき道」福

島和昭『日本歯科麻酔学会雑誌』35(1)1-9

「韓国医史学会第九回学術大会」真柳誠『日本医

史学雑誌』53(3)455

「黎明期の京都市学校医会(抄)」八木聖弥『日本

医史学雑誌』53(1)32-33

## 06 医史学一般

「江戸時代における人体内部の視覚化表現, 飲食

養生鑑(食生活のルール)及び房事養生鑑(性生活のルール)(英語)(Envisioning the inner body during the Edo period in Japan: Inshoku yojo kagami (Rules of Dietary Life) and Boji yojo kagami (Rules of Sexual Life))」Shirasugi Etsuo『Anatomical Science International』82(1)46-52

「がん緩和医療学の歴史的背景と現状」安達勇

『Skin Cancer』21(3)252-260

「日本医史学会平成一九年六月例会 シンポジウ

ム「医史学と文学—吉村昭氏を追悼して」四, 森嶋外の脚気問題と遺書」荒井保男『日本医史学雑誌』53(4)650-658

「江戸時代後期の「相対死」について(抄)」板原

和子, 桑原治雄『精神医学史研究』11(1)43

「紙の寶石 Exlibris ① 皮膚科医の蔵書票他」上

野賢一『大塚薬報』(627)67-70

「紙の寶石 Exlibris ② Paul Louis Alphee Cazenave

他蔵書票」上野賢一『大塚薬報』(628)65-68

「紙の寶石 Exlibris ③ Moriz Kaposi 他蔵書票」

上野賢一『大塚薬報』(629)61-64

「紙の寶石 Exlibris ④ Ludwig Waelsch 他蔵書票」

上野賢一『大塚薬報』(630)63-65

「紙の寶石 Exlibris ⑤ アスクレピオスの杖他」

上野賢一『大塚薬報』(631)63-65

「奨進医会—『医談』から『刀圭新報』へ—(抄)」

岡田靖雄『日本医史学雑誌』53(1)28-29

「日本医史学会平成一九年六月例会 シンポジウ

ム「医学史と文学—吉村昭氏を追悼して」一, 「医史学と文学」論序説—司会にあたって—」岡田靖雄『日本医史学雑誌』53(4)627-634

「〈資料〉日本近代医学史研究 余話」神谷昭典

『医学史研究2006-2007』(88)9-14

「医学史の旅(抄)」加美山茂利『産業衛生学雑誌』

49(3)112

「結核で亡くなった文豪 結核と文学 結核雑感」

喜多村悦史『予防医学ジャーナル』(424)22-24

「『宇治拾遺物語』の中の身体に関わる表現(抄)」

計良吉則『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』49

- 『今昔物語集』の中の身体に関わる表現（二抄）計良吉則『日本医史学雑誌』53（1）146-147
- 「痛み」の歴史について」酒井明夫『東北矯正歯科学会雑誌』15（1）29-36
- 「医学史から vol.1 インフルエンザ」酒井シヅ『すこやか健保』701,2
- 「医学史から vol.2 ワクチンの由来」酒井シヅ『すこやか健保』702,2
- 「医学史から vol.3 麻疹」酒井シヅ『すこやか健保』703,2
- 「医学史から vol.4 五臓六腑にない臓器」酒井シヅ『すこやか健保』704,2
- 「医学史から vol.5 現代の鬱病と江戸時代の気鬱症」酒井シヅ『すこやか健保』705,2
- 「医学史から vol.6 灸」酒井シヅ『すこやか健保』706,2
- 「医学史から vol.7 頭痛」酒井シヅ『すこやか健保』707,2
- 「医学史から vol.8 消えた江戸の病名，癩・霍乱・瘧」酒井シヅ『すこやか健保』708,2
- 「医学史から vol.9 「ヘソ」の話」酒井シヅ『すこやか健保』709,2
- 「医の歴史 現代医学へ向けて出発」酒井シヅ『日本医師会雑誌』135（10）2221-2225
- 「医の歴史 ドイツ医学の台頭」酒井シヅ『日本医師会雑誌』135（11）2378-2381
- 「医の歴史 現代外科の前夜」酒井シヅ『日本医師会雑誌』135（12）2540-2543
- 「日本医史学会平成一九年六月例会 シンポジウム「医史学と文学—吉村昭氏を追悼して」二，吉村昭作品考 医学史関係」酒井シヅ『日本医史学雑誌』53（4）635-641
- 「新・カルテ万華鏡 健康維持のための石」澤田祐介『臨床看護』33（5）788-791
- 「新・カルテ万華鏡 蛇は一匹か？それとも二匹か？」澤田祐介『臨床看護』33（14）2217-2220
- 「医療史回り舞台 ひょっとこ面はひょっとして顔面神経麻痺か」篠田達明『整形・災害外科』50（1）55
- 「医療史回り舞台 建て替えられた蘭医ボードインの胸像」篠田達明『整形・災害外科』50（2）156
- 「医療史回り舞台 秀吉の温泉リハビリテーション」篠田達明『整形・災害外科』50（3）244
- 「医療史回り舞台 平安貴族藤原道長のメタボリック・シンドローム」篠田達明『整形・災害外科』50（7）802
- 「医療史回り舞台 大磯に海水浴場を開いた幕末明治の医師松本良順」篠田達明『整形・災害外科』50（10）1132
- 「医療史回り舞台 『風林火山』の主人公山本勘助の低身長症」篠田達明『整形・災害外科』50（12）1445
- 「医療史回り舞台 古代エジプト・ハトシェプスト女王の腰椎前彎」篠田達明『整形・災害外科』50（13）1558
- 「お迎えの時の迎え方」篠田達明『老健：全国老人保健施設協会機関誌』18（9）34-37
- 「日本医史学会平成一九年六月例会 シンポジウム「医史学と文学—吉村昭氏を追悼して」三，医療史に支えられて時代小説・歴史小説をかく」篠田達明『日本医史学雑誌』53（4）642-649
- 「最近二十年の中国における医学文化史研究の概要（抄）」朱建平『日本医史学雑誌』53（2）333-334
- 「知識をいかに体系化するか 情報の入力と整理 医学史と科学史の偉人の肖像」諏訪邦夫『LiSA』14（7）712-713
- 「【Population — based Medicine の教育 個人から集団へ】わが国のPBM教育の歴史と現状」多田羅浩三『医学教育』38（2）75-78
- 「誰が病気を見たでしょう 4650年間の物語 古代の人は病気を見たか」館野之男『日本胸部臨床』66（7）600-606
- 「近世自家医学遺産の諸分析（抄）」田中祐尾『日本医史学雑誌』53（1）7-10
- 「幕医・藩医の社会的地位に関する基礎的考察」張基善『国史談話会雑誌』（48）
- 「【ライフスパンと健康・体力づくり】健康・体力づくりの歴史」内藤久士『体育の科学』57（6）451-456

- 「“シーボルトの足跡を辿る旅” ドイツ各地で歓迎を受ける」中西淳朗『日本医史学雑誌』53(2) 326-327
- 「備忘録から その六 バイラインを読む」中山宏明『ミクروسコピア』24(1) 29-31
- 「備忘録から その七—その八 グラム染色の百年(上)(下)」中山宏明『ミクロスコピア』24(2-3) 117-119, 209-211
- 「備忘録から その九 考古学者にして病理学者 中山平次郎の生き方」中山宏明『ミクロスコピア』24(4) 305-307
- 「院政と病草紙(抄)」西巻明彦, 屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』27(2) 112-113
- 「法蘭院病中日記」と島田筑波」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』53(2) 249-270
- 「長崎居留地と西洋医学(抄)」ブライアン・パークガフニ『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』76-77
- 「健康をめぐる歴史パノラマ ヒポクラテスにみる健康」真壁伍郎『総合看護』42(1) 17-29
- 「健康をめぐる歴史パノラマ ソクラテスの対話のなかでの健康」真壁伍郎『総合看護』42(2) 13-29
- 「健康をめぐる歴史パノラマ 古代ローマ」真壁伍郎『総合看護』42(3) 17-33
- 「健康をめぐる歴史パノラマ ガレノス」真壁伍郎『総合看護』42(4) 35-48
- 「日本医薬・博物著述年表の編纂(抄)」真柳誠『日本医史学雑誌』53(1) 80-81
- 「20世紀から21世紀に向けて, 医学史領域における討議すべて重要な課題について」提案をめぐる」水野洋『医学史研究2006-2007』(88) 1-4
- 「越境と知的好奇心—近代医学へ至る道について(抄)(英語) Frontier Crossing and Intellectual Curiosity — On the Road Toward the Modernization of Japanese Medicine」ミヒェル・ヴォルフガング『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集(2007)』16-17, 58-59
- 「近代医療を支えるものは何か ノーベル医学・生理学賞」森昌彦『歯科医療』21(2) 129-138
- 「食の来た道, 1000年 食育, 食のいく道 食べてよいもの, 悪いもの」山下光雄『食生活』101(8) 40-43
- 「養生訓に見る健康論と理学療法(抄)」山本洋之『理学療法学』34(Suppl. 2) 566
- 「『通史 日本の科学技術 世紀転換期1995~2005』について」吉岡斉『医学史研究』(89) 17-21

## 07 医の倫理

- 「生と死の医学 死生観とホスピス」柏木哲夫『総合臨床』56(10) 2904-2908
- 「臨床研究/臨床試験における被験者保護 生命倫理と研究倫理の歴史」齋藤有紀子『臨床薬理』38(4) 241-244
- 「発病モデルと回復モデル 歴史的・理論的検討」田辺英『医学哲学医学倫理』(25) 1-10
- 「病気とは何か 生物学的規範性をめぐる哲学的考察」田辺英『防衛医科大学校雑誌』32(3) 134-142
- 「HIV研究の新たな交差点を求めて 社会は何をどう経験してきたか 医学史・生命倫理学の視点から(抄)」中島理暁『日本エイズ学会誌』9(4) 377
- 「日本における生命倫理政策の歴史的展開 生命倫理委員会の合意形成」額賀淑郎, 金一裕之, 赤林朗『生命倫理』17(1) 65-73

## 08 医療器械

- 「植え込み型心臓ペースメーカーの電池の歴史と上手な使い方」青木和一『医工学治療』19(1) 17-22
- 「【ワークショップ 進化するESD】序説 早期胃癌に対する内視鏡治療の歴史 温故知新」赤松泰次『消化器内視鏡』19(5) 654-655
- 「明治時代の国産顕微鏡に関する覚書」井上了『医譚』(103) 5218-5226
- 「胃学のあゆみ 胃を覗いた最初の人」岡部進『消化器の臨床』10(1) 97-99
- 「【気管支鏡手技を用いた医療の最新動向】気管支鏡の歴史」金子昌弘『呼吸と循環』55(2) 137-144

- 「先達からのメッセージ 直視内視鏡時代の幕開けまたは食道内視鏡の黎明（抄）」熊谷義也『Gastroenterological Endoscopy』49 (Suppl. 1) 612
- 「乳癌の早期診断にマンモグラフィ・ゼログラフィを開発した Jacob Gershon-Cohen (1899-1971) 『Mamma』(57) 表2
- 「インターネットでみる『呼吸器』 pH測定の世界史 ハーバーのガラス電極発明とベックマンの商品化」諏訪邦夫『呼吸』26 (1) 108-110
- 「64例マルチスライスCT (MDCT) 装置導入での経験 CT装置の歴史の変遷を振り返りながら」高島宏輔『徳島県立中央病院医学雑誌』28, 107-114
- 「【消化管の拡大内視鏡観察2007】拡大内視鏡の歴史」田尻久雄『胃と腸』42 (5) 529-533
- 「【どう使う経鼻内視鏡】経鼻内視鏡の歴史と臨床的意義」多田正大『消化器内視鏡』19 (4) 537-543
- 「血圧測定計の歴史 家庭血圧計や携帯式自動血圧計などの進歩」朽久保修『血圧』14 (2) 213-219
- 「血圧測定計の歴史 血圧測定法の展望」朽久保修『血圧』14 (4) 446-454
- 「胃カメラの開発と改良（抄）」丹羽寛文『Gastroenterological Endoscopy』49 (Suppl. 1) 596
- 「胃カメラの開発とその後の発展」丹羽寛文『Gastroenterological Endoscopy』49 (7) 1615-1638
- 「消化管内視鏡の発展を迎えるその二十二 治療内視鏡の始まりとその後の発展」丹羽寛文『ミクロスコピア』24 (1) 42-46
- 「PET装置の過去・現在・未来 開発された過去のPET装置（抄）」野原功全『核医学』44 (3) 170
- 「戦後の耳鼻咽喉科診療システムを変えた国産製診療ユニット第1号機誕生」松永喬『JOHNS』23 (1) 106-109
- 「江戸・明治期の貿易・販売資料に見られる西洋式医科器械について（抄）」ミヒェル・ヴォルフガング『日本医史学雑誌』53 (1) 84-85
- 「近代医療を支えるものは何か 顕微鏡の発達」森昌彦『歯科医療』21 (3) 135-147
- 「先達からのメッセージ 内視鏡発達の裏面史（抄）」渡辺豊『Gastroenterological Endoscopy』49 (Suppl. 1) 615
- 09 医療制度史・医療史**
- 「医療利用組合巡礼 滋賀県江南医療購買利用組合連合会甲賀病院 時局匡救医療救護事業・医療利用組合・国民健康保険」青木郁夫『日本医療経済学会会報』26 (1) 25-51
- 「時局匡救医療救護事業の医療政策史上の位置 京都府における事業展開を事例として」青木郁夫『日本医療経済学会会報』27 (1) 1-48
- 「現制度創立経緯について（抄）」青木照明『日本外科学会雑誌』108 (臨増2) 49
- 「船員保険制度の由来」朝日健二『日本医事新報』(4347) 99-100
- 「補遺 病院医療の歴史的始原」亥口勝彦『医譚』(103) 5241-5242
- 「近世村社会における村医者の活動—島原藩豊州御領の事例について—」内田鉄平『大分県地方史』(198)
- 「大正・昭和初期における鍼灸医師法制定請願運動（抄）」奥津貴子『日本医史学雑誌』53 (1) 108-109
- 「臨床検査における保険診療の歴史 診療報酬と新規保険収載項目認可の変遷」河口勝憲，河口宏美，市原清志『医学検査』56 (7) 1054-1065
- 「日本赤十字社の災害救護関連規則の歴史」川原由佳里，吉川龍子，川島みどり『日本看護歴史学会誌』(20) 10-21
- 「シャーマニズムと近代・意識変容に対する評価の変遷を通して」塩月亮子『南島史学』(70)
- 「保健機能食品制度の歴史と今後の展望 機能性食品から特定保健用食品へ」清水俊雄『Functional Food』1 (1) 85-89
- 「第二次大戦前のアメリカ医療保険制度に関する一考察（下）」朱 賢『東京薬科大学研究紀要』(10) 27-35
- 「戦前，占領期の保健医療政策の分析を通じての現在の保健医療制度の考察」杉田聡，森山敬子『生存科学B』17, 81-97
- 「戦後沖縄の保健・医療行政（その一）—アメリカ統治下の保健・医療システム—（抄）」杉山

- 童子『日本医史学雑誌』53(1)106-107
- 「1920年イギリス『ドーン報告』の再評価 階級的視点から」鶴田禎人『日本医療経済学会会報』27(1)49-78
- 「【沖縄の公衆衛生・看護に学ぶ】米国による戦後沖縄の保健医療政策」等々力英美『保健の科学』49(11)738-743
- 「長与専斎—医療体制確立への闘い—(抄)」外山幹夫『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』38
- 「わが国の介護福祉士制度の源流 兵庫県における福祉介護士認定制度(1986年)の歴史的意義の考察」中嶋洋『介護福祉学』14(2)151-162
- 「〈資料紹介〉1953年厚生大臣官房統計調査資料室「蔵書目録」(昭和28年3月末調査)について」野村拓『医学史研究2006-2007』(88)5-8
- 「【学校精神保健】生徒指導と学校精神保健 学校を取り巻く社会の変化を通して」花井正樹『児童青年精神医学とその近接領域』48(2)131-136
- 「【転換期を迎えた精神科病院と地域生活支援】戦後の精神科病院施策の変遷」広田伊蘇夫『精神医療』(48)36-43
- 「学校薬剤師制度の今日的意義(抄)」宮本法子, 高橋文『薬史学雑誌』42(2)182
- 「改革! 研修医制度 理想の医師を目指して」森谷薫, 柳沼和史, 屋代牧子, 山田茜, 山田玲央, 吉田栄継, 蓬田翔太, 渡辺功, 渡辺宏剛, 藁谷陽子『福島医学雑誌』57(3)195-200
- 「医と薬の相克—Apothecaries' Actの成立を巡って(抄)」柳澤波香『薬史学雑誌』42(2)171
- 「日本における薬学, 薬剤師が誕生してから150年(抄)」山川浩司『薬史学雑誌』42(2)184
- 「わが国の予防接種制度についての歴史的一考察」渡部幹夫『民俗衛生』73(6)243-253
- 「近代日本における医療の有効性とリスクの研究(抄)」渡部幹夫, 坂本なほ子, 鈴木晃仁, 永島剛『医療看護研究』3(1)119
- (英語)(抄)(THE HISTORY AND VIEWS ON KANSAI INTERNATIONAL HEALTH STUDY SOCIETY, NAMED “BOTIBOTI”) Okada Sachie, Hashimoto Hiroyuki, Ogura Kenichiro, Danno Katsura『国際保健医療』22(4)277-278
- 「出土骨の鉛濃度解析による江戸時代の鉛汚染の研究(英語)(抄)(The search of lead pollutant in Edo Era by the analysis of concentrations of lead in excavated bones)」Kakinuma Y., Yoshinaga J., Kondo O., Katayama K., Fujisawa S., Yoneda M.『Anthropological Science』115(3)248
- 「日本のBCGワクチンの歴史的考察(英語)(Historical Review of BCG Vaccine in Japan)」Yamamoto Saburo, Yamamoto Toshiko『Japanese Journal of Infectious Diseases』60(6)331-336
- 「【予防接種Q&A】わが国のポリオとポリオワクチンの歴史」庵原俊昭『小児内科』39(10)1640-1643
- 「【高齢者の心身機能を高めるマッサージ】五千年の歴史をもつインド哲学の深い知恵から生まれたヨーガは, 高齢者の介護予防の一翼も担える効果がある これからの介護とヨーガ療法」小野矩子『GPnet』54(2)48-52
- 「【予防接種Q&A】わが国のインフルエンザとインフルエンザワクチンの歴史」柏木征三郎『小児内科』39(10)1846-1849
- 「肥満の今昔」片岡邦三『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』6(1)113-115
- 「【予防接種Q&A】予防接種の歴史」神谷齊『小児内科』39(10)1448-1452
- 「明治・大正期における東京の湯屋に対する法的規制の展開(抄)」川端美季『日本公衆衛生学会総会抄録集』66回, 344
- 「公衆浴場法における営業者の役割(抄)」川端美季『日本医史学雑誌』53(1)74-75
- 「作業環境管理の歴史的変遷」興重治『日本労働衛生工学会・作業環境測定研究発表会抄録集』47回・28回, 202-211
- 「戦後日本における栄養と食事: GHQ/PHW書類の研究(英語)(抄)(Nutrition and Diet in Postwar Japan: A Study of GHQ/PHW Documents)」シャピ

## 10 衛生・公衆衛生史・予防医学史

「関西国際保健勉強会「ぼちぼち」の歴史と展望



- ロ美奈，杉田聡，丸井英二『日本公衆衛生学会総会抄録集』66回，620
- 「【予防接種Q&A】わが国のB型肝炎とB型肝炎ワクチンの歴史」白木和夫『小児内科』39(10)1874-1877
- 「明治初期の衛生化学と足尾鋇山鋇毒事件（抄）」末廣雅也，川瀬清『薬史学雑誌』42(2)178
- 「【予防接種Q&A】わが国の水痘と水痘ワクチンの歴史」須賀定雄，浅野喜造『小児内科』39(10)1792-1795
- 「大正期学校衛生史の研究（四）石原喜久太郎（抄）」杉浦守邦『日本医史学雑誌』53(1)76-77
- 「占領期におけるLARA物資の実証的研究（抄）」杉田聡，森山敬子，田中誠二，丸井英二『日本公衆衛生学会総会抄録集』66回，665
- 「市場・共同体—明治期コレラを再考する（抄）」鈴木晃仁『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』60
- 「幕末沼津藩士の日記にみる養生～『水野伊織日記』の分析（抄）」鈴木則子『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』56
- 「【予防接種Q&A】わが国の日本脳炎と日本脳炎ワクチンの歴史」高崎智彦『小児内科』39(10)1766-1768
- 「健康環境管理の歴史の変遷」高田勗『日本労働衛生工学会・作業環境測定研究発表会抄録集』47回・28回，182-201
- 「占領期における天然痘の流行（1945-1951年）（抄）」田中誠二，杉田聡，森山敬子，丸井英二『日本公衆衛生学会総会抄録集』66回，597-598
- 「【予防接種Q&A】わが国の風疹，風疹ワクチンの歴史」多屋馨子『小児内科』39(10)1732-1736
- 「【予防接種Q&A】わが国の麻疹，麻疹ワクチンの歴史」寺田喜平『小児内科』39(10)1712-1714
- 「わが国初の狂犬病人体用ワクチン開発の経緯（抄）」唐仁原景昭『日本医史学雑誌』53(2)329-331
- 「【予防接種Q&A】わが国のジフテリア，百日咳，破傷風の歴史とそれぞれのワクチンの歴史」中島夏樹，加藤達夫『小児内科』39(10)1674-1677
- 「【予防接種Q&A】ムンプスとムンプスワクチンの歴史」中山哲夫『小児内科』39(10)1820-1824
- 「運動処方と予防医療「松本市熟年体育大学」の挑戦 松本市熟年体育大学の歴史（抄）」能勢博，根本賢一，井澤雅子，花岡正明，源野広和『体力科学』56(1)64
- 「産業医学いまむかし（44）職業体型と職業性変異」野村茂『労働の科学』62(1)38-39
- 「産業医学いまむかし（45）けい肺と石綿関連疾患」野村茂『労働の科学』62(2)100-101
- 「産業医学いまむかし（46）紡績女工の給食」野村茂『労働の科学』62(3)162-163
- 「産業医学いまむかし（47）労働者の健康と労働組合」野村茂『労働の科学』62(4)226-227
- 「産業医学いまむかし（48）産業安全と産業衛生と」野村茂『労働の科学』62(5)292-293
- 「産業医学いまむかし（49）産業疲労研究について」野村茂『労働の科学』62(6)350-351
- 「産業医学いまむかし（50・最終回）国際産業保健活動のこれから」野村茂『労働の科学』62(7)422-423
- 「日本の職業病を顧みて けい肺からアスベストまで（抄）」野村茂『産業衛生学雑誌』49(3)111
- 「戦中の労働衛生を語る（抄）」東田敏夫『産業衛生学雑誌』49(6)240
- 「鉛中毒の歴史に関する研究の回顧と展望（抄）」堀口俊一『産業衛生学雑誌』49(3)111
- 「昭和前半期の労働衛生と助川先生（2）戦前の石綿工場調査〈助川浩ほか「アスベスト工場における石綿肺の発生状況に関する調査研究」〉について（抄）」水野洋『産業衛生学雑誌』49(6)240
- 「【予防接種Q&A】結核の歴史とBCG接種の歩み」森享『小児内科』39(10)1612-1616
- 「日本の衛生行政における細菌検査の導入と普及（抄）（英語）The Introduction and Spread of Bacteria Tests in Sanitary Administrations in Japan」横

- 田陽子『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集(2007)』29, 71
- 「高野六郎一衛生行政の専門性に関する考え方の形成をめぐる一(抄)」横田陽子『日本医史学雑誌』53(1)86-87
- 「アンチエイジングの歴史と展望(抄)」米井嘉一『日本抗加齢医学会総会プログラム・抄録集』7回, 48
- 「わが国の予防接種制度についての歴史的一考察」渡部幹夫『民族衛生』73(6)243-252
- ## 11 解剖学史
- 「イラク・ハムリン盆地から出土した頭蓋骨の三次元幾何形態解析(英語)(抄)(Three-dimensional geometric morphometric analysis of the craniums excavated from the Himrin basin, Iraq)」Ogihara N., Makishima H., Ishida H.『Anthropological Science』115(3)270
- 「江戸時代に作製された最初の木製ヒト骨格模型, 星野木骨(英語)(The Hoshino wooden skeleton, the first wooden model of a human skeleton, made during the Edo era in Japan)」Kataoka Katsuko, Suzaki Etsuko, Ajima Noriaki『Anatomical Science International』82(1)38-45
- 「江戸時代の医師, 奥田万里は木製の完全ヒト骨格模型をなぜ, どのように作製したのか(英語)(Estimating how and why Dr. Okuda made a complete wooden human skeleton in the Edo era, Japan)」Baba Hisao『Anatomical Science International』82(1)31-37
- 「江戸時代の出土人骨から推測された通常ではない死体の利用方法(英語)(抄)(An extraordinary case on how to utilize the dead body in Edo era)」Sakaue K.『Anthropological Science』115(3)256
- 「江戸時代の人骨化石の四肢の割合(英語)(抄)(The Proportion of the Limb Segment to Edo Period Human Skeletal Remains)」Fujisawa S., Katayama K.『Anthropological Science』115(3)255
- 「鎌倉遺跡から出土した中世人骨のエナメル質減形成の頻度(英語)(抄)(Prevalence of dental enamel hypoplasia in the medieval human skeletons from Kamakura)」Sawada J., Nagaoka K., Hirata K.『Anthropological Science』115(3)257
- 「韓国金海市礼安里にて出土した人骨化石(英語)(抄)(Human skeletal remains from Yean-ri, Kimhae, Korea)」Takenaka M.『Anthropological Science』115(3)273
- 「韓国における人骨化石研究のバックグラウンド(英語)(抄)(The Background of Study on Human Skeletal Remains in Korea)」Yoshida Shunji『Anthropological Science』115(3)273
- 「韓国内山勸島遺跡より出土した人骨化石歯牙の人類学的研究(英語)(抄)(Dental anthropological studies on the Nukdo Skeletal remains, South Korea)」Fujita H.『Anthropological Science』115(3)273
- 「東北部における近世人類の頭蓋骨形態(英語)(抄)(Cranial morphology of early modern population in northern Tohoku)」Kawakubo Y., Hanihara T., Dodo Y.『Anthropological Science』115(3)255
- 「長崎県原城の本丸跡から1998~2003年の間に出土した人骨(英語)(抄)(Human skeletal remains excavated from the main castle area in the Hara-jo site, Nagasaki prefecture, between 1998 and 2003)」Wakebe T., Saiki K., Okamoto K.『Anthropological Science』115(3)255
- 「西アジアにおけるヒト頭蓋骨形態の多様性(英語)(抄)(Variations of human cranial morphology in Western Asia)」Kondo O.『Anthropological Science』115(3)269
- 「脳頭蓋骨と四肢骨計測値間の生態学的相関 短頭化現象問題の解決に向けて(英語)(Ecological correlations between neurocranial and limb bone measurements: toward the solution of the brachycephalization problem)」Mizoguchi Yuji『Anthropological Science』115(3)173-190
- 「東日本の頭蓋における顔面平坦度の地理的及び時代的变化(英語)(Geographical and temporal variation in facial flatness in the crania of eastern Japan)」Kawakubo Yoshinori『Anthropological Science』115(3)191-200

- 「南九州（宮崎県）の古墳から出土した人骨のミトコンドリアDNAの解析：一次報告（英語）（抄）（Mitochondrial DNA analysis of the Kofun skeletal remains from southern Kyushu (Miyazaki Pref.): Preliminary report)」 Saiki K., Yoshiura K., Niikawa N., Higashi N., Okamoto K., Wakebe T. 『Anthropological Science』 115 (3) 262
- 「南シナ海における先史人類の分布：特にベトナム中央部の Hoa Diem 地域（英語）（抄）（Pre-historic human dispersal across the South China Sea: focusing on the Hoa Diem site in central Vietnam)」 Yamagata M., Hoang B. C., Matsumura H., Cuong N. L., Tanaka K., Tawara K. 『Anthropological Science』 115 (3) 254
- 「由比ヶ浜南遺跡から出土した鎌倉人の同位体解析に基づく母乳育児パターンの再現（英語）（抄）（Reconstruction of the Breastfeeding Pattern Based on Isotopic Analysis of the Kamakura Population from the Yuigahama-Minami Site)」 Shimomi A., Hirata K., Yoneda M. 『Anthropological Science』 115 (3) 248
- 「由比ヶ浜南遺跡から出土した中世人骨における結核（英語）（抄）（Tuberculosis in the medieval human skeletons from Yuigahama-minami site)」 Hoshino K., Igarashi-Migitaka J., Sawada J., Nagaoka Y., Hirata K. 『Anthropological Science』 115 (3) 262
- 「ヨルダン南部の Tal'at Abydah Cairn 地域より発掘された前青銅器時代の Pastoral Nomads 人の人骨（英語）（抄）（Human Skeletal Remains of Early Bronze Age Pastoral Nomads from Tal'at Abydah Cairn Field, Southern Jordan)」 Hashimoto H., Fujii S. 『Anthropological Science』 115 (3) 246
- 「縄文人の活動様式 未成人四肢骨の骨幹断面形状からの考察 岡崎健治 『Anthropological Science』 115 (2) 109-125
- 「【我が国の近代解剖教育の歴史をめぐって】日本における解剖体の歴史」 香西豊子 『解剖学雑誌』 82 (1) 33-36
- 「近世日本の屍体供養」 香西豊子 『日本医史学雑誌』 53 (4) 531-544
- 「【我が国の近代解剖教育の歴史をめぐって】 明治後期の解剖学教育 魯迅と藤野先生の周辺」 坂井建雄 『解剖学雑誌』 82 (1) 21-31
- 「ガレノスとヴェサリウスの解剖学の比較研究（五）一骨を例にとりて」 坂井建雄 『日本医史学雑誌』 53 (1) 126-127
- 「ガレノス『骨について初心者のために』一ギリシャ語原典からの翻訳と考察」 坂井建雄, 池田黎太郎, 澤井直 『日本医史学雑誌』 53 (3) 353-421
- 「古代DNA分析による中世專業集落の形成過程の検討 村松白根遺跡出土人骨のミトコンドリアDNA分析」 坂井文博 『Anthropological Science』 115 (2) 85-95
- 「シルヴィウス解剖学書の情報源—ガレノスとの比較から—（抄）」 澤井直 『日本医史学雑誌』 53 (1) 128-129
- 「【我が国の近代解剖教育の歴史をめぐって】解剖学書誌から見た日本における近代解剖学の始め明治期について」 島田和幸 『解剖学雑誌』 82 (1) 9-20
- 「旧満州国における医学標本の収集について（抄）」 末永恵子 『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』 62
- 「神経の歴史散策 その十 顕微鏡の二人 マルセロ・マールピーギとアントニー・ファン・レーヴェンフック」 高垣玄吉郎 『ミクロスコピア』 24 (1) 35-41
- 「神経の歴史散策 その十一 ルネ・デカルトの神経生理学」 高垣玄吉郎 『ミクロスコピア』 24 (2) 123-128
- 「神経の歴史散策 その十二 被刺激性の概念 フランシス・グリソンとアルブレヒト・フォン・ハラール」 高垣玄吉郎 『ミクロスコピア』 24 (3) 215-220
- 「【我が国の近代解剖教育の歴史をめぐって】 明治初頭日本の解剖学教育と筋膜下の局所解剖学的表現を備えた人体解剖模型」 月澤美代子 『解剖学雑誌』 82 (1) 3-8
- 「大阪病院の人体模型—高橋正純訳『紙塑人体解剖譜』と大江伊兵衛の木製人体模型（抄）」 月澤美代子 『日本医史学雑誌』 53 (1) 30-31

- 「杉田玄白所蔵のターヘル、アナトミアの所在(抄)」寺畑喜朔『日本医史学雑誌』53(1)44-45
- 「適塾から先端医療まで なにわの医学, 過去から未来へ 解剖学の歴史(抄)」藤田尚男『日本医学会総会誌27回学術講演要旨』61
- 「清末刊行の中国文人体解剖学書について」松本秀士『日本医史学雑誌』53(4)545-568
- 「脳における『細小動脈の形態学』と『間藤細胞』に関する発見・研究の歴史(抄)」間藤方雄『日本脳神経外科救急学会プログラム・抄録集12回』40
- 「本邦篤志解剖第一号剖検の真相を巡って(Ⅰ)一本道史料により払拭された灰色の医史一」宮下舜一『北辰』(8)8-16

## 12 眼科史

- 「李氏朝鮮医学書「東医宝鑑」に書かれた眼病名」飯塚修三『日本の眼科』78(4)545-546
- 「【眼内炎症診療のこれから】History 桐沢型ぶどう膜炎(急性網膜壊死)の歴史的背景と病因」白井正彦『眼科プラクティス』16, 116-117
- 「眼科秘伝書から見えてくるもの(一)」奥沢康正, 園田真也『医譚』(103)5247-5287
- 「日本史における眼科学について(一)(1)土器・土偶における眼科学史的考察」奥沢康正, 園田真也『啓迪』(25)47-92
- 「【眼内炎症診療のこれから】History 偉人伝でたどる本邦のVogt-小柳-原田病の歴史」北市伸義, 大野重昭『眼科プラクティス』16, 178-180
- 「人工角膜の歴史と最近の話題(抄)」佐々木秀次『日本眼科学会雑誌』111(臨増)312
- 「長崎に遊学した眼科医達(抄)」園田真也『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』18
- 「コンタクトレンズ博物誌(その6)」田中英成『日本コンタクトレンズ学会誌』49(4)284-286
- 「『類證辨異全九集』所載の眼目門」中泉行弘, 林尋子, 斎藤仁男『臨床眼科』61(3)456-458
- 「福田分類の生い立ちと歩み」堀貞夫『日本眼科紀要』58(1)6-10

- 「視能学の黎明と盛衰」丸尾敏夫『日本視能訓練士協会誌』36(1)15-20
- 「日本の斜視の歴史」丸尾敏夫『日本眼科学会雑誌』111(1)44-45
- 「コンタクトレンズ博物誌(その5)」水谷由紀夫『日本コンタクトレンズ学会誌』49(2)135-137
- 「ボンベの眼科講義録について(抄)」山之内卯一, 相川忠臣, Harmen Beukers『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』64
- 「視覚障害者(児)に関する教育・福祉施設と制度の歴史的展開 現在の視覚障害者に関する教育・福祉の現状を理解するために」吉野由美子『日本ロービジョン学会誌』7(1)63-68

## 13 看護史

- 「歴史的文献とトラウベ聴診器の写真に関連した助産師の精神と妊婦の信頼(英語)(抄)(Midwife Spirit and Maternal Trust, Relating to the Historical Literatures and Photographs of Traube Stethoscope)」Shimotsu Ikuyo, Naitoh Naoko, Sasaki Mutsuko『女性心身医学』12(1-2)194
- 「日本赤十字社における看護婦像の構築過程 1890(明治23)年看護婦養成開始以前に着目して」阿部オリエ『日本看護歴史学会誌』(20)22-32
- 「青森県内看護師2年課程養成機関の史の変遷の分析(抄)」一戸とも子, 小山敦代, 大串靖子, 田中広美, 山本春江, 木村紀美, 早坂佳子『日本看護学教育学会誌』17(学術集会講演集)157
- 「教科書からみた戦後の看護倫理教育内容の変遷」伊藤千晴, 太田勝正『日本看護学教育学会誌』17(1)29-40
- 「教科書からみた戦後の看護倫理教育内容の変遷(抄)」伊藤千晴, 太田勝正『日本看護学教育学会誌』17(学術集会講演集)222
- 「通時的・統語論的視点から見たcareとcureの意味の相違 care概念を考えるひとつの視点として」江藤裕之『長野県看護大学紀要』9, 1-8
- 「マルコ・マリ・ド・ロ神父が助産師育成に使用した人体模型(抄)(英語)The Manikin That Marc Marie De ROTZ Used for Midwife Training」

- 大石和代，中尾優子，長岡清子，加藤奈智子『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集（2007）』31, 73
- 「アメリカで看護を実践してきた住吉蝶子が伝えたい看護」大石杉乃『看護教育』47（11）1012-1019
- 「戦後の看護改革で活躍したクリスチャンナースたち（抄）」大石杉乃『日本看護歴史学会第21回学術集会講演集』18-19
- 「占領期の医療・看護に関する出版物の検閲（三）—長野県における保健婦の活動（抄）」大石杉乃，喜多加奈子，平尾真智子，芳賀佐和子『日本医史学雑誌』53（1）100-101
- 「【助産師の歴史を学ぼう】今，求められている助産師の自立 現在にも誇るべき助産師界のリーダー，明治に，女医から産婆になった村松志保子の生涯から学ぶ」岡本喜代子『助産師』61（1）6-9
- 「表題に“ジェンダー”を含む研究の動向（1996-2005年）—医学中央雑誌の分類“看護”に焦点をあてて—」小川景子，横島啓子，近藤誓子，金澤喜生美『東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設論文集』29-33
- 「リハビリテーション看護の専門性確立に向けてリハビリテーション看護の歴史とこれからの課題（抄）」落合芙美子『The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine』44（Suppl.）S223
- 「大阪宣教師会議から京都看病婦学校へ—「もう一つの近代医療・看護」の細い系譜をたどる（抄）」小野尚香『日本医史学雑誌』53（1）34-35
- 「派出看護の黎明期にみる京都看病婦学校卒業生たちの諸相」小野尚香『医譚』（103）5288-5293
- 「【助産師の歴史を学ぼう】魔女と産婆の歴史から現代的意義を探る」加納尚美『助産師』61（1）20-25
- 「日本赤十字社病院・同中央病院における看護婦・人等養成に関する歴史的資料の基本調査 日本赤十字看護大学所蔵分について」川原由佳里，吉川龍子，川島みどり『日本赤十字看護大学紀要』（21）55-62
- 「日本の看護と高木兼寛先生」酒井シヅ『日本看護歴史学会誌』（20）1-8
- 「院内看護研究の動向 20年間の看護研究の内容分類と歴史」坂上節子，岡田理津子，最上和子，三沢市立三沢病院看護研究委員会『市立三沢病院医誌』15（1）25-27
- 「看護理論の変遷と現状および展望」城ヶ端初子，樋口京子『大阪市立大学看護学雑誌』3，1-11
- 「7,000人の新たな命と向き合った助産師 池田悦子女史の地域に根づいた活動」鈴木康江，西村正子，藤田小矢香，遠藤有里，前田隆子，池田智子，石原千絵子『助産雑誌』61（1）48-53
- 「あくまでも原発に反対，岩手県田野畑村の自然を守った元保健婦岩見ヒサ（抄）」鈴木るり子『日本公衆衛生学会総会抄録集』66回，344
- 「【私が受けた助産師教育】楽しかった助産婦学校を振り返って」高橋つや子『助産師』61（2）10-12
- 「占領期の看護婦再教育（抄）」滝内隆子『日本看護研究学会雑誌』30（3）280
- 「【手指衛生をきわめる】手指衛生の歴史的変遷」土屋香代子『臨床看護』33（3）293-296
- 「【私が受けた助産師教育】私の助産師教育の思い出と，日本助産師会80周年を迎えて助産師界の歴史を振り返る」永澤寿美『助産師』61（2）6-8
- 「江戸時代の家庭医学・看護書『病家須知』の現代語訳に取り組んで（抄）」中村節子『日本医史学雑誌』53（2）328-329
- 「平野重誠の『玉の卵槌』（一八三七）にみる凶年後の心得と看護（抄）」中村節子，平尾真智子『日本医史学雑誌』53（1）148-149
- 「【助産師の歴史を学ぼう】家庭分娩の時代の助産職 クライアントへのトータルケア」西川麦子『助産師』61（1）10-13
- 「【助産師の歴史を学ぼう】〈お産椅子〉の歴史と助産の場の変化」長谷川まゆ帆『助産師』61（1）26-33
- 「第二次世界大戦下における日本赤十字社の看護教育 福島支部救護看護婦生徒の疎開 舟越五百子『日本看護学会論文集：看護総合』（38）454-456

「看護教育者の眼 大学教育が担うもの 看護学教育内容の充実について 大学評価の歴史構造および評価の重層構造」三瓶眞貴子『総合看護』42(2)48-51

「看護教育者の眼 大学教育が担うもの 看護学教育内容の充実について 大学評価の歴史的歩みとその構造(続)」三瓶眞貴子『総合看護』42(1)62-65

「近江婦人慈善会蒲生支会の看病婦養成(一)」八木聖弥『啓迪』(25)21-43

「【看護教員養成とは何か】看護教員という存在 日本の看護教員養成制度の変遷から」屋宜譜美子『看護教育』48(11)950-956

「第2次世界大戦前における日本赤十字社の救護看護人長候補生養成」山崎裕二『日本赤十字看護大学紀要』(21)1-13

「看護職の形成 ナイチンゲールの看護観に基づいて」山崎律子『聖マリア学院紀要』21,17-23

「足浴が頭痛を緩和する看護技術から睡眠をうながす技術へと進展した背景要因」吉永亜子, 吉本照子『日本看護技術学会誌』6(1)70-77

#### 14 寄生虫学史

「A Chronological Research on Parasitic Endemic Disease, "Katayama-disease" (schistosomiasis japonica) in Hiroshima Prefecture in the 20th Century (The 3rd Communication on the Historical Research on schistosomiasis japonica in Hiroshima Prefecture)」Jun Maki, Masahiro Mikami, Hiroshi Sakagami, Masahiro Kuwada『薬史学雑誌』42(2)119-121

「〈資料紹介〉桃山時代の寄生虫学「針聞書」について」上野陽里『医学史研究2006-2007』(88)15-18

#### 15 教室・大学史

「満洲国立哈爾濱医科大学史攷」神谷昭典『医学史研究』(89)30-43

「東京大学心療内科の30年」久保木富房『心身医学』47(1)25-31

「長崎大学医学部創立150年にみる日本の医学・医療の発展」河野茂『日本医事新報』(4357)

73-78

「名古屋大学医学部の濫觴(抄)」高橋昭『日本医史学雑誌』53(1)68-69

「日本における心身医学の歩み 関西医科大学心療内科学講座の歩み/消化器心身医学研究科の歩み(抄)」中井吉英, 福永幹彦『心身医学』47(6)439

「精神科救急からデイケアまで 北里大学東病院精神神経疾患治療センターの20年」宮岡等『日本社会精神医学会雑誌』16(2)183-186

「北海道薬科大学創設胎動期の新事実(続き)新たな発掘資料(抄)」吉沢逸雄『薬史学雑誌』42(2)162

「北海道薬科大学創設胎動期の新事実(抄)」吉沢逸雄, 中川収『薬史学雑誌』42(2)158

#### 16 軍陣医学史

「『陸軍軍医学校防疫研究報告2部』の分析(その二) その研究に加担した医学者たち」蒔昭三『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』8(1)31-36

「100部隊について」刈田啓史郎『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』8(1)22-25

「旧陸軍軍医学校所蔵史料による医療史の再検証(抄)」木村益雄『医科器械学』77(4)221

「15年戦争と佳木斯医科大学」児玉健次『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』8(1)18-21

「日中戦争期の国際連盟による対中防疫支援と日本」末永恵子『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』8(1)41-47

「陸軍々医学舎長緒方惟準講述の「陸軍医務沿革史」(抄)」中山沃『日本医史学雑誌』53(1)26-27

「海軍軍医学校教科書における衛生史」野村拓『医学史研究2005-2006』(87)47-51

「戦争史研究と医学・医療問題 軍事史と医学史の接点を探る」吉田裕『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』8(1)1-7

#### 17 形成外科学史

「皮膚科・形成外科におけるレーザー光の貢献

脱毛医療について 歴史とレーザー脱毛機種について 機種による効果の違い（抄）野田宏子『日本レーザー医学会誌』28(3)288

## 18 外科史

「MNI (Montreal Neurological Institute) におけるてんかんの外科手術史（英語）（抄）（The History of Epilepsy Surgery at the MNI）」Diksic Mirko『日本脳神経外科学会総会 CD-ROM 抄録集』66回，1A-SO1-3

「日本におけるオフポンプ冠動脈バイパス術の歴史的背景と問題点ならびに率直なアドバイス（英語）（Historical Background and Current Problems of OPCAB in Japan and Some Candid Advice）」Osaka Shin-ichi『Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery』13(2)69-72

「日本の心臓外科の幕開け（英語）（Dawn of cardiac surgery in Japan）」Furuse Akira『General Thoracic and Cardiovascular Surgery』55(1)2-5

「【外科学の進歩と今後の展望】胃・十二指腸外科」愛甲孝『外科』69(4)408-414

「（質問）不整脈外科の歴史と現状についてご教示下さい」磯部文隆『循環制御』28(2)158-160

「【半月板損傷の治療と実際】半月板切除術の歴史的変遷」内尾祐司『関節外科』26(3)282-286

「外科学温故知新 胃癌外科」太田恵一郎『臨床外科』62(2)249-253

「消化器外科における手術手技の変遷 噴門側胃切除」岡島邦雄『外科治療』97(2)209-220

「【外科学の進歩と今後の展望】心臓外科 その歴史とわれわれがすすむべき道」小野稔，高木眞一『外科』69(4)374-379

「外科学温故知新 大腸外科」小野寺久『臨床外科』62(1)97-103

「外科学温故知新 ヘルニアの外科」柏木秀幸『臨床外科』62(7)937-943

「外科学温故知新 心臓外科（心臓移植）」川内基裕『臨床外科』62(12)1563-1570

「縫合糸の始まりとその後」河野通貴，松田圭二，高田忠敬『帝京医学雑誌』30(3)135-139

「【外科学の進歩と今後の展望】肝臓外科」國土典

宏，幕内雅敏『外科』69(4)422-427

「私の乳腺病理の歴史」坂元吾偉『乳癌の臨床』21(6)535-538

「【外科学温故知新】によせて 食道外科 ブールハーヴェ (Boerhaave) 症候群」佐藤裕『臨床外科』62(3)383-385

「連載企画「外科学温故知新」によせて 器械吻合の発展史」佐藤裕『臨床外科』62(2)255-258

「外科学温故知新 肛門外科」佐原力三郎，佐々木巖『臨床外科』62(10)1409-1416

「日本刀による創傷 明治9年神風党暴動時刀創の考察」高久暹，佐藤泰則，榎本友彦，高久馨『防衛衛生』54(4)109-113

「胃癌外科におけるリンパ節郭清の始まりとその展開 1910年前後からの実践 本道と逸脱 直腸癌外科 Miles，子宮癌外科 Wertheim の場合」高橋孝『臨床外科』62(1)81-91

「胃癌外科におけるリンパ節郭清の始まりとその展開 1910年前後から1930年代まで 欧米での展開」高橋孝『臨床外科』62(2)237-247

「胃癌外科におけるリンパ節郭清の始まりとその展開 1910年前後から1930年代まで わが国での展開」高橋孝『臨床外科』62(3)387-398

「胃癌外科におけるリンパ節郭清の始まりとその展開 1930年前後 三宅の『胃癌』その後とリンパ流の再検討」高橋孝『臨床外科』62(4)521-530

「胃癌外科におけるリンパ節郭清の始まりとその展開 1940~50年代の展開 展開の方向と米国での実践」高橋孝『臨床外科』62(5)703-715

「胃癌外科におけるリンパ節郭清の始まりとその展開 1940~1950年代の展開 系統的リンパ節郭清と日本」高橋孝『臨床外科』62(6)825-835

「胃癌外科におけるリンパ節郭清の始まりとその展開 1960年代以降 (1) 腸リンパ本幹，大動脈周囲リンパ節」高橋孝『臨床外科』62(7)947-961

「【外科学の進歩と今後の展望】内分泌外科」高見博『外科』69(4)391-395

「日本初の胃切除術の成功者」高山美治『日本医事新報』(4343)99-100

- 「外科学温故知新 膵臓外科」武田和憲『臨床外科』62(8)1083-1088
- 「明治11年「刀圭雑誌」第1号にみる血管結紮術(抄)」田中祐尾『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』61
- 「外科学温故知新 内視鏡下手術」田中淳一『臨床外科』62(9)1245-1257
- 「膵頭十二指腸切除における術後合併症とその対策 膵頭十二指腸切除後の致命的合併症を回避するための確実な対策(歴史的考察)(抄)」鳥正幸, 赤松大樹, 水谷伸, 吉留克英, 大山司, 上島成幸, 大森健, 仲原正明『日本臨床外科学会雑誌』68(増刊)387
- 「【外科学の進歩と今後の展望】膵臓外科」中尾昭公『外科』69(4)428-433
- 「消化器外科における手術手技の変遷 胃全摘術発展の歴史と現状, その問題点」中島聰總, 山口俊晴, 大山繁和, 比企直樹, 福永哲, 瀬戸泰之『外科治療』96(6)1029-1034
- 「【てんかん外科】脳梁離断術の歴史と手術適応」馬場啓至, 小野智憲, 戸田啓介, 馬場史郎『脳神経外科ジャーナル』16(3)177-183
- 「外科学温故知新 臓器移植」福永潔, 大河内信弘『臨床外科』62(6)811-816
- 「外科学温故知新 炎症性腸疾患の外科」二見喜太郎『臨床外科』62(3)375-381
- 「【外科学の進歩と今後の展望】食道外科」幕内博康『外科』69(4)402-407
- 「外科学温故知新 小児外科」松尾進『臨床外科』62(5)687-694
- 「外科学温故知新 肝臓外科」松股孝『臨床外科』62(4)531-535
- 「日本のてんかん外科の歴史とアジアの現況(抄)」真柳佳昭『日本脳神経外科学会総会CD-ROM抄録集』66回, 1A-SO1-2
- 「外科学温故知新 心臓外科(弁膜症)」三澤吉雄『臨床外科』62(13)1729-1734
- 「消化器外科における手術手技の変遷 肝切除」水本龍二『外科治療』97(6)639-646
- 「【肝内結石症】肝内結石症の歴史 時代的変遷と現状」森俊幸, 鈴木裕, 杉山政則, 跡見裕『外科治療』97(6)559-567
- 「外科学温故知新 胆道外科 Calotの三角」山口幸二, 家永淳, 田邊麗子, 佐藤典宏, 高畑俊一, 当間宏樹, 中村雅史, 田中雅夫『臨床外科』62(12)1571-1574
- 「脳神経外科手術手技に関する私見とその歴史的背景 選択的扁桃体海馬摘除術 Selective amygdalo-hippocampectomy SAHE」米川泰弘『Neurological Surgery』35(12)1183-1196

## 19 細菌学史

- 「【ウイルス研究の現在と展望】ウイルス研究の過去・現在・未来 RNAウイルス研究の流れと展望」野本明男『蛋白質・核酸・酵素』52(10)1045-1049
- 「腸内細菌群の分離・同定法とその歩み」古田格『臨床病理』55(8)726-733
- 「動物ウイルスの存続と自然宿主」山内一也『Virus Report』4(1)108-115

## 20 産婦人科史

- 「高血糖と妊娠成績：妊娠糖尿病の歴史的背景(英語)(Hyperglycaemia and Pregnancy Outcome: the historical background to Gestational Diabetes)」Hadden David R.『糖尿病と妊娠』7(1)12-16
- 「出産と生命 近代日本における出産と出産看護(英語)(抄)(Birth and Life Birth and Birth Attendance in Japan's Modern Era)」Miyataka Fumiko『女性心身医学』12(1-2)92
- 「出産と生命 中世日本における出産のシーンと疾患ケア(英語)(抄)(Birth and Life A Scene of Birth and Care for Disease in Medieval Japan)」Tabata Yasuko『女性心身医学』12(1-2)92
- 「胎状奇胎の悪性危険因子 歴史的コホート研究(英語)(抄)(Malignance Risk Factors of Hydatidiform Mole: Historical Cohort Study)」Prajatmo Heru『日本産科婦人科学会雑誌』59(2)772
- 「助産婦の歴史 近代の助産婦(251-262)」石原力『ペリネイタルケア』26(1-12)56-57, 191-193, 333-335, 421-423, 541-543, 629-631, 722-724, 836-837, 944-946, 1047-1050, 1130-1132,



1226-1228

- 「古代日本の説話に見る被膜児（抄）（英語）Children Born with a Caul Seen from the Ancient Japanese Tales」内野花『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集（2007）』26, 68
- 「月経用ナプキンの移り変わりについての検討（抄）」小野清美『母性衛生』48(3)135
- 「【腎と妊娠】妊娠高血圧症候群 その概念と変遷」佐藤和雄『腎と透析』63(5)721-731
- 「日本の避妊 その歴史と現状」庄野マリ『日仏医学』30(1)41-46
- 「思春期のリプロダクティブヘルス 我が国の思春期医療の歴史と現状」松本清一『周産期医学』37(8)941-944
- 「【不妊治療の問題点とその対策】体外受精学の史的展望」森崇英『産婦人科治療』95(2)120-126
- 「【母体救急】妊産婦死亡の歴史的推移」山崎峰夫『臨床婦人科産科』61(5)678-683

## 21 歯学史

- 「イラク人乳歯の形態学的特徴：過去6000年間の経時的根拠（英語）（抄）（Morphological characters of deciduous teeth in Iraq: diachronic evidence of the past 6000 years）」Kitagawa Y., Manabe Y., Oyamada J., Igawa K., Tsutsumida A., Kato K., Rokutanda A.『Anthropological Science』115(3)269
- 「鎌倉の由比ヶ浜南遺跡から発掘された中世期日本人の歯生状態における低いAMTL率（英語）（Low AMTL ratios in medieval Japanese dentition excavated from the Yuigahama-minami site in Kamakura）」Oyamada Joichi, Igawa K., Kitagawa Y., Manabe Y., Kato K., Matsushita T., Rokutanda A.『Anthropological Science』115(1)47-53
- 「上顎歯の過剰摩耗を伴う江戸時代の男性下顎のCT画像の報告（英語）（抄）（Reports of the Edo period male lower jaw by the CT image with excessive wear tooth of the upper jaw）」Yoshida S., Sato I., Kawai T., Asaumi R., Yosue T.『Anthropological Science』115(3)256
- 「中世日本人の齲蝕状態の地域差（英語）（抄）

（Regional difference in the dental caries condition of the medieval Japanese）」Oyamada Joichi, Igawa Kazunari, Kitagawa Yoshikazu, Manabe Yoshitaka, Kato Katsutomo, Matsushita Takayuki, Rokutanda Atsushi『Anthropological Science』115(3)258

- 「日本人の乳歯咬耗の経時的变化：予備報告（英語）（抄）（Temporal changes of the attrition in the deciduous dentition in Japanese: a preliminary report）」Suzuki T.『Anthropological Science』115(3)257
- 「【フッ化物を応用した新しい予防歯科システム】フッ化物応用の歴史，意義，分類」荒川浩久『歯科医療』21(3)4-13
- 「歯科医師とはなにか 歯科医師のための歯科医師の歴史（第1回）」飯塚哲夫『近代口腔科学研究会雑誌』33(3)244-259
- 「近代以前の日本人における下顎隆起の出現頻度について」大関紗織，五十嵐由里子『Anthropological Science』115(2)97-107
- 「今田見信が俯瞰していた医歯一元論・二元論—日本歯科学性格研究資料類纂 歯科公報（昭和16年）より—」加來洋子，山口秀紀，卯田昭夫，石橋肇，渋谷鉦，谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』27(2)128-135
- 「小児歯科学の100年」荻部洋行『日本歯科大学校友会・歯学会会報』33(1)2-5
- 「日本の歯科医療のあり方 その変遷と将来展望について」河村正昭『老年歯科医学』22(2)65-70
- 「新潟生命歯学部における歯科麻酔学講座の歴史現状と将来」東理十三雄『日本歯科大学校友会・歯学会会報』32(4)10-14
- 「日本大学歯科医学校とその第1回卒業生について（1）歯科医師死亡診断書交付問題を解決した参議院議員林了の生涯とその業績—主として佐藤運雄先生との関係を中心に—」工藤逸郎，三宅正彦，見崎徹，金山利吉，西山實，若松佳子，小室歳信，佐藤孜，納村晉吉，篠田宏司，太田肇『日本歯科医史学会々誌』27(1)27-39
- 「創設者入野賢二先生に引き続き千葉大学医学部歯科口腔外科並びに日本大学歯学部口腔外科

- の発展に盡力された佐藤伊吉先生とその業績—  
2. 顎顔面口腔外科に関する学術著書について—(抄) 工藤逸郎, 三宅正彦, 見崎徹, 金山利吉, 若松佳子, 小室歳信, 佐藤孜, 納村晉吉, 篠田宏司, 太田肇, 下山哲夫, 丹沢秀樹『日本歯科医史学会々誌』27(2)92-93
- 「日本が築き上げた台湾の現代歯科医学(抄)」小島武彦, 小島時昭『日本歯科医史学会々誌』27(2)98-99
- 「障害者歯科発祥の頃と今後(抄)」酒井信明『障害者歯科』28(3)190
- 「歯科麻酔100年の歴史現状と将来」佐野公人『日本歯科大学校友会・歯学会会報』32(4)2-9
- 「その後の桜歯ニュース第14号から第22号(復刊第2号)について(抄)」渋谷敏, 加來洋子, 大竹繁雄, 牧村正治, 谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』27(2)121-122
- 「熊本県歯科医師会100年と井野春毅(抄)」渋谷敦, 松本晋一『日本歯科医史学会々誌』27(2)96
- 「東京女子歯科技工学校について(抄)」下総高次『日本歯科医史学会々誌』27(2)106-107
- 「矢崎式咀嚼器(抄)」新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』27(2)97
- 「心身医学と歯科(口腔)心身医療のあゆみ(抄)」杉本是孝『日本歯科医史学会々誌』27(2)85-87
- 「お歯黒の歴史」杉山茂『葉史学雑誌』42(1)28-33
- 「フィンランドの歯科衛生士 歴史と教育」鈴木章『DHstyle』1(6)76-77
- 「【今立ちどまる未来のために オピニオンリーダーとしての責務】接着がかかえる歯科修復治療, 接着がつくるこれからの歯科医療 接着が実現する審美とMI(ミニマルインターベンション)」千田彰『国際歯科学士会日本部会雑誌』38(1)34-40
- 「舌出しと尻出し」竹原直道『日本歯科医史学会々誌』27(1)12-26
- 「明治から昭和初期の歯の衛生書にみる齲蝕病因論の変遷 W.D. Millerの没後100周年を記念して」竹原直道『口腔衛生学会雑誌』57(2)92-101
- 「歯科鑄造100年」玉置幸道, 宮崎隆『DE』(163)25-28
- 「クローブ(ユージノール)の歴史」千葉栄一, 新谷明喜『日本歯科医史学会々誌』27(1)1-11
- 「フェースボアの再検討 その必要性の有無(抄)」永田和弘『日本歯科医史学会々誌』27(2)115-116
- 「医学史に見る歯科の歴史—「咬合と全身」の過去と現在—(抄)」永田和弘『日本医史学雑誌』53(2)331-332
- 「わが国の歯科医育機関の興亡(抄)」中原泉『日本歯科医史学会々誌』27(2)88
- 「100年の歴史 歯科矯正学 日本歯科大学と矯正科の歴史」中原リザ子『日本歯科大学校友会・歯学会会報』32(3)2-9
- 「『啓迪集』 牙齒門と『口歯類要』の比較検討(抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』27(2)105
- 「医療と景化(抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』27(2)111
- 「歯の発句に関する芭蕉と蕪村の近代性(抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』27(2)110
- 「蕪村の貧居八詠と歯の関係(抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』27(2)109
- 「『中国医学大辞典』(謝観著)にみられる歯科的事項(抄)」西巻明彦, 屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』27(2)108
- 「中国伝統医学における口瘡の概念の変遷(抄)」西巻明彦, 屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』27(2)104
- 「わが国における歯科機器の歴史」橋本弘一『日本医用歯科機器学会誌』12(2)7-21
- 「明治天皇の主治歯科医に小幡英之助を推挙した福澤諭吉の書状(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』27(2)100
- 「渡邊良斎の口中医仮免状願—東京都公文書館所蔵「明治18年医師仮免状種痘免状願」より—(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』27(2)102-103
- 「Joseh Richardsonとその著書“A Practical Treatise on Mechanical Dentistry”について」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』27(2)90-91

- 「【歯科矯正一抜歯・非抜歯の現状】抜歯論争 対立から共存へ これまでの100年を顧みて」福原達郎『日本歯科評論』67(9)46-54
- 「歯周再生治療の変遷」船越栄次『九州歯科学会雑誌』60(6)145-152
- 「ドライマウス 基礎から臨床 ドライマウス 過去から現在(抄)」又賀泉『日本口腔外科学会雑誌』53(Suppl.)8-9
- 「Philadelphia Dental Collegeの卒業証書について」松本晋一『日本歯科医史学会々誌』27(2)123-127
- 「口腔に関する医学思想史の一考察 古代医学，アラビア医学，中世医学の関連性」壬生正博『福岡歯科大学学会雑誌』33(4)187-199
- 「奥村鶴吉が歯科学報に掲載した論文の研究(抄)」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』27(2)101
- 「ドクトル岩田嘉市郎著 通俗医学叢書 第一編 口腔衛生について(抄)」山口秀紀，渋谷敏，渋谷幸男，谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』27(2)119-120
- 「小絵馬と医療民俗について(抄)」湯浅高行，藤野珥男，屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』27(2)114
- 22 史跡・記念碑**
- 「扁額「金澤病院」(三條實美書)について」赤祖父一知，今井美和『北陸医史』28(1)23-26
- 23 疾病史**
- 「Metabolic Syndromeの歴史と概念 インスリン抵抗性とメタボリックシンドロームの多様な側面」Reaven Gerald M.『心臓』39(2)217-218
- 「国際的な観点からの日本の肝疾患研究 過去50年の歴史と将来の見通し(英語)(Japanese Study of Liver Diseases from an international Perspective: History of the past 50 years and future prospects)」Tanikawa Kyuichi『Japan Medical Association Journal』50(4)335-339
- 「たこつぼ型心筋症の病態生理学と臨床的側面 たこつぼ型心筋症の歴史と現況(英語)(抄)(Pathophysiology and Clinical Aspect of Takotsubo Disease History and Present Status of Takotsubo Disease)」Kurusu Satoshi, Inoue I., Kawagoe T., Ishihara M., Shimatani Y., Nakama Y., Ohkawa K., Maruhashi T., Kagawa E., Dai K., Aokage T.『Circulation Journal』71(Suppl.1)45
- 「【COPDと気管支喘息 接点の問題】オランダ学説の歴史的展開」相澤久道，東公一『THE LUNG-perspectives』15(3)275-280
- 「【ここまでわかった痛風発作の病態と最新の治療】痛風発作の治療 歴史と展望」赤岡家雄『高尿酸血症と痛風』15(2)107-109
- 「【膠原病診療のA to Z】膠原病研究の歴史と臨床の進歩」安倍達『総合臨床』56(3)434-439
- 「【悪性リンパ腫】悪性リンパ腫の分類 歴史的変遷とWHO分類」一迫玲『臨床検査』51(4)357-363
- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt (157) ベリベリ物語 日露戦争から臨時脚気病調査会」上野賢一『皮膚科の臨床』49(1)49-51
- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt (158) ベリベリ物語 その後の脚気」上野賢一『皮膚科の臨床』49(2)147-150
- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt (159) ベリベリ物語 鷗外をめぐる」上野賢一『皮膚科の臨床』49(3)307-309
- 「アレルギー疾患の歴史 鼻アレルギーの歴史 花粉症の父 CH. H. Blackley」奥田稔，大久保公裕『アレルギー・免疫』14(6)804-808
- 「アレルギー疾患の歴史 鼻アレルギーの歴史 神経性感冒から鼻アレルギーへ」奥田稔，大久保公裕『アレルギー・免疫』14(7)960-964
- 「アレルギー疾患の歴史 鼻アレルギーの歴史 鼻アレルギー用薬」奥田稔，大久保公裕『アレルギー・免疫』14(8)1100-1107
- 「【Parkinson病 What's new?】概念と基本 パーキンソン病の概念と歴史」金澤一郎『Clinical Neuroscience』25(1)18-21
- 「【ジストニアをめぐる】ジストニアの定義 その歴史的変遷」金澤一郎『神経内科』67(1)1-5
- 「川崎病とは(総論・川崎病の歴史)」川崎富作『若年者心疾患対策協議会誌』34(2)2-4

- 「【頭痛診療の実際】頭痛の歴史と疫学」北川泰久『総合臨床』56(4)642-648
- 「糖尿病の歴史 糖尿病の2つの病型 1型糖尿病の発見」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』6(1)128-132
- 「糖尿病の歴史 化学的物質による実験的糖尿病 アロキサンスとストレプトゾトシン」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』6(2)289-293
- 「糖尿病の歴史 Soskin, Levineの「Carbohydrate metabolism」血糖調節における肝の役割と糖尿病における糖の消費量」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』6(3)549-553
- 「糖尿病の歴史 Soskin, Levineの「Carbohydrate metabolism」インスリンの作用機序研究の幕開け グルコースの細胞膜透過促進学説」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』6(4)701-705
- 「特発性間質性肺炎の歴史と課題(抄)」工藤翔二『核医学』44(4)374
- 「治療の歴史 花粉症の歴史 病態解明と治療法の開発」今野昭義『治療学』41(1)99-103
- 「【深部静脈血栓症・肺塞栓 2007】深部静脈血栓症の歴史 何時頃からあったのか?」齋藤英彦『血液フロンティア』17(8)1153-1155
- 「【メタボリックシンドローム up to date】メタボリックシンドロームとは メタボリックシンドロームの概念の歴史と変遷」齋藤康『日本医師会雑誌』136(特別1)S26-S28
- 「日本の花粉症の黎明期 スギ花粉症の発見, 命名の経緯を中心に」斎藤洋三『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』3(5)517-521
- 「患者のQOLを大切にしたい治療技術入門 現代医学の進化を知る パーキンソン病(その1)」佐藤純一『看護実践の科学』32(6)86-89
- 「成人T細胞白血病(ATL)を巡る研究者たち(抄)」佐分利保男『神奈川医学会雑誌』34(1)108-109
- 「Brugada症候群と自律神経との関わり 歴史・診断・臨床的意義・治療について」寒川睦子, 中津高明, 豊永慎二, 間島圭一, 草地省蔵, 渡辺敦之, 伴場圭一, 西井伸洋, 多田毅, 永瀬聡, 森田宏, 中村一文, 草野研吾, 大江透『自律神経』44(3)156-165
- 「専門医のためのアレルギー学講座 食物アレルギー 食物アレルギーの歴史, 定義, 分類」柴田瑠美子『アレルギー』56(1)4-9
- 「アレルギー疾患の歴史 皮膚アレルギーの歴史 接触皮膚炎の歴史」清水正之『アレルギー・免疫』14(11)1474-1478
- 「臨床研究, 私の思い出 日本人のT細胞腫瘍とB細胞腫瘍(54)-(64)」下山正徳『血液フロンティア』17(2-12)234-246, 390-404, 628-643, 770-782, 940-954, 1090-1101, 1236-1250, 1408-1422, 1564-1580, 1712-1728, 1882-1893
- 「臨床研究, 私の思い出 日本人のT細胞腫瘍とB細胞腫瘍(65)」下山正徳『血液フロンティア』18(1)98-110
- 「わが国のリンパ腫臨床研究の歴史と課題(抄)」下山正徳『日本リンパ網内系学会会誌』47, 38-39
- 「睡眠医学・医療の歴史と展望(第二回)」高橋清久, 大川匡子, 塩見利明, 井上雄一『睡眠医療』1(2)27-35
- 「認知症をどう診るか? 認知症診療の実際 アルツハイマー病研究のパイオニアが語る歴史と展望 神経原線維変化の研究を中心に」武田雅俊, 西村健, Grundke-Iqballnge, Iqbal Khalid『Cognition and Dementia』6(3)249-255
- 「自律神経失調症の歴史的展望」田村直俊, 山元敏正, 中里良彦, 糸川かおり, 島津邦男『自律神経』44(3)171-179
- 「自律神経失調症の歴史的展望(抄)」田村直俊, 山元敏正, 中里良彦, 糸川かおり, 島津邦男『自律神経』44(2)131
- 「ホルモンの歴史 甲状腺学の歴史」對馬敏夫『Medical Science Digest』33(13)1199-1200
- 「アレルギー疾患の歴史 皮膚アレルギーの歴史 アトピー性皮膚炎の歴史」西岡清『アレルギー・免疫』14(10)1360-1366
- 「口内炎の病因に関する変遷(抄)」西巻明彦『日本医史学雑誌』53(1)118-119
- 「【慢性疲労症候群 基礎・臨床研究の最新動向】慢性疲労症候群の歴史」橋本信也『日本臨床』65(6)975-982

- 「日本のがん診療の歴史的分析和未来の展望（抄）」長谷川敏彦『日本衛生学雑誌』62(2)736
- 「アレルギー疾患の歴史 小児アレルギーの歴史 小児アレルギー研究の黎明期」馬場実『アレルギー・免疫』14(3)362-364
- 「アレルギー疾患の歴史 小児アレルギーの歴史 小児アレルギー疾患の治療の歴史」馬場実『アレルギー・免疫』14(5)689-690
- 「Dr. Bandoの医療の常識非常識!? 命を救うインスリンの発見」板東浩『ナース専科』27(1)110-111
- 「Dr. Bandoの医療の常識非常識!? 糖尿病，本邦の歴史は平安の都から」板東浩『ナース専科』27(3)106-107
- 「【大腸鋸歯状病変の発育進展と診断・取り扱い】大腸鋸歯状病変 歴史的流れと現状の問題点」樋渡信夫，岩淵正広『胃と腸』42(3)251-252
- 「シリーズで学ぶ最新知識 成人病胎児期発症（起原）(FOAD)説 成人病胎児期発症説の歴史的考察」福岡秀興『産婦人科の実際』56(13)2149-2154
- 「【慢性閉塞性肺疾患（COPD）最新の基礎・臨床研究】慢性閉塞性肺疾患（COPD）の疾患概念とその歴史的変遷」福地義之助『日本臨床』65(4)589-593
- 「原典・古典の紹介 Von Recklinghausen病」古川哲雄『神経内科』66(2)185-189
- 「鉛中毒の歴史に関する研究 「児科雑誌」における仮称所謂脳膜炎（鉛毒性脳症）に関する研究の足跡 平井毓太郎による究明まで（抄）」堀口俊一，寺本敬子，西尾久英，林千代『産業衛生学雑誌80回CD-ROM抄録集』J101
- 「わが国における糖尿病性腎症の研究の歴史と今後の展望（抄）」槇野博史『日本腎臓学会誌』49(6)688
- 「Metabolic Syndromeの歴史と概念 Metabolic Syndromeと脂肪細胞」松澤佑次『心臓』39(2)219-223
- 「アレルギー疾患の歴史 気管支喘息の歴史 治療の歴史」眞野健次『アレルギー・免疫』14(2)244-261
- 「【慢性疲労症候群 基礎・臨床研究の最新動向】小児慢性疲労症候群 小児慢性疲労症候群 歴史・疫学・診断基準・治療」三池輝久『日本臨床』65(6)1099-1104
- 「【内科医のためのパーキンソン病診療】パーキンソン病の現在，過去，未来 現在までにわかっているパーキンソン病の病態，歴史的背景，今後の展望」水野美邦『内科』99(5)771-778
- 「アルツハイマー病理学の100年（英語）(Alzheimer pathology during the past 100 years)」山口晴保『Psychogeriatrics』7(3)109-113

## 24 耳鼻咽喉科史

- 「【子どもの健康管理「みみ はな のど」】耳鼻咽喉科検診の現状と変遷」浅野尚『小児歯科臨床』12(2)40-46
- 「【ニオイのファーラム】嗅覚研究の歴史」加藤寿彦『JOHNS』23(5)689-692
- 「【地域医療との共生 術後処置の依頼と紹介】副鼻腔内手術 その登場の歴史と治療原理を踏まえて」松根彰志『耳鼻咽喉科・頭頸部外科』79(11)825-828
- 「鏡下じ語 ドイツ医学でよかったのか」綿貫幸三『耳鼻咽喉科・頭頸部外科』79(12)943-945

## 25 種痘史

- 「「角倉賀道著牛痘新論論全」について（抄）」石橋肇，落合俊輔，米長悦也，渋谷敏，谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』27(2)117-118
- 「牛痘種痘法普及に果たしたシーボルトの役割（抄）」古西義磨『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』67
- 「上州館林藩における牛痘種痘の受け入れと長澤理玄—漢方的世界からの脱却を模索して—」古西義磨『「脱」の世界』129-146
- 「大坂の蘭学における大坂の除痘館の役割—現地調査をした分苗所を中心に（抄）」古西義磨『日本医史学雑誌』53(1)20-21
- 「ボンベ種痘書の普及について（抄）」田崎哲郎『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』66

「中川五郎次による北方系の種痘法—京都における日野鼎哉の最初の種痘法との接点—」松木明知『日本医史学雑誌』53(4)569-625

「本邦牛痘種痘法の鼻祖 中川五郎次研究の歩み(上)—(1)江戸時代から(5)昭和時代後期まで—」松木明知『日本医史学雑誌』53(2)191-228

「本邦牛痘種痘法の鼻祖 中川五郎次研究の歩み(下)—(6)平成時代—」松木明知『日本医史学雑誌』53(3)423-440

## 26 獣医学史

「動物研究論議と代替案に関する歴史概略(英語)(A Brief History of the Animal Research Debate and the Place of Alternatives)」Rowan Andrew N. 『Journal of Oral Tissue Engineering』5(2)113-121

「【中国の狂犬病の現状】日本の狂犬病撲滅の歴史をふりかえって」池田裕『日中医学』22(2)16-20

「日本における動物検疫機構の変遷とその役割」大橋義光『日本獣医史学雑誌』(44)36-45

「獣医解剖学絵巻図の考察(抄)」北畑浩太郎, 柴田秀史, 神田尚俊『日本獣医学会学術集会講演要旨集143回』155

「日本犬病史」倉林恵太郎『日本獣医史学雑誌』(44)1-35

「昭和期における犬の3大難病(狂犬病, 犬瘟熱, 心臓絲状虫症)その流行・蔓延と医療・防遏の成果について」黒川和雄, 小方宗次『獣医畜産新報』60(10)847-850

「天明七年銘 加藤小左衛門の義犬墓」小佐々学『日本獣医史学雑誌』(44)54-58

「獣医史小話 わが国の犬の獣医療事情」後藤直彰『獣医畜産新報』60(8)622

「牛の補液・輸液療法 牛の輸液療法・基礎編 輸液小史(1)」鈴木一由, 小岩政照, 田口清『臨床獣医』25(11)30-34

「豚丹毒生ワクチンの歴史と最近の話題」高橋敏雄, 新田早人, 守岡綾子, 山本欣也『動物医薬品検査所年報』(43)1-7

「獣医史小話 犬の動物史 オオカミから犬へ」

田名部雄一『獣医畜産新報』60(5)358

「絵巻物にみる中世獣医史料(12)」中井薫『日本獣医史学雑誌』(44)72-76

「版本牛療治調法記に関する考察」西野ゆり, 澤田采佳, 小松直登, 林優樹, 西野正雄, 菰田綾佳, 木村壮太郎, 松永直人, 高倉弘士, 宮本如奈, 畠山有理, 畠山光弘, 畠山朋子『動物臨床医学会年次大会プロシーディング28回』(4)161-163

「版本牛療治調法記に関する考察(抄)」畠山有理, 宮本如奈, 高倉弘士『薬史学雑誌』42(2)173

「狂犬病 その歴史と現状ならびに防疫対策」源宣之『動物臨床医学』16(2)27-33

「狂犬病の歴史とその現況を基にした防疫対策」源宣之『公衆衛生』71(7)586-591

「人と動物の関係論 獣医師編(5)」宮田勝重『小動物臨床』26(2)125-127

「明治初期牛病新書に関する考察」森田祐基, 澤田采佳, 小松直登, 林優樹, 西野正雄, 菰田綾佳, 木村壮太郎, 松永直人, 西野ゆり, 高倉弘士, 宮本如奈, 畠山有理, 畠山光弘, 畠山朋子『動物臨床医学会年次大会プロシーディング28回』(4)166-168

「明治天皇の「駒場農学校」開校式臨御の意味」安田隼也『日本獣医史学雑誌』(44)46-53

「二十世紀台湾の畜産獣医事情 [II-2]」林本欽, 大橋義光『日本獣医史学雑誌』(44)59-71

## 27 書簡

「池田文書の研究(三十一)竹山屯の書簡について(その四)」池田文書研究会『日本医史学雑誌』53(2)311-316

「池田文書の研究(三十二)児玉少介・愛二郎の書簡について」池田文書研究会『日本医史学雑誌』53(3)441-454

「杏雨書屋所蔵書簡集(五)伊藤圭介来簡集二巻」多治比郁夫『杏雨』(10)214-303

## 28 書誌学

「江戸の医案を読む 尾台榕堂『方伎雑誌』から」秋葉哲生, 平馬直樹『伝統医学』10(2)20-26

- 「江戸の医案を読む 山田業広・山田業精『井見集附録』より」秋葉哲生，平馬直樹『伝統医学』10(3)154-160
- 「江戸の医案を読む 本間棗軒『内科秘録』より」秋葉哲生，平馬直樹『伝統医学』10(4)48-55
- 「緒方章公裁譯稿「舍密便蒙」について（抄）」有田浩和『日本医史学雑誌』53(1)40-41
- 「愛日文庫蔵「魯西亜漂流之記」は山片蟠桃の著作か（抄）」飯塚修三『日本医史学雑誌』53(1)170-171
- 「『馬琴日記』にみる病と宗教（抄）」井川道子『日本医史学雑誌』53(1)142-143
- 「金沢市立図書館蔵『中津バスタード辞書』について」泉彪之助『北陸医史』28(1)56-64
- 「歴史への招待 宋代の医書出版の歴史的背景」岩井祐泉『中医臨床』28(3)353-357
- 「『高山寺蔵本香菓抄（一名菓香果木名）』について」上野陽里『医学史研究2006-2007』(88)34-42
- 「『医籍考』による『四庫全書提要』の考証（抄）」郭秀梅『日本医史学雑誌』53(1)52-53
- 「重要文化財『香字抄』凡例，釈文・校異，解題」古泉圓順『杏雨』(10)2-121
- 「田中彌性園の古医書（抄）」小曾戸洋，天野陽介，友部和弘，町泉寿郎，田中祐尾『日本医史学雑誌』53(1)54-55
- 「傷寒論再考 東洞生誕の地にちなんで『傷寒論』の歴史の変遷を考える（抄）」小高修司『日本東洋医学雑誌』58(別冊)89
- 「漏れた先哲書を読む 新編 東郭『百ちん一貫』(1)」小山誠次『漢方研究』(429)23-26
- 「『古今方彙』各種版本の検討（抄）」鈴木達彦，遠藤次郎，中村輝子『日本医史学雑誌』53(1)140-141
- 「『六経病欲解時』に関する研究（第一報）（抄）」孫基然『日本東洋医学雑誌』58(別冊)189
- 「小田規矩之助の『経穴名辞攷』に関する研究（第1報）（抄）」孫基然『全日本鍼灸学会雑誌』57(3)373
- 「『医学天正記』について（八）」高島文一『啓迪』(25)1-8
- 「野口英世訳カールデン著『病理学的細菌学的検査術式綱要』の原書について（抄）」殿崎正明，唐澤信安，岩崎一『日本医史学雑誌』53(1)110-111
- 「『病論俗解集』について（抄）」永嶋泰玄，岩田源太郎，大井康敬『日本医史学雑誌』53(1)156-157
- 「曲直瀬道三『薬性能毒』の研究（抄）」野口大輔，遠藤次郎，中村輝子，真柳誠『日本医史学雑誌』53(1)150-151
- 「関場不二彦著「西医学東漸史話」の仮製本について（抄）」秦温信，島田保久『薬史学雑誌』42(2)155
- 「関場不二彦著「西医学東漸史話」の仮製本について（抄）」秦温信，島田保久『北辰』(8)39
- 「江戸安政期書写版『牛医書』に関する考察（抄）」島山有理，高倉弘士，宮本如奈『薬史学雑誌』42(2)174
- 「『長尾文庫』のこと」樋口誠太郎『千葉医学雑誌』83(6)237-242
- 「研究会講演録「曲直瀬今大路家文書の現状について」」町泉寿郎『杏雨』(10)141-167
- 「田中彌性園の古文書・書画（抄）」町泉寿郎，小曾戸洋，田中祐尾『日本医史学雑誌』53(1)154-155
- 「鍼灸への挑戦 もう一つの医療 鍼灸と自然治癒力の出逢いをめぐって 江戸の養生書『病家須知』が告げるもの（抄）」松田博公『全日本鍼灸学会雑誌』57(3)280-281
- 「シーボルト記念館所蔵の「阿蘭陀草花鏡絵」とその背景について」ミヒエル・ヴォルフガング『鳴滝紀要』(17)9-38
- 「『四海同春』について（抄）」宮川隆弘『日本医史学雑誌』53(1)130-131
- 「続漢方あらかると 建殊録を抄読する（その1）-（その3）」村木毅『漢方療法』10(10-12)778-782, 860-865, 68-73
- 「続漢方あらかると 建殊録を抄読する（その4）-（その10）」村木毅『漢方療法』11(1-5, 7, 9)62-66, 162-165, 256-263, 336-341, 422-429, 592-598, 754-757

『橋窓書影』解説(8)-(10) 森由雄『漢方療法』10(10-12)756-758, 842-845, 44-46

『橋窓書影』解説(11)-(19) 森由雄『漢方療法』11(1-9)36-39, 152-155, 230-235, 316-319, 398-402, 502-506, 574-578, 656-660, 724-727

『薬治通義』の研究(第1報)(抄) 矢数芳英, 星野卓之, 蒲生裕司, 渡邊浩二, 天野陽介, 花輪壽彦, 小曾戸洋『日本東洋医学雑誌』58(別冊)187

『古典と臨床』古典逍遙 古典医学書を読むための参考書リスト 横山浩之『鍼灸Osaka』22(4)323-326

## 29 小児科史

『子どもの薬 私なら今これをこう使う』小児薬の特異性 小児の薬物動態における発達変化 越前宏俊『小児科臨床』60(12)2245-2251

『江戸時代の育児書から見た医学の近代化—桑田立斎『愛育茶譚』翻刻と考察—』梶谷真司『帝京大学帝京国際文化』(20)65-118

『障害児療育の歴史の変遷』児玉和夫『近畿新生児研究会会誌』(16)1-5

『母子健康手帳についての歴史的考察 「母子」の捉え方と機能的側面の変化(抄)』新道由記子『母性衛生』48(3)161

『子どもの薬 私なら今これをこう使う』小児薬の特異性 小児領域の医薬品開発のための臨床試験・治験 土田尚『小児科臨床』60(12)2229-2235

『周産期と黄疸 Up to Date』新生児黄疸の歴史 核黄疸撲滅への戦い 中村肇『周産期医学』37(10)1229-1233

『児童虐待の歴史的背景と定義』花田裕子, 永江誠治, 山崎真紀子, 大石和代『保健学研究』19(2)1-6

『東と西の育児論』深瀬泰旦『川崎市小児科医学会誌』(39)11-31

『不登校の史的考察(その1) 戦後の問題だったのか』山岸竜治『臨床心理学研究』45(2)45-53

## 31 診断学史

『がん診療の最前線』悪性リンパ腫 病理学 現行WHO分類の歴史的背景とそれに必要な総合診断システム 一迫玲『最新医学』62(6月増刊)1317-1328

『ギムザ染色を用いた各科領域・細胞診の再評価 ロマノフスキー(Romanowsky)染色の歴史と応用(温故知新)(抄)』西国広『日本臨床細胞学会雑誌』46(Suppl.1)96

『術中迅速診断・凍結組織標本の歴史』原明, 森秀樹『日本医事新報』(4319)114-115

『PETによる癌診断法開発の歴史, 現状の発展と将来の展望(抄)』福田寛『核医学』44(3)155

『日本における超音波ドプラ法開発と造影超音波の歴史 世界的見地から』福田守道『Rad Fan』5(3)34-39

『肺癌と臨床細胞学 歴史から学ぶ(抄)』藤澤武彦『日本臨床細胞学会雑誌』46(Suppl.1)72

『感染症検査診断法の進歩』古田格『大阪府内科医会会誌』16(1)94-99

## 32 整形外科史

『整形外科における現代の挑戦の取り扱いにおける古代医学の寄与(英語)(抄)(The Contribution of Ancient Medicine in Managing Modern Challenges in Orthopaedics)』Karadaglis Dimitrios, Wilkinson Michael『日本整形外科学会雑誌』81(4)S510

『フランスにおけるセラミックオンセラミック人工股関節全置換術の歴史(英語)(抄)(History of Ceramic on Ceramic Total Hip Arthroplasty in France)』Sedel Laurent『日本整形外科学会雑誌』81(3)S248

『人工股関節の歴史と変遷(抄)』斎謙『広島医学』60(2)133

『次の百年へ 『神中整形外科学』に見る学問の変遷』岩本幸英『日本整形外科学会雑誌』81(2)226-238

『整形外科の歴史115-116 20世紀初期から中後期へ—イギリスの整形外科の近代化⑩-⑬—トルエタの生涯と仕事(2)-(3)』蒲原宏『整形



- 外科看護』12 (1-2) 100-102, 210-213
- 「整形外科の歴史 117-119 20世紀初期から中後期へーイギリスの整形外科の近代化⑭-⑯ーロンドン学派の形成 (1)-(3)」蒲原宏『整形外科看護』12 (3-5) 312-313, 406-409, 510-515
- 「整形外科の歴史 120-121 20世紀初期から中後期へーイギリスの整形外科の近代化⑰-⑱ーそのほかのロンドンの整形外科学派 (1)-(2)」蒲原宏『整形外科看護』12 (6-7) 610-613, 708-715
- 「整形外科の歴史 122-124 20世紀初期から中後期へーイギリスの整形外科の近代化 19-21ー脊髄損傷治療の革新とグットマンの業績 (1)-(3)」蒲原宏『整形外科看護』12 (8-10) 818-821, 922-925, 1028-1033
- 「整形外科の歴史 125-126 20世紀初期から中後期へーイギリスの整形外科の近代化 22-23ー優秀な整形外科医たちの動き (1)-(2)」蒲原宏『整形外科看護』12 (11-12) 1118-1121, 1230-1234
- 「腰椎椎間板ヘルニアの治療 手術療法の変遷 (抄)」佐藤公昭『整形外科と災害外科』56 (2) 311-312
- 「次の百年へ 日本における脊椎・脊髄外科の歴史と今後の課題／展望」戸山芳昭『日本整形外科学会雑誌』81 (2) 185-195
- 「次の百年へ 田代時代の整形外科」中村耕三『日本整形外科学会雑誌』81 (2) 174-180
- 「次の百年へ 日本における関節外科の歴史」中村孝志『日本整形外科学会雑誌』81 (2) 196-205
- 「縄文時代における骨折のケアについて 骨折の病理学的状況からの証拠 (英語) (Care for Bone Fractures during the Jomon Period: Evidence from the Pathological Condition of Fractures)」藤田尚, 朝倉京子『日本保健医療行動科学会年報』22, 96-105
- 「次の百年へ 日本における手の外科の歴史」三波明男『日本整形外科学会雑誌』81 (2) 206-225
- 「次の百年へ 日整化学術発表の歴史に見る学問の変遷」山室隆夫『日本整形外科学会雑誌』81 (2) 181-184
- 33 精神医学史**
- 「19世紀ヒステリー研究におけるイメージと力動性について (抄)」上尾真道『精神医学史研究』11 (1) 48
- 「新約聖書のなかにみられる狂気概念について パラフレニーの語源に関する精神医学史的考察」東孝博『精神医学史研究』11 (2) 89-99
- 「【アスペルガー症候群 病因と臨床研究】アスペルガー症候群の歴史 統合失調症か人格障害かという論争から広汎性発達障害に組み込まれるまで」石川元, 一橋香代『日本臨床』65 (3) 409-418
- 「児童思春期精神医学の変遷 児童青年精神医学のこれまで, そしてこれから」牛島定信『臨床精神医学』36 (5) 677-678
- 「精神医学と人文科学の交差 その歴史 カント哲学の形成における狂気の意義 2つの精神病論をめぐる」内海健『精神医学史研究』11 (1) 15-23
- 「精神医学と人文科学の交差 その歴史 精神医学はどのようにして人類学に出会うのか」江口重幸『精神医学史研究』11 (1) 24-29
- 「精神分析の誕生と変容 20世紀認識革命の中で」大澤真幸『精神医学史研究』11 (2) 73-88
- 「当院の作業療法の歴史」大西和孝, 辰巳良明, 三宅由子, 高登樹恵, 佃多喜子, 加瀬忍, 中口孝司『大阪府立精神医療センター紀要』17, 35-50
- 「植松七九郎・鹽入圓祐「空襲時精神病」の原資料から 戦争と精神科医療, 精神医学そして精神医学者 (その5) (抄)」岡田靖雄『精神医学史研究』11 (1) 46-47
- 「精神病院におけるデング熱実験 戦争と精神科医療, 精神医学そして精神医学者 (その3)」岡田靖雄『15年戦争と日本医学医療研究会会誌』7 (2) 13-18
- 「戦前の精神病者収容施設」岡田靖雄『日本医事新報』(4364) 99-100
- 「どこへいくのか精神科医療一転換期の今一」岡田靖雄『医学史研究』(89) 1-16
- 「【4大認知症疾患の臨床】4大認知症疾患の概念

- の変遷」萩原朋美, 天野直二『精神科治療学』22(12) 1351-1358
- 「なぜ『ドン・キホーテ』なのか?」小曾戸明子『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』50
- 「児童福祉領域の精神科医療 児童相談所の歴史と役割(抄)」小野善郎『児童青年精神医学とその近接領域』48(5) 544-545
- 「思い出に残る私の論文 Consultation-Liaison Psychiatryの展望」加藤伸勝『最新精神医学』12(4) 403-406
- 「東京私立精神病院の黎明 東京武蔵野病院を例として(抄)」金川英雄『精神医学史研究』11(1) 45
- 「東京の精神科病院連携の歴史と背景(抄)」金川英雄『日本社会精神医学会雑誌』16(1) 82-83
- 「うつ病概念の変遷」粥川裕平『CAMPUS』44(1) 61-68
- 「精神医学と人文科学の交差 その歴史 社会学と精神医学 「社会的無意識」の概念」北垣徹『精神医学史研究』11(1) 30-35
- 「精神医学の潮流 Wernicke-Korsakoff脳症をめぐる」小阪憲司『精神神経学雑誌』109(6) 509-515
- 「定義温泉に関する文献(明治時代を中心に)(抄)」近藤等『精神医学史研究』11(1) 46
- 「精神医学と人文科学の交差 その歴史 性倒錯の発見と主体化 日本語文化圏における様相(科学史と精神医学)」斎藤光『精神医学史研究』11(1) 36-41
- 「日本精神医学新風土記 青森県」櫻田高『臨床精神医学』36(7) 907-913
- 「【自傷, 自死】わが国戦後の自殺動向とその時代的, 世代的背景」清水新二『アクションと家族』23(4) 338-345
- 「【双極性障害】原因・診断・概念 非定型精神病と双極性障害 歴史的展望から」須賀英道『こころの科学』(131) 62-66
- 「精神医学の萌芽(天平時代の医療)(抄)」鈴木英鷹, 本多義治, 本多秀治『精神医学史研究』11(1) 42
- 「天平時代の医療(精神医学の萌芽)(抄)」鈴木英鷹, 本多義治, 本多秀治『精神神経学雑誌』2007(特別) S253
- 「江戸時代における精神神経疾患の位置づけ 薬の効能書による検討」鈴木英鷹, 本多義治, 本多秀治, 野村和樹『精神医学史研究』11(2) 108-114
- 「解離 歴史・文化と解離 民俗としての解離, すなわち憑依状態」千丈雅徳『こころの科学』(136) 41-45
- 「注意欠陥多動性障害とHeinrich Hoffmann(抄)」高砂美樹『精神医学史研究』11(1) 48
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 17世紀科学革命の時代 精神医療の動向」竹中星郎『精神科看護』34(2) 64-73
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 18世紀の精神医療 啓蒙思想と産業革命の時代」竹中星郎『精神科看護』34(3) 71-75
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 18世紀の精神医療 近代科学の確立, 近代医学の礎石」竹中星郎『精神科看護』34(4) 71-75
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 18世紀の精神医療 臨床医学の確立」竹中星郎『精神科看護』34(5) 73-77
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 18世紀の精神医療 精神医学と医療」竹中星郎『精神科看護』34(6) 74-78
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 18世紀の精神医療 精神医療の曙光と「大いなる監禁」」竹中星郎『精神科看護』34(7) 70-75
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる ピネル パリ学派とピネル」竹中星郎『精神科看護』34(8) 72-76
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる ピネル ピネルとフランス精神医学」竹中星郎『精神科看護』34(9) 74-78
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 19世紀のフランス精神医学」竹中星郎『精神科看護』34(10) 72-76

- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 19世紀前半の精神医療 ヨーク・レトリートほか」竹中星郎『精神科看護』34(11)76-80
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 19世紀の精神医学 19世紀のヨーロッパとドイツ医学」竹中星郎『精神科看護』34(12)71-75
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 19世紀の精神医学 進化論と変質論，ドイツ精神医学(1)」竹中星郎『精神科看護』35(1)77-81
- 「精神病患者監護法下における監置患者の暮らしと地域社会 三原静養院における監置患者の暮らしと地域社会(抄)」田端幸枝，橋本明『精神医学史研究』11(1)44
- 「トクヴィルの憂鬱 精神医学と人文科学のひとつの「交差」富永茂樹『精神医学史研究』11(1)7-12
- 「児童思春期精神医学の変遷 児童思春期精神医学の変遷と発展」中根晃『臨床精神医学』36(5)685-687
- 「日本精神医学新風土記 長崎県」中根允文『臨床精神医学』36(10)1323-1327
- 「京都岩倉が精神病患者家族的看護地として成長した理由 大岩，阿波井，竜爪，榛名山麓大福寺，定義との比較において(抄)」中村治，橋本明，兵頭晶子，板原和子，金川英雄，田端幸枝『精神医学史研究』11(1)44-45
- 「京都岩倉における精神病患者家族的看護の衰退理由—ベルギーのヘールとの比較において(抄)」中村治『日本医史学雑誌』53(1)124-125
- 「うつ病の真実 うつ病治療の発展 体質論と精神療法の歴史」野村総一郎『こころの科学』(134)113-118
- 「わが国の精神科領域における「患者・家族・地域の歴史」研究序論 精神病患者監護法下における監置患者の暮らしと地域社会」橋本明『精神医学史研究』11(2)115-126
- 「精神病患者監護法下における監置患者の暮らしと地域社会 精神障害者の処遇・援助論再構築のための基礎的研究(抄)」橋本明，兵頭晶子，板原和子，金川英雄，中村治，田端幸枝『精神医学史研究』11(1)43-44
- 「私宅監置擁護論の思想的背景—精神医学者ワイガントの日本観を通して—(抄)」橋本明『日本医史学雑誌』53(1)160-161
- 「水治療と近代精神病学 あるいは，民間療法施設の近代」兵頭晶子『精神医学史研究』11(2)100-107
- 「近代精神病学と水治療 あるいは，民間療法施設の近代(抄)」兵頭晶子，橋本明，板原和子，金川英雄，中村治，田端幸枝『精神医学史研究』11(1)45-46
- 「ピエール・リヴィエール事件と天津事件 日仏の精神鑑定の黎明(抄)」布施木誠『精神医学史研究』11(1)47
- 「【いま「解離の臨床」を考える】解離と解離性障害 変遷と症候学」船山道隆，濱田秀伯『精神科治療学』22(3)247-251
- 「鯰絵と精神分析 江戸時代の人々は外傷的体験をどのように象徴化したのか(抄)」牧瀬英幹『日本病跡学雑誌』(74)67
- 「クレベリンからDSM-111へ クレベリン生誕150年を記念して」松下正明『精神薬療研究年報』(39)1-8
- 「解離 歴史・文化と解離 われを失い・われに返る効用 「解離」の周辺」宮川香織『こころの科学』(136)35-40
- 「DSMsのtaxonomyとCarl G. Hempelのscientific taxonomy(抄)」迎 豊『精神医学史研究』11(1)48-49
- 「【アスペルガー症候群】アスペ者としての苦難の歴史」鶴川雄大『精神療法』33(4)468-472
- 「解離 歴史・文化と解離 精神分析は解離とどうつきあってきたか」森茂起『こころの科学』(136)29-34
- 「日本精神医学新風土記 石川県」山口成良『臨床精神医学』36(10)1317-1321
- 「精神医療の光と陰(抄)」山田和夫『神奈川医学会雑誌』34(1)109-112
- 「医療観察法37条鑑定と審判をめぐる言説の分析 リスク評価と治療適合性はわが国精神医療の歴

- 史にとってなにを意味するか」吉岡隆一『精神医療』(46) 82-93
- 「日本精神医学新風土記 和歌山県」吉益文夫, 北端祐司『臨床精神医学』36(7) 915-919
- 35 西洋医学史**
- 「BSPOGA シンポジウム ヒポクラテスに何が起こったか(英語)(抄)(BSPOGA symposium What Happened to Hippocrates?)」Pawson Michael『女性心身医学』12(1-2) 94
- 「ヨーロッパにおける血液監視(Haemovigilance)の歴史と概観(History and Overview of Haemovigilance in Europe)(英語)(抄)」Strengers Paul『日本輸血細胞治療学会誌』53(2) 165
- 「1850年頃の医学の概観(抄)(英語)Medicine around 1850—an overview」アンドレアス・メッテンライテル『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集(2007)』18, 60
- 「世界医学史の旅16 ボードイン時空の旅 上野公園のボードイン像を巡って」石田純郎『ミクロスコピア』24(1) 52-56
- 「世界医学史の旅17 スリランカの旅 医史跡, 仏教系遺跡, オランダ統治の遺跡」石田純郎『ミクロスコピア』24(2) 133-138
- 「世界医学史の旅18-19 血液循環の発見者 ハーヴェイの足跡をイングランドに追う(上)(下)」石田純郎『ミクロスコピア』24(3-4) 225-229, 317-321
- 「【相補・代替医療の現況をみる 日常診療で知っておくべき多種多様のCAMを解説します】ヨーロッパの伝統医療 ホメオパシー」板村論子『治療』89(3月増刊) 1027-1034
- 「懐旧のドイツその十八-二十一 ドレスデンの甃(2)-(5)」上野賢一『ミクロスコピア』24(1-4) 47-50, 129-132, 221-224, 309-312
- 「ライカの町・イエナを訪れる 人体解剖学用語(JNA)ゆかりの地」岡田昌義『ミクロスコピア』24(1) 57-59
- 「ソヴェト医学研究会の歴史—東京・京都を中心に—」岡田靖雄『医学史研究2005-2006』(87) 1-42
- 「公衆衛生からみた感染症の広がり 19世紀末のドイツ・ベルリン市における環境問題をとおして(抄)」金子光男『医科器械学』77(4) 201
- 「英国医史, 中世の例(抄)」栗本宗治『日本医史学雑誌』53(1) 174-175
- 「ハンガリー・ブタペストにゼンメルワイス医学史博物館を訪ねて」佐藤裕『ミクロスコピア』24(4) 313-316
- 「ハンガリー医学史瞥見—ゼンメルワイス医学史博物館訪問記(抄)」佐藤裕『日本医史学雑誌』53(1) 94-95
- 「戦後イギリス地域医療の展開 1948~74年のバーミンガム市を事例として」白瀬由美香『医療と社会』17(3) 315-327
- 「【性差医療から考える 患者の望む医療とは?】性差医学・医療(女性医療)の歴史と進歩 米国における女性医療とCenter of Excellence (COE) in Womens Healthの展開」龍野一郎『公衆衛生』71(9) 735-742
- 「‘パankレアス’という器官名と前後の文章をアリストテレスの動物誌に挿入したのは誰か?(抄)(英語)Who interpolated the sentence on the “pancreas” in the Aristotle’s Historia Animalium?」土屋涼一『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集(2007)』23, 65
- 「【高齢者の心身機能を高めるマッサージ】ドイツの高齢者施設でもナーシングケアは「アロマケア」と呼び、治療よりも心地よさや患者のQOLを目指す ドイツの歴史的アロマケア」手塚千史『GPnet』54(2) 39-44
- 「青い血のカルテ ベリクレスとアテネの疫病」早川智『産科と婦人科』74(4) 488-491
- 「医史学の旅 イタリア⑥-⑦ ヴェネツィア(1)-(2)」星和夫『日本病院会雑誌』54(1-2) 123-126, 275-278
- 「医学史の旅 イタリア⑧ ポローニャ」星和夫『日本病院会雑誌』54(3) 415-418
- 「医学史の旅 イタリア⑨ フィレンツェ」星和夫『日本病院会雑誌』54(4) 547-550
- 「医学史の旅 イタリア⑩ ピサ」星和夫『日本病院会雑誌』54(5) 655-658

- 「医史学の旅 イタリア⑪-⑮ ローマ (1)-(5)」  
星和夫『日本病院会雑誌』54 (6-10) 787-790,  
919-922, 1059-1062, 1101-1104, 1299-1302
- 「医学史の旅 イタリア⑯ ナポリとその近郊」  
星和夫『日本病院会雑誌』54 (11) 1411-1415
- 「医史学の旅 イタリア⑰ カプリ島周辺」星和夫  
『日本病院会雑誌』54 (12) 1559-1562
- 「西洋医学の伝来とドイツ医学の選択」安田健次  
郎『慶應医学』84 (2) 69-84
- 「サンタ・マリア・デラ・スカラ病院における捨  
子養育活動 (抄)」柳澤波香『平成19年度日本  
医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会  
抄録集』48
- 「【相補・代替医療の現況をみる 日常診療で知っ  
ておくべき多種多様のCAMを解説します】  
ヨーロッパの伝統医学 アロマセラピー」渡邊  
聡子，今西二郎『治療』89 (3月増刊) 1020-  
1026
- 37 生理学史**
- 「痛みの病態生理学 痛みについて 序論」熊澤  
孝朗『理学療法』24 (11) 1485-1490
- 「動物の生理学クロニクル 血圧調節と高血圧  
アントニウスとホフマン」西田利穂『SA Medi-  
cine』9 (1) 72-76
- 「動物の生理学クロニクル 浮腫と薬物治療の歴  
史」西田利穂『SA Medicine』9 (6) 68-72
- 38 地方史**
- 「幕末維新时期と佐賀 (抄)」井沢元彦『西日本皮膚  
科』69 (3) 319
- 「壮猶館，卯辰山養生所，医学館の医学洋書」板  
垣英治『北陸医史』28 (1) 38-55
- 「近世大坂の産科学と墮胎術 (抄)」内野花『日本  
医史学雑誌』53 (1) 168-169
- 「山形県済生館の洋学史的な研究」小形利彦『日本  
大学付属広報』(2007 秋季号) 22-31
- 「土佐の薬業史」岡本友男『土佐史談』(236)
- 「神奈川県が公布した「看護婦会会則」等にみる  
派出看護婦会の管理 (抄)」小川景子，近藤誓  
子，須藤絹子『日本看護歴史学会第21回学術  
集会講演集』76-77
- 「北海道の医療と柔道整復術 (抄)」我部正彦『柔  
道整復・接骨医学』15 (5) 349
- 「北海道の開拓と江戸，明治期の接骨技法 (抄)」  
我部正彦『柔道整復・接骨医学』15 (5) 349-350
- 「大分の医学史 蘭学事始 (抄)」川島真人  
『CAMPUS HEALTH』44 (3) 37
- 「長崎に遊学した中津人 (抄)」川島真人『平成  
19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史  
学会合同大会抄録集』14
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 1 蘭学発祥の地  
—東京都中央区明石町—」酒井シヅ『月刊社会  
保険』(678) 44
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 2 山脇社中解剖  
供養碑—京都市中京区—」酒井シヅ『月刊社会  
保険』(679) 44
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 3 東京大学医学  
部—東京都文京区—」酒井シヅ『月刊社会保険』  
(680) 44
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 4 大阪大学医学  
部のはじまり—大阪市天王寺区—」酒井シヅ  
『月刊社会保険』(681) 44
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 5 ヘボンの跡を  
たずねて—神奈川県横浜市—」酒井シヅ『月刊  
社会保険』(683) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 6 永吉の眼科と  
千葉眼科記念館—千葉県茂原市—」酒井シヅ  
『月刊社会保険』(684) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 7 松本順と大磯  
海水浴場—神奈川県大磯町—」酒井シヅ『月刊  
社会保険』(685) 29
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 8 荻野吟子の生  
地と墓地—埼玉県熊谷市—」酒井シヅ『月刊社  
会保険』(686) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 9 佐倉順天堂記  
念館—千葉県佐倉市—」酒井シヅ『月刊社会保  
険』(687) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 10 少彦名神社・  
神農祭—大阪府中央区道修町—」酒井シヅ『月  
刊社会保険』(688) 27
- 「戦前の広島県における看護婦養成の足跡 94歳

- の元看護婦が受けた教育を手がかりに」迫田千加子, 田村和恵, 佐々木秀美『看護学統合研究』8(2) 1-11
- 「戦前からの連続性の視点で検討した看護改革 北海道の事例から(抄)」佐藤公美子, 坪井良子『日本看護研究学会雑誌』30(3) 280
- 「蝦夷地の医療(Ⅰ)(抄)」島田保久『薬史学雑誌』42(2) 166
- 「北海道の医療 明治初期の医制・開業免状の推移(抄)」島田保久『北辰』(8) 33-36
- 「北海道の医療—明治初期の医制・開業免状の推移—(抄)」島田保久『薬史学雑誌』42(2) 159
- 「結核死亡率よりみた福井・金沢両市の性格の差」白崎昭一郎『北陸医史』28(1) 65-70
- 「住民による健康増進活動の形成 その3」杉山章子『日本福祉大学社会福祉論集』116, 37-52
- 「戦後日本の健康増進活動の歴史に学ぶ」杉山章子『農民とともに(JA長野厚生連佐久総合病院ニュース)』178, 2-6
- 「日本における心身医学の歩み 日本における心身医学の歩み 東北地方での創成期と発展(抄)」鈴木仁一『心身医学』47(6) 439
- 「先輩に学ぶ 自然の力を信じて進んだ産婆の道 お産の歴史にゆかりのある秋田県での終戦前後の活動 川村クニさん(秋田県)」鈴木由美『助産師』61(1) 68-71
- 「仙台藩における諸医師とその把握・動員」張基善『歴史』(109)
- 「新潟県の緩和ケアの現状 それぞれの立場から 新潟県の緩和医療の歴史」塚田芳久『新潟医学会雑誌』12(12) 659-661
- 「北海道の医療と柔道整復術 初期の医療人(抄)」中川敏郎『柔道整復・接骨医学』15(5) 350
- 「鬼平梅安にしひがし そば屋と菓子店」中西淳朗『月刊保団連』(921) 50-51
- 「鬼平梅安にしひがし(最終回) 五鉄と医者」中西淳朗『月刊保団連』(924) 55-56
- 「佐賀藩の近代科学技術(抄)(英語) Modern science technique of Saga Clan」長野暹『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集(2007)』42-43, 82-83
- 「【助産師の歴史を学ぼう】沖縄県の助産師の歴史 戦前戦後の歴史の変遷から見えてきたもの」仲村美津枝『助産師』61(1) 14-19
- 「先輩に学ぶ 島根県の助産師たち 産婦人科不在の離島, 島前(隠岐)での活躍 田黒キノさん(島根県)」灘久代『助産師』61(1) 64-66
- 「「済生卑言」: 石見銀山の治病対策と用いられた処方について(抄)」成田研一『薬史学雑誌』42(2) 170
- 「アメリカ占領期の沖縄における「家族計画」(抄)」東亜紀, 丸井英二『日本公衆衛生学会総会抄録集』66回, 362
- 「佐賀藩海軍と佐野常民(抄)」福岡博『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』41-42
- 「長崎居留地と西洋医学の発展(抄)」ブライアン・パークガフニ『医学情報サービス研究大会抄録集』24回, 8-9
- 「戦時中発疹チフスに倒れた根室の医師達(抄)」古屋統『北辰』(8) 37
- 「戦時中発疹チフスに倒れた根室の医師達(抄)」古屋統『薬史学雑誌』42(2) 153
- 「From the Capital of Smoke (Kemuri no Miyako) to the Livable City (Sumigokochiyoki Toshi): “Doctoring” to the Industrial Metropolis of Osaka (抄)」Jeffrey E. HANES『日本医史学雑誌』53(1) 183-187
- 「長崎除薬種と幕府医官(抄)」町泉寿郎『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』27
- 「人・モノ・情報—医学と医療の近代化からみた大阪について(抄)」ヴォルフガング・ミヒェル『日本医史学雑誌』53(1) 24-25
- 「福井県がん登録の歴史と現況」森田信人『診療録管理』18(3) 3-9
- 「上野俊之丞と「砲家秘函」(抄)」八耳俊文『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』71

### 39 治療史

- 「非ホジキンリンパ腫に対する放射免疫療法 歴史の展望及び現況(英語) (Radioimmunotherapy

- for Non-Hodgkin Lymphoma: Historical Perspective and Current Status)」Emmanouilides Christos『Journal of Clinical and Experimental Hematopathology』47 (2) 43-60
- 「【今日の結核症 的確な診断から治療へ】肺結核の外科療法と後遺症 その歴史的基礎知識と実際の対応」荒井他嘉司『診断と治療』95 (11) 1987-1996
- 「【結核は今 現状と問題点】結核治療の歴史」泉孝英『臨床と研究』84 (4) 467-473
- 「治療の歴史 脂質異常症の食事療法」板倉弘重『治療学』41 (9) 987-990
- 「【外来がん化学療法 求められるソフト面の見直し】治療の歴史 大腸がん化学療法の変遷 経口フッ化ピリミジン大腸がんから世界標準療法の国へ」市川度，佐々木康綱『治療学』41 (11) 1187-1192
- 「【ステロイド局所療法を検証する】喘息治療におけるステロイド使用の歴史」岩永賢司，東田有智『Topics in Atopy』6 (1) 5-8
- 「急性血液浄化の過去・現在・未来」太田和夫『ICUとCCU』31 (別冊) S1-S2
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史 世界初の腎移植」太田和夫『透析ケア』13 (1) 90-92
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史」太田和夫『透析ケア』13 (2) 186-189
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史 血管吻合法の工夫で移植を進展」太田和夫『透析ケア』13 (3) 297-299
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史」太田和夫『透析ケア』13 (4-8) 406-408, 517-519, 614-616, 713-715, 828-830
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史 第一次世界大戦後・臓器移植進展の息吹」太田和夫『透析ケア』13 (9) 932-934
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史 腎移植，初の臨床経験」太田和夫『透析ケア』13 (10) 1028-1030
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史」太田和夫『透析ケア』13 (11) 1126-1129
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史 戦時に進んだ移植医療」太田和夫『透析ケア』13 (12) 1220-1223
- 「鼎談「それぞれの時代でどのような選択をしてきたか？」腹膜透析・腎臓移植」太田和夫『腎と透析』63 (別冊腹膜透析2007) 27-30
- 「【神経疾患と音楽療法】音楽療法の歴史と意義」岡崎香奈『神経内科』67 (3) 203-207
- 「【移植と人工臓器の哲学 医療従事者へのメッセージ】人工臓器の歴史と現状」緒方浩顕，竹島亜希子『成人病と生活習慣病』37 (12) 1344-1349
- 「直腸癌に対する肛門温存術の歴史と進歩」緒方裕，赤木由人，白水雄『久留米医学会雑誌』70 (11-12) 346-352
- 「【耳鳴診療のすべて】耳鳴診療の歴史」小川郁『JOHNS』23 (1) 99-103
- 「鼎談「それぞれの時代でどのような選択をしてきたか？」わが国におけるHD，HF，HDFの歴史」岸本武利『腎と透析』63 (別冊腹膜透析2007) 31-36
- 「【輸液のすべて 基本から実際まで】輸液療法の歴史」北岡建樹『腎と透析』63 (増刊) 14-18
- 「腹腔鏡下手術の歴史と未来 (抄)」北島政樹『Gastroenterological Endoscopy』49 (Suppl. 2) 2071
- 「治療の歴史 マクロライド系抗菌薬の少量長期投与療法」工藤翔二『治療学』41 (5) 532-536
- 「治療の歴史 急性肝不全に対する血液浄化療法の変遷」神代龍吉『治療学』41 (4) 417-420
- 「アルコール依存症の病態と治療，予防 (抄)」枉岳文『九州神経精神医学』53 (1) 93-95
- 「【実地医家のためのインスリン療法】インスリン療法 歴史と変遷，そして未来へ」小坂樹徳『総合臨床』56 (1) 9-12
- 「【急性冠症候群 診断・治療を進展させた疾患概念】治療の歴史 冠動脈疾患の抗血小板療法」後藤信哉『治療学』41 (8) 873-876
- 「癌の内分泌療法を確立したCharles Benton Huggins (1901-1997)」酒井シヅ『Mamma』(58) 表2
- 「毒ガス研究から生まれた最初の抗癌化学療法」酒井シヅ『Mamma』(56) 表2

- 「治療の歴史 過敏性腸症候群 (IBS) 治療」佐々木大輔『治療学』41 (6) 639-642
- 「治療の歴史 NSAIDsによる関節リウマチの治療」佐野統『治療学』41 (12) 1299-1304
- 「ハイパーサーミアの概要と歴史的背景」菅原努『日本医事新報』(4358) 90-91
- 「中国の森田療法の現状 日本との比較を通して」施旺紅, 樋之口潤一郎, 久保田幹子, 中村敬『日本森田療法学会雑誌』18 (2) 181-187
- 「【痙縮治療の新展開 バクロフェン髄注療法】バクロフェン髄注療法の歴史」平孝臣『脳21』10 (4) 351-355
- 「【成長ホルモン治療データベース 20周年 Global KIGSの歩み】成長ホルモン治療の歴史とKIGSの役割」高野加壽恵, 田中敏章, 藤枝憲二『ホルモンと臨床』55 (8) 733-740
- 「【移植と人工臓器の哲学 医療従事者へのメッセージ】移植の歴史とその現況」高橋公太『成人病と生活習慣病』37 (12) 1338-1343
- 「【パーキンソン病のリハビリテーションガイド】パーキンソン病 その歴史と治療法の変遷」田代邦雄『MEDICAL REHABILITATION』(76) 1-6
- 「強迫性障害の入院森田療法に併用された薬物療法の時代的変遷」館野歩, 矢野勝治, 鹿島直之, 樋之口潤一郎, 塩路理恵子, 久保田幹子, 浦島充佳, 中村敬, 中山和彦『日本森田療法学会雑誌』18 (2) 83-92
- 「【成長ホルモン治療データベース 20周年 Global KIGSの歩み】成長ホルモン治療におけるデバイスの歴史」田中弘之『ホルモンと臨床』55 (8) 819-825
- 「治療の歴史 わが国におけるDIC診療」辻肇『治療学』41 (3) 318-320
- 「ドイツ医学とイギリス医学の対立が生んだ森田療法」中山和彦『東京慈恵会医科大学雑誌』122 (6) 279-294
- 「谷川家処方集に見られる脚気治療処方箋 (抄)」西井易穂『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』54
- 「【輸液のすべて 基本から実際まで】トピックス 輸液の今昔物語「Half and half」」二瓶宏『腎と透析』63 (増刊) 431-434
- 「うつ病の真実 うつ病治療の発展 薬物療法の歴史」野村総一郎『こころの科学』(135) 95-101
- 「うつ病薬物療法の変遷と今後の展開」野村総一郎『臨床精神薬理』10 (10) 1807-1814
- 「低身長に対する脚延長手術の歴史と現状」芳賀信彦『日本成長学会雑誌』13 (2) 53-57
- 「肝切除と肝再生 過去・現在」初瀬一夫『防衛医科大学校雑誌』32 (4) 212-220
- 「ホメオパシー患者が読んだ疾病記事:『ライプツィヒ・ホメオパシー民衆雑誌』の分析 (1871-1939) (抄)」服部伸『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』51
- 「治療の歴史 糖尿病性腎症に対する治療戦略の変遷と将来展望」羽田勝計『治療学』41 (2) 209-213
- 「平野重誠『病家須知』(1832)にみる自然治癒力の概念 (抄) (英語) Hirano Jusei, the Author of "Byoka suchi" (1832) and His Idea of Natural Healing Power」平尾真智子, 大道寺慶子『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集 (2007)』27, 69
- 「当院における呼吸器感染症外科治療70年間の変遷 (抄)」深井志摩夫『日本呼吸器外科学会雑誌』21 (3) 297
- 「【ステロイド局所療法を検証する】アトピー性皮膚炎治療におけるステロイド外用剤の歴史」古江増隆『Topics in Atopy』6 (1) 22-26
- 「【関節リウマチ 患者さんに信頼されるための最新知識とその活用】関節リウマチ・セミナー 関節リウマチにおける薬物療法の歴史と現在の薬」堀田哲也, 小池隆夫『Medical Practice』24 (10) 1737-1742
- 「【ワクチン 感染症のコントロールに向けて】治療の歴史 マラリアワクチン開発の歴史と実用化への展望」堀井俊宏, 石井健, 有末伸子, 東岸任弘, 八木正典『治療学』41 (10) 1097-1103
- 「【慢性疼痛管理】慢性疼痛の治療に必要な知識 疼痛患者の教育・指導とその実際 慢性疼痛患者に対する集団療法を用いての教育・指導」本



- 間真理，並木昭義『ペインクリニック』28（別冊春）S272-S279
- 「【造血幹細胞移植のすべて】基礎編 造血幹細胞移植の歴史」正岡徹『血液・腫瘍科』55（Suppl. 5）128-131
- 「【ステロイド局所療法を検証する】アレルギー性鼻炎治療におけるステロイド使用の歴史」増山敬祐『Topics in Atopy』6（1）32-36
- 「脳血管攣縮治療の最近の動向 これまでの軌跡と今後の展望」松居徹，石川達哉『脳卒中の外科』35（1）1-6
- 「CRT再同期療法の歴史的背景・意義・適応・効果・有用性」松本万夫『エレクトロニクスの臨床』76（4）47-54
- 「【『喘息』の20年を振り返って 病態解明と治療薬の進歩を探る】長期管理薬 吸入ステロイド薬」美濃口健治，足立満『喘息』20（4）59-64
- 「治療の歴史 肥満治療の歴史」宮崎滋『治療学』41（7）759-763
- 「電気けいれん療法の再評価（磁気刺激療法を含む）電気けいれん療法の歴史と現状」本橋伸高『精神神経学雑誌』109（4）361-364
- 「造血幹細胞移植への道程 先駆者達の飽くなき戦い」森山美昭『新潟県医師会報』（688）28-29
- 「【ペインクリニック領域での超音波ガイド下神経ブロック】超音波ガイド下神経ブロックの歴史と未来」山本健『ペインクリニック』28（8）1066-1074
- 「生活習慣病対策 医学・体力医学・栄養学・薬学・厚生行政からのアプローチ 日本体力医学会の立場から（抄）」吉岡利忠『体力科学』56（2）301
- 「江戸時代の電気療法—伊藤慎蔵譯本『改正磁石靈震気療説』について（抄）」渡部幹夫『日本医史学雑誌』53（1）78-79
- 早川智『産科と婦人科』74（11）1568-1571
- 「幕末期，本草学者の果たした役割—小笠原開拓事業と阿部櫛斎—（抄）」平野満『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』34
- 「安藤昌益の儒教批判とその四書評」張崑将『日本思想史』（70）
- 「安藤昌益の八戸来住由縁と「大坂屋」」近藤悦夫『八戸地域史』（44）
- 「【オルトベディ】の造語者，ニコラ・アンドリ（一六五八—一七四二）（その一）（抄）」小林晶『日本医史学雑誌』53（1）96-97
- 「飯沼愆齋研究の想い出Ⅲ」遠藤正治『愆齋研究会だより』（112）2-6
- 「ホシ伊藤の創業者 伊藤経作の生涯（Ⅰ）星一との邂逅（抄）」本間克明『薬史学雑誌』42（2）156
- 「ホシ伊藤の創業者 伊藤経作の生涯（Ⅱ）星の組織とその事業（抄）」本間克明『薬史学雑誌』42（2）161
- 「農業機械災害撲滅の執念—伊藤紀克の終わりになき闘い—（抄）」古屋統『薬史学雑誌』42（2）165
- 「ヴェサリウスの家計」泉彪之助『日本医史学雑誌』53（2）303-310
- 「青い血のカルテ 上杉謙信と高血圧」早川智『産科と婦人科』74（10）1240-1243
- 「古典あれこれ 項筋筋電図法と中脳誘発電位法により前庭反射研究に先鞭をつけられた故内海貞夫教授」松永喬『JOHNS』23（6）924-927
- 「Hans Eppingerと自律神経失調症」田村直俊，山元敏正，中里良彦，糸川かおり，島津邦男『自律神経』44（1）18-23
- 「資料・大井玄洞の履歴と功業」寺畑喜朔『北陸医史』28（1）1-4
- 「大江雲澤と合水堂（抄）」川寫真人『日本医史学雑誌』53（1）144-145
- 「医者も知りたい医者のはなし 大村益次郎（1824-1869）」木村専太郎『臨床整形外科』42（10）1026-1030
- 「岡小天の十七回忌に 学者としての父，家庭で

#### 40 伝記

「『青木周蔵筆記』の詩と真実—渡独前の経歴を中心として—」森川潤『広島修大論集』48（1）416-446

「青い血のカルテ 足利尊氏の癲と双極性障害」

- の父」樋口陽子『日本バイオレオロジー学会誌(B&R)』21(2)52-64
- 「医者も知りたい医者のはなし 種痘の祖・秋月藩医 緒方春朔(1748-1810)」木村専太郎『臨床整形外科』42(5)442-445
- 「科学者のふるさとを訪ねる 第5回 ハンセン病患者救済に尽くした女医 小川正子(1902-1943) 山梨県笛吹市春日居町」西條敏美『ミクросコピア』24(2)120-122
- 「発見! 貝原益軒・晩年の養生法—『用薬日記』にみる処方術 第6回—第12回(終回)」山崎光夫『大塚薬報』(622-628)36-38, 30-33, 34-37, 30-32, 30-33, 32-35, 32-35
- 「御陣屋荊籍(慶應四戊辰七月中旬) 一門屋泰安信善」蒔昭三『北陸史』28(1)27-37
- 「インターネットでみる『呼吸器』カレルについて」諏訪邦夫『呼吸』26(11)1068-1070
- 「木村兼葭堂と長崎の交流ネットワーク・大阪文人と唐人屋敷のつながり」孫曉艶『史観』(156)
- 「キュリー夫人 逆境を乗り越えて 幼少期」真田鮎子『東京放射線』54(11)27-28
- 「科学者のふるさとを訪ねる 第7回 シーボルトの娘 西洋医学最初の女医 楠本イネ(1827-1903) 愛媛県宇和町/岡山市表町/東京都築地/長崎市寺町」西條敏美『ミクросコピア』24(4)322-324
- 「グラム医師の研究の経過について(抄)」会田恵『日本医史学雑誌』53(1)120-121
- 「加賀藩医師・伍堂卓爾の長崎遊学について(抄)」金谷利勝『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』15
- 「呼吸器学の巨人たち Julius H Comroe Jr 呼吸生理学から臨床呼吸器学へ」加藤幹夫『呼吸』26(7)691-694
- 「相良知安とドイツ医学(抄)」相良隆弘『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』36-37
- 「日本の口中科免許第一号 佐治職(さじ・つかさ)(抄)」樋口輝雄『日本医史学雑誌』53(1)116-117
- 「佐藤舜海(尚中)の長崎遊学の意義(抄)」酒井シヅ『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会・洋学史学会合同大会抄録集』19-21
- 「佐藤方定と『大同類聚方』(抄)」後藤志朗, 根本幸夫『日本医史学雑誌』53(1)166-167
- 「呼吸器学の巨人たち Peter Safar と蘇生学確立」諏訪邦夫『呼吸』26(12)1153-1155
- 「日欧文化交流史の中のシーボルトII・「シーボルト日記」に見る西洋医学伝達者としての一面」牧幸一『研究年誌』(51)
- 「フォン・ブランデンシュタイン家所蔵, 1826-1827年シーボルト関係書簡の翻刻ならびに翻訳」宮坂正英, ベルト・ノイマン, 石川光庸『鳴滝紀要』(17)73-116
- 「シーボルト記念館所蔵資料について」扇浦正義『鳴滝紀要』(17)117-126
- 「シーボルトと中津」川寫真人『鳴滝紀要』(17)1-7
- 「エドワード・ジェンナーの生涯」山崎江里子, 松田圭二, 高田忠敬『帝京医学雑誌』30(1)9-11
- 「塩見脩也と蘭方膏薬(抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』53(1)172-173
- 「科学者のふるさとを訪ねる 第4回 赤痢菌を発見した細菌学者志賀潔(1870-1957) 宮城県仙台市/同県山元町」西條敏美『ミクросコピア』24(1)32-34
- 「志賀潔先生の生い立ちと業績(抄)」松本慶蔵『日本化学療法学会雑誌』55(Suppl. A)126
- 「伝記 ベンゾジアゼピン系トランキライザーの発明者レオ・スターンバック」内林政夫『薬学雑誌』127(1)217-224
- 「オリバー・スミーズ先生のノーベル賞受賞に寄せて」藤田信也『ミクросコピア』24(4)295-297
- 「理堂関場不二彦生誕百四十年を記念して」島田保久『北辰』(8)2-7
- 「先達医家の肖像130 心臓病の重大危険因子を明らかにしたThomas R. Dawber(1913-2005)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(406)表3
- 「高峰徳明 琉球で初めて子どもの麻酔を行った?(抄)」新崎康彦『日本小児麻酔学会誌』13(1)57
- 「高山紀斎の生涯(その3 高山紀斎の履歴書か

- ら）（抄）」水川秀海『日本歯科医史学会々誌』27(2)94-95
- 「原淳博士のブロンズ像を制作して」佐脇健一『ミクروسコピア』24(4)298-299
- 「医史資料 近松寅三先生と「煙草やに二因ル人工癌発生」煙草やにによる人工癌発生研究余話と近松寅三略伝」近松正雄，中村新三，青木國雄『現代医学』55(2)355-366
- 「医史資料 近松寅三論文の評価」近松正衛『現代医学』55(2)347-354
- 「ツェンベリーと水銀水（抄）」高橋文『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』26
- 「鶴屋南北の死因」杉浦守邦『医譚』(103)5227-5236
- 「孤高の外科医ギョーム・デュビュイトラン男爵」小林晶『日仏医学』30(1)1-20
- 「豊臣秀長の都状（病氣祈禱文）と病状」永島福太郎，亥口勝彦『医譚』(103)5243-5246
- 「【あなたにとって看護とは?】ナイチンゲールが考えた看護」徳本弘子『看護学生』55(1)6-9
- 「終わりなき旅 ナイチンゲール伝をめぐる通説と新説」長島伸一『総合看護』42(3)5-13
- 「かつまた先生の看護理論 入門 ナイチンゲール(2)」勝又正直『プチナース』16(7)50
- 「知っていますか ナイチンゲール」武見綾子『ほすびたる らいぶらりあん』32(2)106-109
- 「フロレンス・ナイチンゲールは我が国にどのように紹介されてきたか（抄）」上坂良子，水田真由美『日本医史学雑誌』53(1)92-93
- 「長井長義と土佐人（二）」渋谷雅之『土佐史談』(234)
- 「長井長義の長崎日記（抄）」渋谷雅之『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』39-40
- 「【略痰学の up-to-date】略痰学の先駆者 長岡滋先生の功績」中村清一『THE LUNG — perspectives』15(1)64-67
- 「長崎蓬洲の年譜について補遺」正橋剛二『北陸医史』28(1)5-11
- 「中島宗仙の筑紫行雑記一文政6年一医師の長崎遊学旅行記一（抄）」中島洋一，松村紀明『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』16
- 「長崎の洋学が生んだ司法官・名村泰蔵（抄）」長沼秀明『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』75
- 「明治末期から近代的欧州式プロバガンダを实践した最初の日本人MR二宮昌平薬劑師の素顔」西川隆『薬史学雑誌』42(2)131-136
- 「済生学舎時代の野口英世（抄）」唐沢信安，殿崎正明『日本腹部救急医学会雑誌』27(2)248-249
- 「野口英世の左手の「わが国初の有茎皮弁移植術」（抄）」志村俊郎，唐沢信安，殿崎正明，岩崎一，寺本明『日本医史学雑誌』53(1)112-113
- 「抗菌薬開発の軌跡をたどる 生物の自然発生を否定した立体化学・微生物学・ワクチンの開拓者 ルイ・パストゥール」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』23(13)2619-2623
- 「言葉 病理性，創造性，治療をめぐる 外傷を巡る言葉：「その戦いからの放免は存在しない」ビオンの人生とその精神分析理論」福本修『日本病跡学雑誌』(73)4-14
- 「Raymond de Vieussens（英語）」Loukas Marios, Clarke Pamela, Tubbs R.Shane, Kapos Theodoros『Anatomical Science International』82(4)233-236
- 「中世の医学者アルナウ・ダ・ピラノバ（抄）」泉彪之助『日本医史学雑誌』53(1)98-99
- 「日本における臨床心理学の導入と受容過程（4）福来友吉の業績を巡って（抄）」安齊順子，鈴木祐子，小泉晋一，成瀬悟策『日本心理学会大会発表論文集』71回，W63
- 「西洋科学技術の教師としてのヤン・カレル・ファン・デン・ブルック博士（抄）（英語）Dr. Jan Karel Van den Broek as teacher of western technology」ヘルマン・ムースハルト『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集（2007）』40-41, 80-81
- 「「骨は生きている」ハロルド・フロスト先生の想い出」高橋栄明『ミクروسコピア』24(4)300-304
- 「Max von Pettenkoferの足跡を訪ねて（抄）」植木

- 絢子『産業衛生学雑誌』49(6)240-241
- 「近代衛生学及び予防医学の先駆者である Max von Pettenkofer (1818-1901) (Max von Pettenkofer (1818-1901) as a Pioneer of Modern Hygiene and Preventive Medicine) (英語)」Locher Wolfgang Gerhard『Environmental Health and Preventive Medicine』12(6)238-245
- 「現代衛生学と予防医学の先駆者としての Max von Pettenkofer (1818-1901) (英文) (抄) (Max von Pettenkofer (1818-1901) as a pioneer of modern hygiene and preventive medicine)」Locher Wolfgang G.『日本衛生学雑誌』62(2)119-122
- 「適塾門下生「備中窪屋郡中畷 別府真敬悴 別府琴松」について (抄)」木村丹, 松田俊悟『日本医史学雑誌』53(1)38-39
- 「本邦においてへボンが用いた教科書『衛生・生理学』書について (抄)」島田和幸『日本医史学雑誌』53(1)72-73
- 「古典あれこれ Charles Bellの本 神経編」飯沼壽孝『JOHNS』23(4)666-668
- 「Hans Berger のヒトの脳波の発見とその後の脳波学の発展 Hans Berger の年代記も含めて (抄)」山口成良『精神神経学雑誌』2007(特別)S184
- 「ベルツ博士の精神とヘルテル (大阪医科大学) 教授 (抄)」山上勝久『日本医史学雑誌』53(1)88-89
- 「医者も知りたい医者のはなし 化学と物理学と医学を結合させた男 Linus C. Pauling (1901-1994)」木村専太郎『臨床整形外科』42(8)786-788
- 「星一の著作を追って」三澤美和『薬史学雑誌』42(2)137-146
- 「星一の著作を追って (抄)」三澤美和『薬史学雑誌』42(2)176
- 「医者も知りたい医者のはなし 日本近代医学の父 ポンペ 来日150周年」木村専太郎『臨床整形外科』42(3)284-287
- 「ポンペ・ファン・メールデルフォールト：日本最初の医学校の創設者 (抄) (英語) Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan」ハルメン・ボイケルス『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集(2007)』45-46, 85-86
- 「ポンペの病理学総論オランダ語講義ノートの研究 (抄)」相川忠臣, ハルム・ボイケルス『日本医史学雑誌』53(1)36-37
- 「佐賀藩医馬郡元孝の戊辰戦争従軍記 (抄)」青木歳幸『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』57
- 「適塾の塾頭 松下元芳の系図について一福沢諭吉の一代前の塾頭で親友の筑後久留米藩医一 (抄)」中山茂春『日本医史学雑誌』53(1)42-43
- 「適塾の塾頭松下元芳の系図について一福沢諭吉の一代前の塾頭で親友の久留米藩医一」中山茂春『日本医史学雑誌』53(2)317-321
- 「松本良順 (1832-1907)：ポンペ・ファン・メールデルフォールトの協力者 (抄) (英語) Ryojun Matsumoto (1832-1907), an Assistant of Pompe van Meerdervoort」酒井シヅ『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集(2007)』53-55, 93-95
- 「研究会講演録「曲直瀬道三の医学—医学の上で天下統一を目指した曲直瀬道三—」遠藤次郎『杏雨』(10)125-140
- 「曲直瀬道三生誕五百年」小曾戸洋『漢方と鍼』31(2)4-5
- 「間宮林蔵の死因 (抄)」杉浦守邦『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』55
- 「三浦梅園の長崎紀行(「婦山録草稿」より) (抄)」佐藤裕『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』17
- 「南小柿寧一とその家系(二)一南小柿宗宅 (抄)」石原力『日本医史学雑誌』53(1)162-163
- 「三輪卓爾先生を想う」小曾戸洋『日本医史学雑誌』53(2)322-325
- 「フランス人医師ムリエの養蚕研究について—帝國動植物環境馴化協会の講演から—」須長泰一『日本医史学雑誌』53(4)672-678
- 「腹腔鏡手術の創始者 フィリップ・ムレー先生に本田賞」中村茂樹『ミクروسコピア』24(4)291-294

- 「モーツアルトの脳」—モーツアルト生誕250年裏話（前編）（後編）濱中淑彦『名古屋医報』（1304-1305）33, 42
- 「物のあはれ 攷一舜庵・本居宣長の医学思想との関わりから」小高修司『日本医史学雑誌』53(2)285-302
- 「本木昌造の印刷業—複製技術の展開—（抄）」若木太一『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』43
- 「森鷗外と医学留学生たち 第一回 日本近代医学の源流」山崎光夫『大塚薬報』（629）26-30
- 「森鷗外と医学留学生たち 第二回—第三回 日本近代医学の源流 森鷗外と北里柴三郎（上）（中）」山崎光夫『大塚薬報』（630-631）28-31, 28-31
- 「矢澤梅太郎の日記」田崎哲郎『愛大史学—日本史・アジア史・地理学—』（16）57-98
- 「梁川星巖の死因」杉浦守邦『啓迪』（25）9-20
- 「山田俊郷と心学明誠舎 飯塚修三『医譚』（103）5237-5240
- 「済生学舎の山田良叔講師と山田訳「蘭氏生理学」について（抄）」岩崎一，殿崎正明，唐澤信安『日本医史学雑誌』53(1)114-115
- 「科学者のふるさとを訪ねる第6回 女性のための医学校を創設した女医 吉岡弥生（1871-1959） 静岡県掛川市大東町 西條敏美『ミクロスコピア』24(3)212-214
- 「錦絵になったお雇いの教師 T. H. ヨングハンス（抄）」加藤詔士『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』72
- 「青い血のカルテ フランス王国ルイ17世の心臓」早川智『産科と婦人科』74(9)1120-1123
- 「外科学温故知新」によせて [Roux-en-Y] 吻合の創始者 Cesar Roux (1857-1934)」佐藤裕『臨床外科』62(1)105-107
- 「抗菌薬開発の軌跡をたどる 顕微鏡で微生物を初めて観察した市井の科学者 アントニー・ファン・レーウェンフック」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』23(12)2357-2360
- 「日向薬事始め（その3） 延岡の医祖，渡邊正庵とその周辺」山本郁男，宇佐見則行，井本真澄，岸信行『九州保健福祉大学研究紀要』（8）187-192
- #### 41 伝記（双）
- 「緒方惟準（洪庵嗣子）のポンペ・ボードイン・マンズフェルトとの交流（抄）」中山沃『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』59
- 「学の洪庵，術の老柳（抄）」松本順司『日本集中治療医学会雑誌』14(Suppl.)94
- 「近代医学揺籃の期に生きた二人の偉人 ゲーテとウイルヒョウ」異典之，横田正春，紙谷富夫『医学と生物学』151(2)27-37
- 「外科学温故知新」によせて 腹腔鏡の開発と実用化に関わった Kelling と Jacobeaus」佐藤裕『臨床外科』62(13)1735-1738
- 「日本における生理学者の歴史 日本における生理科学に貢献した著名な学者：額額と入沢（英語）（抄）（History of physiologists in Japan Commemorative and illustrious individuals devoting to physiological science in Japan: Koketsu and Irisawa）」Maruyama Yoshio, Kuba Kenji, Seyama Issei『The Journal of Physiological Sciences』57(Suppl.)S12
- 「写真に残る2人の大外科医の交流 Kocher と Halsted」泉雄勝『乳癌の臨床』22(1)47-51
- 「後藤新平研究（そのX）後藤新平と新渡戸稲造の基本構想」小野寺伸夫『医学史研究2006-2007』（88）23-33
- 「加賀藩医師・伍堂卓爾と蘭医スロイスとの関係（抄）（英語）The Relationship between KAGAHAN Doctor GODOU TAKUJI and Dutch Doctor Pieter J. A. SLUYS」金谷利勝『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集（2007）』25, 67
- 「茂吉と静塔」石川文之進『栃木県医学会々誌』37, 168-171
- 「斎藤龍安の足跡と関寛斎との接点をめぐって（抄）」大河原晃『柔道整備・接骨医学』15(5)394
- 「シーボルトと桂川甫賢，宇田川榕菴（抄）」山口

- 隆男『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』31
- 「外科学温故知新」によせて 医学の守護聖人 コーム・ダミアン兄弟による下肢移植伝承 佐藤裕『臨床外科』62(12)1575-1577
- 「中国から長崎に来た医師たち(抄)」郭秀梅『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』23
- 「中島治平とハルデス(抄)」吉田忠『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』22
- 「ドイツ帝国函館領事L・ハーバーと星一(抄)」山朝江, 三澤美和『薬史学雑誌』42(2)157
- 「ベルツ博士の来道と関場不二彦先生の外遊事情(抄)」宮下舜一『薬史学雑誌』42(2)154
- 「ベルツ博士の来道と関場不二彦先生の外遊事情(抄)」宮下舜一『北辰』(8)38-39
- 「ポンベ・ファン・メールデルフォールトの跡を継いだオランダ人医師たち(抄)(英語) Dutch physicians in the wake of Pompe van Meerdervoort」ハルメン・ボイケルス『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集(2007)』19-20, 61-62
- 「ポンベと榎本武揚(抄)」稲本静恵『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』58
- 「道三の姓「曲直瀬」と玄朔の号「東井」に関する考察(抄)」遠藤次郎, 中村輝子, 真柳誠『日本医史学雑誌』53(1)152-153
- 「柳川家文書による華岡青洲系譜の検証」柳川泰彦, 柳川和一郎『日本医史学雑誌』53(2)271-283
- 42 伝染病史・防疫史・感染症史**
- 「日本における非伝染性疾患に対する疫学の小史(第1部)1880~1944年迄の選定疾患と関連エピソード(英語)」Aoki Kunio『Journal of Epidemiology』17(1)1-18
- 「旧満州国立「癩」療養所同康院調査報告」井上英夫『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』7(1)10-16
- 「私が歩んだ研究の道とそこからの教訓 麻しんワクチン 恩師奥野良臣先生と麻しんワクチンの開発」上田重晴『小児感染免疫』19(3)273-282
- 「安政5年コレラ流行の際のポンベの建言書から芳香散の触書までの間(抄)」荻原通弘『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』28
- 「疫学研究の源流を訪ねて」景山茂『薬剤疫学』12(2)29-32
- 「疫学 日本におけるスペインインフルエンザの流行」加地正郎『インフルエンザ』8(2)117-124
- 「マラリアはローマの友達 中世ヨーロッパに影を落とした二つの感染症(抄)」小長谷正明『日本臨床内科医会誌』22(3)273
- 「明治時代の女学校のテキストにみる「伝染病の家庭の看護」」小稗文子, 石井範子『北日本看護学会誌』10(1)37-44
- 「【ICTがおさえておきたいMRSA対策のすべて】要チェック! 最新MRSA事情 MRSAの歴史と現状」小森敏明『INFECTION CONTROL』2007(春季増刊)232-242
- 「戦前・戦後の赤痢の多発と疫癘の時代,そして化学療法の曙(抄)」斎藤誠『日本化学療法学会雑誌』55(Suppl. A)127
- 「起請文と癩病」佐藤和夫『歴史研究』(556)
- 「占領期における急性感染症の発生推移」田中誠二, 杉田聡, 森山敬子, 丸井英二『日本医史学雑誌』53(2)229-248
- 「占領期における急性感染症の発生推移(一九四五年—一九五一年)(抄)」田中誠二, 杉田聡, 森山敬子, 丸井英二『日本医史学雑誌』53(1)104-105
- 「コプリック斑のわが国への受容—麻疹の歴史の一断面(3)」深瀬泰旦『川崎小児科医会ニュース』(15)10-12
- 「細菌学・感染症学における先人の業績 大原八郎ら 野兎病病原体(野兎病菌)の発見」光山正雄『化学療法の領域』23(7)1180-1183
- 「日本, 韓国およびミャンマーのハンセン病の比較研究(抄)」森修一, 菊地義弘, 石田裕,

- 石井則久『日本ハンセン病学会雑誌』76(2)137  
 「ハンセン病と医学 絶対隔離政策の進展と確立」  
 森修一，石井則久『日本ハンセン病学会雑誌』  
 76(1)29-65  
 「日本の医療と疫学の役割 歴史的俯瞰 疫学事  
 始 日本における疫学の発祥からその認知ま  
 で」森岡聖次，重松逸造『日本胸部臨床』66(9)  
 752-761  
 「日本の医療と疫学の役割 歴史的俯瞰 日本の  
 疫学誕生期（後期）感染症の疫学と初期の疫  
 学公衆衛生研究」森岡聖次，重松逸造『日本胸  
 部臨床』66(10)854-864  
 「日本の医療と疫学の役割 歴史的俯瞰 成長期  
 の疫学 疫学の定着と非感染性疾患の疫学」森  
 岡聖次，重松逸造『日本胸部臨床』66(11)938-  
 951  
 「日本の医療と疫学の役割 歴史的俯瞰 発展期  
 の疫学（その1）がん・循環器疾患の疫学と国  
 際共同研究の進展」森岡聖次，重松逸造『日本  
 胸部臨床』66(12)1038-1055  
 「アスペルギルス症今昔(3)」山口英世『深在性  
 真菌症』3(1)52
- 43 東洋医学史・伝統医学史**
- 「エジプトにおける薬剤師業務：歴史，現況，及  
 び将来展望（英語）(Pharmacy Practice in Egypt:  
 History, Current Situation, and Future Prospects)」  
 El-Sayed Ayman『薬剤学：生命とくすり』67(5)  
 284-287  
 「【相補・代替医療の現況をみる 日常診療で知  
 っておくべき多種多様のCAMを解説します】相  
 補・代替医療の基礎知識 相補・代替医療の宗  
 教的・霊的要素」阿岸鉄三『治療』89(3月増  
 刊)731-738  
 「漢方医学の歴史 臨床家が漢方医学の歴史をふ  
 まえることとは」浅岡俊之『日本東洋医学雑  
 誌』58(3)407-412  
 「【臨床各領域の動向2006-2007】統合医療」渥美  
 和彦『治療』89(1)77-83  
 「統合医療」渥美和彦『Biotherapy』21(6)361-371  
 「目でみる漢方史料館(228) 馬王堆出土の『雑  
 療方』」天野陽介，宮川浩也『漢方の臨床』54(8)  
 1242-1244  
 「謝観（利恒）と『中国医学大辞典』（抄）」天野  
 陽介，小曾戸洋，石野尚吾，花輪壽彦『日本医  
 史学雑誌』53(1)64-65  
 「出土した中国古代医学文物（展示）（抄）」猪飼  
 祥夫『日本医史学雑誌』53(1)176-177  
 「総合医学としての漢方を見る その歴史と展望」  
 石川友章，小曾戸洋，石野尚吾『漢方療法』10  
 (10)718-727  
 「東西医学の接点と解離点（抄）」伊東宏『全日本  
 鍼灸学会雑誌』57(1)64-65  
 「神灯照法について（抄）」上田善信『日本医史学  
 雑誌』53(1)134-135  
 「【相補・代替医療の現況をみる 日常診療で知  
 っておくべき多種多様のCAMを解説します】ア  
 ジアの伝統医学 アーユルヴェーダ」上馬場和  
 夫『治療』89(3月増刊)984-995  
 「東洋医学/漢方診療におけるNBM（ナラティ  
 ブ・アプローチ）の歴史的検証」江頭祐祐『心  
 身医学』47(4)283-289  
 「証を考える 中神琴溪の流儀（上）（下）」大友一  
 夫『漢方研究』(429-430)13-22,19-25  
 「脈診入門 脈診の歴史と意義」大野修嗣『伝統  
 医学』10(4)12-13  
 「薬師如来像への日本人の祈り（抄）」奥田潤『薬  
 史学雑誌』42(2)169  
 「『南冥問答』にみる「嘔」について（抄）」小曾  
 戸明子『日本医史学雑誌』53(1)138-139  
 「【相補・代替医療の現況をみる 日常診療で知  
 っておくべき多種多様のCAMを解説します】ア  
 ジアの伝統医学 氣功」帯津良一『治療』89  
 (3月増刊)969-975  
 「日中医学交流史30. 日中における瀉血療法の今  
 昔」郭秀梅『日中医学』22(1)34-36  
 「東洋医学における健康の概念と食養生の理念  
 『医心方』の養生論を手がかりに」梶谷真司『環  
 境と健康』20(2)228-238  
 「ホスピスケアとは その歴史と現状（抄）」柏木  
 哲夫『東洋医学とペインクリニック』36(3-4)  
 110

- 「高齢者と代替医療(統合医療)」川嶋朗『老年看護学』11(2)9-18
- 「大韓民国における東洋医学(英語)(抄)(Oriental medicine in the Republic of Korea)」金英信『日本東洋医学雑誌』58(別冊)78
- 「福祉における鍼灸の役割 医療と福祉 医療におけるソーシャルワーカーの発展史から(抄)」熊谷忠和『全日本鍼灸学会雑誌』57(3)301-302
- 「代替医療「12話」統合へ向けた理解のために 国際的な活躍を見せる伝統医学」小池弘人『看護技術』53(7)654-655
- 『『日本薬局方』(15改正)収載漢薬の来源』小曾戸洋『生薬学雑誌』61(2)68-78
- 「古医書のはなし『医心方』」小曾戸洋『漢方と鍼』31(3)6
- 「古医書のはなし『小品方』の発見」小曾戸洋『漢方と鍼』31(2)4-5
- 「目でみる漢方史料館(221) 医祖神・名医肖像」小曾戸洋『漢方の臨床』54(1)2-4
- 「目でみる漢方史料館(222)「熊宗立原医図」」小曾戸洋『漢方の臨床』54(2)234-
- 「目でみる漢方史料館(229)『黄帝内経太素』杏雨書屋所蔵本」小曾戸洋『漢方の臨床』54(9)1398-1400
- 「目でみる漢方史料館(232) 神農画賛二題一曲直瀬玄湖・畑柳泰」小曾戸洋『漢方の臨床』54(12)1830-1832
- 「目でみる漢方史料館(231) 祥雲寺と曲直瀬今大路家の墓」小曾戸洋, 天野陽介『漢方の臨床』54(11)1694-1696
- 「「関格」について(抄)」小高修司『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』53
- 「「蠱」病攷」小高修司『日本医史学雑誌』53(4)659-671
- 「小腹と少腹の位置(抄)」木場由衣登『日本医史学雑誌』53(1)56-57
- 「日本鍼灸の歴史と発展(抄)」小林章子, 上野美和, 安雲和四郎『全日本鍼灸学会雑誌』57(2)155
- 「目でみる漢方史料館(230) 大英図書館所蔵の敦煌医薬文書(5) 卷子佚名灸方図」小林健二, 天野陽介『漢方の臨床』54(10)1546-1548
- 「【相補・代替医療の現況をみる 日常診療で知っておくべき多種多様のCAMを解説します】アジアの伝統医学 チベット医薬学」小松かつ子, 伏見裕利『治療』89(3月増刊)1008-1017
- 「生薬演習 漢方百味筆筭(日本と中国, 生薬の違い)」小松新平『福岡医師漢方研究会会報』28(3)1-10
- 「延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髓(1)-(7)「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ」齊藤匡男『漢方の臨床』54(6-12)1017-1021, 1189-1193, 1352-1356, 1516-1522, 1646-1651, 1796-1801, 1964-1968
- 「意釈『審視瑤函』(傳仁字著)(23)-(26)」齊藤宗則, 孫基然, 黒木悟, 安井廣迪『漢方の臨床』54(1-4)181-186, 365-370, 503-509, 701-706
- 「意釈『審視瑤函』(傳仁字著)(27)-(28)」齊藤宗則, 孫基然, 黒木悟, 安井廣迪『漢方の臨床』54(6-7)1022-1028, 1194-1200
- 「意釈『審視瑤函』(傳仁字著)(29)-(32)」齊藤宗則, 孫基然, 黒木悟, 安井廣迪『漢方の臨床』54(9-12)1501-1508, 1629-1634, 1789-1795, 1950-1956
- 「新・カルテ万華鏡 シュメールの医学」澤田祐介『臨床看護』33(13)2050-2053
- 『『金匱要略』平成新釈 百合狐惑陰陽毒病脈証并治 第三「百合病」(上)(下)』杉山広重『漢方の臨床』54(6-7)1029-1034, 1201-1206
- 「肖像画発見に伴う古矢知白の探求—『症因問答』『正文傷寒論復正弁』を踏まえて—」杉山広重『漢方の臨床』54(1)195-200
- 「張仲景師『傷寒論』の伝承と証拠との隙間について(上)(下)」杉山広重『漢方の臨床』54(9-10)1477-1488, 1615-1628
- 「日帝下朝鮮の體力章検定に關する研究(抄)」孫煥『教育医学』53(1)159-160
- 「東洋医学の源流を探る 特に日本漢方について」竹内裕司『獣医東洋医学会会誌』15(1)56-59
- 『『揆穴法』『揆穴明弁』について(抄)』田中利江子, 橋本典子, 山崎陽子『日本医史学雑誌』53



- (1) 58-59
- 「植物の香りシリーズ 乳香と没薬」歯科領域における乳香の歴史」千葉栄一『aromatopia』16 (6) 16-19
- 「山田業広著『金匱要略集注』訓読 (32)」千葉古方漢方研究会『漢方の臨床』54 (2) 351-356
- 「【相補・代替医療の現況をみる 日常診療で知っておくべき多種多様のCAMを解説します】アジアの伝統医学 柔道整復」塚田信吾，白石洋介『治療』89 (3月増刊) 946-952
- 「『名家灸選』所収の紐状物を使用した取穴法 (抄)」鶴田泰平『日本医史学雑誌』53 (1) 60-61
- 「【統合医療の実際】統合医療と漢方」丁宗鐵『Biotherapy』21 (6) 394-399
- 「『明月記』の鍼灸 (抄)」寺川華奈『日本医史学雑誌』53 (1) 136-137
- 「日中医学交流史 29. 中国から到来した神農氏」陶恵寧『日中医学』21 (6) 26-29
- 「垣本鍼源の刺絡 (抄)」友部和弘，石野尚吾『日本医史学雑誌』53 (1) 62-63
- 「目でみる漢方史料館 (226) 薬草を用いた神事—鎮花祭とゆりまつり」永井良樹『漢方の臨床』54 (6) 898-900
- 「京都における日本の伝統医学 解剖学の夜明け・山脇東洋の観臓記録 (抄)」中川敏郎『柔道整復・接骨医学』15 (3) 105
- 「宋代の脈状分類—七表八裏九道脈の変遷 (抄)」中川俊之『日本医史学雑誌』53 (1) 132-133
- 「〈四肢四蛇之図〉の今日的意義を考える」長野仁『鍼灸 Osaka』23 (2) 101-107
- 「【相補・代替医療の現況をみる 日常診療で知っておくべき多種多様のCAMを解説します】アジアの伝統医学 ヨーガ」成瀬雅春『治療』89 (3月増刊) 976-983
- 「【相補・代替医療の現況をみる 日常診療で知っておくべき多種多様のCAMを解説します】アジアの伝統医学 あん摩・マッサージ・指圧」長谷川尚哉『治療』89 (3月増刊) 937-945
- 「良導絡あれこれ 良導絡のはじめ」浜崎正『日本良導絡自律神経学会雑誌』52 (4) 138-139
- 「【植物の香りシリーズ 乳香と没薬】中国伝統医学と西洋ハーブ療法における乳香と没薬の経口的使用法」早川明夫『aromatopia』16 (6) 22-24
- 「英国における伝統医学の現状と課題」早崎知幸『漢方の臨床』54 (2) 377-379
- 「【相補・代替医療の現況をみる 日常診療で知っておくべき多種多様のCAMを解説します】アジアの伝統医学 中国伝統医学」平馬直樹，矢数芳英『治療』89 (3月増刊) 916-922
- 「【相補・代替医療の現況をみる 日常診療で知っておくべき多種多様のCAMを解説します】アジアの伝統医学 ユナニ医学と生薬療法の統合医療への貢献」廣瀬輝夫『治療』89 (3月増刊) 996-1007
- 「ユナニ アラブ医学の歴史と現状」廣瀬輝夫『日本統合医療学会誌』3 (2) 61-64
- 「中国医学が伝来する以前の日本固有の医学について」槇佐知子『関西医療大学紀要』1, 1-3
- 「文禄・慶長時代における代用人参 (抄)」松岡尚則，孟原模，山下幸一，村崎徹，牧野利明，栗林秀樹，小野正文，瀬尾宏美，倉本秋，相良祐輔『日本東洋医学雑誌』58 (別冊) 188
- 「韓医学探訪 茶の効用と歴史」松岡尚則，山下幸一『医薬の門』47 (3) 330-333
- 「【古典と臨床】「日本の鍼灸」を語る 技術と思想そして歴史」松田博公，大浦滋観，長野仁，横山浩之『鍼灸 Osaka』22 (4) 298-321
- 「目でみる漢方史料館 (223) 「宋板傷寒論」(5)」真柳誠『漢方の臨床』54 (3) 398-400
- 「目でみる漢方史料館 (224) 岸田吟香の広告錦絵」真柳誠『漢方の臨床』54 (4) 558-560
- 「目でみる漢方史料館 (225) 大英図書館所蔵の敦煌医薬文書 (3) 『張仲景五藏論』」真柳誠『漢方の臨床』54 (5) 730-732
- 「目でみる漢方史料館 (227) 大英図書館所蔵の敦煌医薬文書 (4) 『平脈略例』」真柳誠『漢方の臨床』54 (7) 1074-1076
- 「臺灣訪書志 I 故宮博物院所蔵の医薬古典籍 (36)」真柳誠『漢方の臨床』54 (1) 207-213
- 「臺灣訪書志 I (完) 故宮博物院所蔵の医薬古典籍 (37)」真柳誠『漢方の臨床』54 (2) 357-364
- 「臺灣訪書志 II 國家圖書館〔臺北〕所蔵の醫藥

- 古典籍(1)-(9) 真柳誠『漢方の臨床』54(4-12) 675-680, 867-872, 1051-1057, 1215-1219, 1357-1362, 1523-1527, 1661-1666, 1803-1808, 1957-1963
- 「後世方医学」から何を学ぶか 峯尚志, 中田敬吾, 永島知子『伝統医学』10(3) 105-115
- 「相補・代替医療の現況をみる 日常診療で知っておくべき多種多様のCAMを解説します】アジアの伝統医学 整体」宮川明子『治療』89(3月増刊) 953-959
- 「台湾伝統医学の眺望⑧-⑨」宮崎瑞明, 盛克己『漢方の臨床』54(10-11) 1667-1670, 1809-1813
- 「相補・代替医療の現況をみる 日常診療で知っておくべき多種多様のCAMを解説します】アジアの伝統医学 和漢医学」室賀一宏『治療』89(3月増刊) 923-931
- 「日本漢方諸学派の流れ」安井廣迪『日本東洋医学雑誌』58(2) 177-202
- 「夜啼」に対する治療方剤の史的変遷(抄) 山口英明『日本東洋医学雑誌』58(別冊) 174
- 「笥庵ひとりごと 明治百年漢方略史年表より 明治」山田光胤『漢方療法』10(11) 796-798
- 「笥庵ひとりごと 明治百年漢方略史年表より 大正, 昭和(初期)」山田光胤『漢方療法』10(12) 4-7
- 「資料でたどる鍼灸治療穴史(1)-(2)」山本徳子『医道の日本』66(11-12) 186-188, 132-134
- 「資料でたどる日本鍼灸史(53-58) 一石坂宗哲の鍼灸①-⑥」山本徳子『医道の日本』66(3-7, 9) 216-217, 178-181, 190-194, 146-148, 163-165, 204-208
- 「新修・意積『東洞先生答問』(1)-(4)」横田観風『漢方の臨床』54(9-12) 1471-1476, 1606-1613, 1766-1772, 1917-1922
- 「和訓『橘黄医談』(尾台榕堂著)(10)-(16)(了)」横田観風『漢方の臨床』54(1-7) 188-194, 343-350, 511-516, 691-695, 860-866, 1035-1042, 1207-1214
- 「癘」についての一考察(抄) 吉岡広記『日本医史学雑誌』53(1) 164-165
- 「中国伝統医学と道教(第二十七回覺世真経)(抄)」吉元昭治『日本医史学雑誌』53(1) 50-51

- 「日中医学交流史 32. 中日伝統医学の舌診一相違点の背景」梁 嶸『日中医学』22(3) 28-33
- 「日中医学交流史 33. 明治初・清末の医学交流一岡田篁所と中国医家の筆談録一」梁永宣, 真柳誠『日中医学』22(4) 34-37
- 「日中医学交流史 28. わが身を守る漢方知識一食事篇一」魯紅梅『日中医学』21(5) 64-67
- 「日中医学交流史 31. わが身を守る漢方知識一食事篇一(続き)一」魯紅梅『日中医学』22(2) 28-32

#### 44 内科史

- 「リウマチ治療の100年」小池隆夫『Pharma Medica』25(5月増刊) 29-32
- 「後世に残すわが国の腎臓病学 IgA腎症との出会い」酒井紀『腎臓』29(3) 220-224
- 「日本における心身医学の歩み 日本心身医学会と東京大学心療内科の歩み(抄)」末松弘行『心身医学』47(6) 437
- 「日本における心身医学の歩み 東邦大学心療内科の歩みと関東地方会の活動(抄)」筒井末晴『心身医学』47(6) 438
- 「後世に残すわが国の腎臓病学 戦前から戦後復興期のわが国の腎臓病学」長澤俊彦『腎臓』30(2) 197-201
- 「日本の腎臓学の歩み」長澤俊彦『日本腎臓学会誌』49(1) 4-7
- 「日本における心身医学の歩み 内科学における心身医学の役割 その隘路と期待(抄)」野添新一, 成尾鉄朗『心身医学』47(6) 438
- 「急性腎不全研究の歴史と将来(抄)」菱田明『日本腎臓学会誌』49(3) 196
- 「日本循環器学の源流 戦後循環器学の変遷を振り返る」廣澤弘七郎, 永井良三『呼吸と循環』55(9) 1013-1025
- 「コロトコフ法による血圧測定の普及(抄)」藤倉一郎『日本医史学雑誌』53(1) 90-91

#### 45 皮膚科史

- 「ムラージュ(ロウ製皮膚病模型)」中村秀樹, 清水宏『北海道医学雑誌』82(4) 261-266

「アレルギー疾患の歴史 皮膚アレルギーの歴史  
蕁麻疹の歴史」山本昇壯『アレルギー・免疫』  
15(1)82-87

#### 46 泌尿器科史

「泌尿器学ことはじめ 尿の検査(1)-(4)」折笠  
精一『泌尿器外科』20(9-12)1235-1241, 1307-  
1313, 1427-1432, 1545-1550

「【前立腺癌 基礎・臨床研究のアップデート】基  
礎研究 総論 前立腺癌基礎研究の歴史と現  
状」香川征『日本臨床』65(増刊10 前立腺癌)  
7-12

「【前立腺癌 基礎・臨床研究のアップデート】臨  
床研究 診断 前立腺生検 系統的生検の歴史  
と現状」賀本敏行『日本臨床』65(増刊10 前  
立腺癌)268-272

「おもしろ看護泌尿器科学 泌尿器科の疾患腎移  
植」根本良介『泌尿器ケア』12(6)602-605

「泌尿器科学の今昔を語る(抄)」町田豊平, 折笠  
精一, 村井勝『日本泌尿器科学会雑誌』98(2)69

「導尿目的で利用したネギによる膀胱尿道異物の  
1例 尿道カテーテルの歴史的考察」吉永敦史,  
吉田宗一郎, 中込一彰, 後藤修一『日本泌尿器  
科学会雑誌』98(5)710-712

#### 47 病院史

「病院医療の歴史的始原—わが国の療病院と古代  
インドの福德医薬舎(抄)」亥口勝彦『日本医  
史学雑誌』53(1)46-47

「ある県立精神科病院の歴史と変遷」大谷洋一  
『心と社会』38(2)124-137

「明治大正までに創設された東京の私立精神科  
病院(抄)」金川英雄『日本医史学雑誌』53(1)  
66-67

「地域とともに 安城更正病院の71年」久野邦義  
『日本農村医学会雑誌』55(6)811-822

「日本におけるホスピスの歴史概要(4)」谷荘吉  
『医学史研究2006-2007』(88)19-22

「ホスピスケアの展望 ホスピスケアの展望」丸  
口ミサエ『ホスピスケア』18(1)78-82

「ヴォランタリ・ホスピタルが拓く地平(一)—セ

ント・ジョージ病院の設立と発展—(抄)」柳  
澤波香『日本医史学雑誌』53(1)122-123

「京都府立舞鶴こども療育センターのあゆみと未  
来」四方あかね, 杉本徹『共済医報』56(1)1-5

#### 48 病跡学

「精神的危機と作家の作風の変化 寓意と象徴の  
表現病理(抄)」伊集院清一『日本芸術療法学  
会誌』36(1-2)148

#### 49 病理学史

「ロビンズ病理学の起源と進化及び未来の医学教  
科書に関する考察：個人的見解(英語)(抄)」  
Kumar Vinay『日本病理学会会誌』96(1)113

#### 50 風俗史

「いれずみ物語11 三島由紀夫のいれずみ—薔薇  
か錨か, 弁天小僧か—」小野友道『大塚薬報』  
(622)39-41

「いれずみ物語12 いれずみ奉行—遠山桜か, 生  
首か—」小野友道『大塚薬報』(623)35-37

「いれずみ物語13 龍の彫り物—北京は四合院で  
想う九紋龍史進—」小野友道『大塚薬報』(624)  
39-41

「いれずみ物語14 風呂といれずみ—寅彦も, 美  
美子も驚いた—」小野友道『大塚薬報』(625)  
33-35

「いれずみ物語15 女のいれずみ—刺青に通ふ女  
や花ぐもり—」小野友道『大塚薬報』(626)35-  
37

「いれずみ物語16 カボンといれずみ—世界で最  
も有名ないれずみ男—」小野友道『大塚薬報』  
(627)37-39

「いれずみ物語17 顔のいれずみ」小野友道『大  
塚薬報』(628)37-39

「いれずみ物語18 東大のいれずみ標本—背中の  
「桜姫と清玄」も彫り物絡み—」小野友道『大  
塚薬報』(629)31-33

「いれずみ物語19 永井荷風のいれずみ—「こう  
命」「壮吉命」—」小野友道『大塚薬報』(630)  
33-35

- 「いれずみ物語20 いれずみ大臣—小泉又次郎通  
信大臣—」小野友道『大塚薬報』(631)33-35
- 「公衆浴場における禁止行為及び入浴者制限の変  
遷(抄)(英語) The transition of the prohibited acts  
and the limitations of the users in public baths」川  
端美季『西洋医学教育発祥150年記念国際医学  
史科学史会議抄録集(2007)』32, 74
- 「川柳二五〇年(上編)その生い立ちと今後」尾  
藤三柳『大塚薬報』(630)4-14
- 「川柳二五〇年(下編)川柳マメ知識」尾藤三柳  
『大塚薬報』(631)4-14

## 51 仏教医学史

- 「念仏のく場」法然の引き受けたもの(抄)上  
宇都ゆりほ『精神医学史研究』11(1)42-43
- 「シッダ医学と密教」佐藤任『医学史研究2005-  
2006』(87)43-46
- 「けがれの思想の歴史的観察(抄)」杉田暉道『日  
本医史学雑誌』53(1)48-49
- 「忍性骨臓器ニテ寺埋納の思想的背景に関する一  
考察」立花弥生『民俗学論叢』(22)

## 53 放射線医学史

- 「分子イメージング放射性医薬品の発展(英語)  
(抄)(The Evolution of Molecular Imaging Radio-  
pharmaceuticals)」Hnатовich Donald J., Nakamura  
Kayoko『核医学』44(3)158
- 「放医研における放射線医学の取り組み 重粒子  
線治療 がん治療施設の現状と展望」辻井博彦  
『放射線科学』50(10)8-13

## 54 本草学史・博物学史

- 「『泰西本草名疏』から『草木図説』へ(抄)」遠  
藤正治『平成19年度日本医史学会・日本薬史  
学会・洋学史学会合同大会抄録集』32
- 「『草木図説』の出版から『新訂草木図説』の成立  
Ⅱ—出版条例と博覧会事務局—」幸田正孝『愆  
齋研究会だより』(113)2-8
- 「鉤吻と治葛(野葛)一付「董」攷」小高修司『薬  
史学雑誌』42(2)97-102
- 「け化物を生んだ日本人の自然観と科学」鈴木一

義『大塚薬報』(624)4-17

- 「十九世紀における植物研究と商業園芸(抄)」平  
野恵『平成19年度日本医史学会・日本薬史学  
会・洋学史学会合同大会抄録集』33
- 「植木屋が本草学に果たした役割—尾張花戸・曾  
吉を中心に—」平野恵『愆齋研究会だより』  
(111)2-7
- 「独活・羌活の古来の正品原植物に関する史的考  
察」御影雅幸, 落盛丹『薬史学雑誌』42(1)  
17-21
- 「日本独自の本草学の誕生について(抄)」ミヒェ  
ル・ヴォルフガング『平成19年度日本医史学  
会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録  
集』30
- 「飯沼愆齋『草木図説』のスマレ—愆齋のスマレ  
に関する認識について—」山田直毅, 河村典久  
『愆齋研究会だより』(114)2-8

## 55 麻酔学史

- 「産科麻酔の進歩 胎盤サポート胎児分娩手術に  
対する麻酔(英語)(Advances in obstetric an-  
esthesia: anesthesia for fetal intrapartum operations  
on placental support)」Kuczkowski Krzysztof M.  
『Journal of Anesthesia』21(2)243-251
- 「徹底分析シリーズ 岐路に立つ産科医療 麻酔  
科医はいかにかかわるか 産科麻酔の歴史的展  
望と将来の日本の課題」小坂義弘『LiSA』14(5)  
416-419
- 「不安や恐怖を取り除こう! 麻酔超入門 麻酔の  
歴史」佐野忠士『as: animal specialist』19(4)  
22-26
- 「【慢性疼痛管理】慢性疼痛の管理体制に必要な知  
識 Multidisciplinary Pain Clinicの歴史的意義と  
展望」塩谷正弘『ペインクリニック』28(別冊  
春)S280-S285
- 「安全な手術を求めて 麻酔の先駆者たち」谷藤  
泰正『Biophilia』3(3)73-76
- 「【亜酸化窒素の功罪】麻酔ガスとしての歴史」松  
木明知『臨床麻酔』31(6)966-971
- 「脊椎麻酔事故予防に対する医史的対策とその  
効果(抄)」松木明知『日本医史学雑誌』53(1)

- 102-103  
「痛みと麻酔の歴史（抄）」森田潔『全日本鍼灸学会雑誌』57(3) 266
- 57 薬学史**
- 「ドイツ薬事博物館探訪⑪ 美しく装飾されたガラス容器のコレクション」Elisabeth Huwer（中村典子訳）『大塚薬報』（622）24-26
- 「ドイツ薬事博物館探訪⑫ 信仰と医療」Elisabeth Huwer（中村典子訳）『大塚薬報』（623）22-24
- 「ドイツ薬事博物館探訪⑬ ファヤンスヨーロッパにおける磁器の前身」Elisabeth Huwer（中村典子訳）『大塚薬報』（624）24-26
- 「ドイツ薬事博物館探訪⑭ 家庭用薬箱と旅行用薬箱」Elisabeth Huwer（中村典子訳）『大塚薬報』（625）22-24
- 「ドイツ薬事博物館探訪⑮ 分銅」Elisabeth Huwer（中村典子訳）『大塚薬報』（626）22-24
- 「ドイツ薬事博物館探訪⑯ 秤」Elisabeth Huwer（中村典子訳）『大塚薬報』（627）26-28
- 「ドイツ薬事博物館探訪⑰ 乳鉢」Elisabeth Huwer（中村典子訳）『大塚薬報』（628）24-26
- 「ドイツ薬事博物館探訪⑱ 絵画とグラフィック」Elisabeth Huwer（中村典子訳）『大塚薬報』（629）18-20
- 「ドイツ薬事博物館探訪⑲ 本のコレクション」Elisabeth Huwer（中村典子訳）『大塚薬報』（630）20-22
- 「ドイツ薬事博物館探訪⑳終回 ハイデルベルク城とハイデルベルクの町 ドイツ薬事博物館でお会いしましょう！」Elisabeth Huwer（中村典子訳）『大塚薬報』（631）20-22
- 「治療薬シリーズ（19）抗細菌薬 マクロライド系抗菌薬を中心に」明石敏し『日本薬理学雑誌』130(4) 294-298
- 「寛政11年の蝦夷地採薬使と「蝦夷草木腊葉帖」（抄）」秋月俊幸『薬史学雑誌』42(2) 160
- 「西洋式化学と薬学の導入（抄）（英語）The introduction of Western-style chemistry and pharmacy」アネットI. ビールマン『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集（2007）』21, 63
- 「アミオダロンの原点」早川弘一『Progress in Medicine』27(Suppl. 1) 835-841
- 「アミノ酸系医薬品開発50年の変遷（抄）」荒井裕美子，榊原統子，松本和男『薬史学雑誌』42(2) 179
- 「【利尿薬の最新知識と使い方】利尿薬の今と昔」飯野靖彦，今井正，寺田典生『成人病と生活習慣病』37(8) 849-860
- 「抗血栓薬・抗動脈硬化薬の開発の歴史と将来展望 抗血小板薬の歴史と展望（抄）」池田康夫『日本血栓止血学会誌』18(5) 442
- 「抗血栓薬・抗動脈硬化薬の開発の歴史と将来展望 血液凝固因子の分子進化 フィブリノーゲンとフォンビレブラント因子を中心に（抄）」岩永貞昭『日本血栓止血学会誌』18(5) 444
- 「明治初期に作られた「牛病新書」に記載されている薬品に関する考察（抄）」白井一城，畠山有理『薬史学雑誌』42(2) 175
- 「『評価科学』提唱への道のりと近代化社会における役割について（抄）」内山充『薬史学雑誌』42(1) 3-4
- 「明治期における薬学発展の歴史」内海英雄『フェルマシア』43(10) 993-998
- 「抗血栓薬・抗動脈硬化薬の開発の歴史と将来展望 史上最大の新薬“スタチン”の発見と開発（抄）」遠藤章『日本血栓止血学会誌』18(5) 446
- 「舶来の珍奇生薬（抄）」遠藤次郎『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』25
- 「医薬品副作用被害の歴史 アンブル入りかぜ薬事件 安易な剤形がもたらした悲劇」遠藤浩良『調剤と情報』13(3) 344-345
- 「医薬品副作用被害の歴史 医薬品はそもそも生体異物！ 不特定薬物の非特異的副作用」遠藤浩良『調剤と情報』13(6) 734-735
- 「医薬品副作用被害の歴史 被害防止に患者からの直接報告を！」遠藤浩良『調剤と情報』13(11) 1384-1386
- 「『池田文書』の薬について（抄）」遠藤正治『日本医史学雑誌』53(3) 456-458

- 「ポンペの地学への関心—日本産出鉱物コレクションを中心に—(抄)」大沢眞澄, 塚原東吾, 財城真寿美『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』65
- 「続楽しい薬理学38 精神疾患治療薬の発見 (1) 炭酸リチウム」岡部進『薬局』58(1)125-130
- 「続楽しい薬理学39 精神疾患治療薬の発見 (2) クロロプロマジン」岡部進『薬局』58(2)310-314
- 「続楽しい薬理学40 精神疾患治療薬の発見 (3) ラウオルフィア・セルペンティナ」岡部進『薬局』58(3)499-503
- 「続楽しい薬理学41 抗炎症薬の発見 (1) コーチゾン」岡部進『薬局』58(5)1987-1991
- 「続楽しい薬理学42 精神疾患治療薬の発見 (4) 抗うつ薬の発見」岡部進『薬局』58(7)2334-2338
- 「続楽しい薬理学43 抗不安薬の発見 ベンゾジアゼピン誘導体」岡部進『薬局』58(8)2499-2503
- 「続楽しい薬理学44 酔い止め薬ジメンヒドリンナートの発見 北大西洋での治験」岡部進『薬局』58(9)2674-2678
- 「続楽しい薬理学45 エフェドリンの抗喘息効果の発見」岡部進『薬局』58(10)2837-2841
- 「続楽しい薬理学46 抗悪性貧血薬の発見 (1) ライラックの町から」岡部進『薬局』58(11)3028-3030
- 「続楽しい薬理学47 抗悪性貧血薬の発見 (2) キャッスルの内因子」岡部進『薬局』58(12)3187-3191
- 「続楽しい薬理学48 高山病に対するくすり」岡部進『薬局』58(13)3353-3356
- 「古典あれこれ ビタミン発見伝(その1) —(その2)」小川浩司『JOHNS』23(8-9)1184-1189, 1450-1456
- 「冬虫夏草(広義) 渡来の歴史と薬物としての受容(抄)」奥沢康正『日本医史学雑誌』53(1)178-179
- 「『明治・大正時代以来長い歴史を有する日本の病院薬剤部・薬剤師』に関するアンケート調査」奥田潤, 山川浩司『薬史学雑誌』42(1)65-83
- 「アプロチニン その歴史と未来」香取信之, 山田達也『臨床麻酔』31(5)821-831
- 「医薬の科学から見た日本の薬学(抄)」川瀬清『薬史学雑誌』42(2)187
- 「韓国の医療・医学・薬学年表(第1報) —(第2報)」金夫正, 金俊鎬, 奥田潤『薬史学雑誌』42(1)34-49, 50-64
- 「ピオグリタゾン(アクトス)の開発からエビデンス確立までの道のり」草場明宏『BIO Clinica』22(5)419-423
- 「降圧薬開発の裏話 Ca拮抗薬 そのとき歴史が動いた」桑島巖『血圧』14(2)221-225
- 「東京海道病院院内医薬品集の変遷(1987~2006)」五位野政彦, 大谷留美子, 金谷大介, 佐藤かをり, 堀川光明『薬史学雑誌』42(2)147-151
- 「緑内障治療点眼薬の開発史」小松喜子『薬史学雑誌』42(1)7-16
- 「抗血栓薬・抗動脈硬化薬の開発の歴史と将来展望 抗凝固薬の歴史と展望(抄)」齋藤英彦『日本血栓止血学会誌』18(5)443
- 「日本のドラッグストアの歴史に関する一考察—医薬品販売の変遷とドラッグストアの役割—(抄)」佐藤知樹, 串田一樹『薬史学雑誌』42(2)181
- 「『呉晋本草』における薬物への考察(抄)」塩原仁子『日本東洋医学雑誌』58(別冊)188
- 「『呉晋本草』に採録されている薬物(抄)」塩原仁子『薬史学雑誌』42(2)168
- 「天と地上を結ぶ香薬(香木, 芳草)」杉山茂『薬史学雑誌』42(2)122-130
- 「『幼幼新書』, 『三因方』, 『簡易方』等が引用する『和剂局方』の実像」鈴木達彦『薬史学雑誌』42(2)103-109
- 「『和剂局方』の各種版本の検討および江戸享保年間における『和剂局方』の編纂の意図」鈴木達彦『薬史学雑誌』42(2)91-96
- 「韓国の薬学史(抄)」沈昌求『薬史学雑誌』42(1)5-6
- 「薬効評価の三「た」論法再訪—EBMとbest case projectの時代を背景に—(抄)」津谷喜一郎『薬

- 史学雑誌』42(2)180
- 「抗精神病薬開発における clozapine 研究の意義」  
出村信隆『臨床精神薬理』10(11)2091-2106
- 「日本赤十字社と名古屋第二赤十字病院薬剤部の  
歴史」徳井健志，小林一信『薬史学雑誌』42(1)  
22-27
- 「薬学における教養科目の教育について」富田浩  
『薬事新報』(2454)13-14
- 「明治・大正の薬学教育の中の化学教育（抄）」富  
永義則『薬史学雑誌』42(2)186
- 「昔のくすりとの薬」豊田隆『しょうけん：浜  
松労災病院学術年報』2006,160-165
- 「抗菌薬開発の軌跡をたどる 連載開始にあたり」  
中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』23(11)  
2155-2158
- 「谷川士清とその処方集に見られる水銀製剤（抄）」  
西井易穂『日本医史学雑誌』53(1)158-159
- 「アルギン酸の発見 英国特許 No.142」西澤信  
『薬史学雑誌』42(2)163
- 「熊胆（くまのい）ものがたり シルクロードから  
まで（抄）」入戸野博『日本小児栄養消化器  
肝臓学会雑誌』21(2)94
- 「日本薬学会史年表（続）2001-2005年」日本薬  
史学会・日本薬学会史年表作成委員会『ファル  
マシア』43(1)87-97
- 「大坂薬種中買仲間と唐薬の江戸流通（抄）」羽生  
和子『日本医史学雑誌』53(1)82-83
- 「【妊娠と薬情報】妊娠と薬の歴史的背景」林昌洋  
『医薬ジャーナル』43(12)2871-2876
- 「【ペプチドと創薬】創薬 昨日，今日，明日」松尾  
壽之『遺伝子医学 MOOK』(8)23-28
- 「抗血栓薬・抗動脈硬化薬の開発の歴史と将来  
展望 ゲノム医学・創薬の現状と今後の展開  
（抄）」村松正明『日本血栓止血学会誌』18(5)  
445
- 「木クレオソート製剤の史的変遷」森口展明，佐  
藤茜，木村益雄，柴田高，米田幸雄『薬史学雜  
誌』42(2)110-118
- 「星一によるわが国初のキニーネ製造と輸出事業  
（抄）」山 朝江，三澤美和『薬史学雑誌』42(2)  
177
- 「何故，日本で修治が省略される傾向にあるのか  
（抄）」山下嘉昭『薬史学雑誌』42(2)172
- 「ポンペの薬学と化学（抄）（英語）Pompe's Phar-  
macy and Chemistry」芳本忠『西洋医学教育発  
祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集  
（2007）』49-50,89-90
- 「江戸時代の薬物教育（抄）」米田該典『薬史学雜  
誌』42(2)185
- 「緒方洪庵の薬箱の薬史学的研究（抄）」米田該典  
『薬史学雑誌』42(1)1-2
- 「生薬 根ほり葉ほり 甘草のこと（その2）」米  
田該典『伝統医学』10(3)134-135
- 「【リチウム薬理の多様性】リチウム製剤の歴史と  
展望」渡邊昌祐『脳21』10(1)49-55

## 58 蘭学史

- 「The Nederlandsch Stoomboot Maatschappij Fijenoord  
and its Dealings with Japan (1856-1867)（抄）」  
Alan Lemmers『平成19年度日本医史学会・日本  
薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』68-70
- 「大坂蘭学の実験的・実証的性格（抄）」浅井允晶  
『日本医史学雑誌』53(1)18-19
- 「オランダ海軍と日本への技術移転 1855-1861（抄）  
（英語）The Dutch Navy and the transfer of technol-  
ogy to Japan 1855-1861」アラン・A・レマース  
『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学  
史会議抄録集（2007）』36-39,78-79
- 「西洋科学と宗教と芸道一未生流花道伝書に見る  
洋学の影響一（抄）」井上治『平成19年度日本  
医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会  
抄録集』73
- 「阿蘭陀通詞中山氏と庄内藩医中山氏」片桐一男  
『鳴滝紀要』(17)53-72
- 「中村雄吉訳著の3部の検証「普語箋（上下）」「独  
逸文典直訳（カドリー著）」「英独和（語と会  
話）」（抄）」金谷利勝『平成19年度日本医史学  
会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録  
集』74
- 「整形外科と蘭学 大江春塘と中津バスタード辞  
書」川島真人『臨床整形外科』42(7)704-706
- 「整形外科と蘭学 福沢諭吉と蘭学」川島真人『臨

床整形外科』42(1)56-60

「大坂蘭学発祥の背景(抄)」小石秀夫『日本医史学雑誌』53(1)22-23

「大坂の蘭学 解剖を中心に(抄)」酒井シヅ『日本医史学雑誌』53(1)11-15

「海外交流と小城の洋学—小城鍋島文庫にみる—」佐賀大学地域学歴史文化研究センター, 1-139

「大坂の蘭学と適塾(抄)」芝哲夫『日本医史学雑誌』53(1)16-17

「上野彦馬のインテレクチュアルヒストリ 幕末長崎の啓蒙:サイエンスとアートの融合(抄)」姫野順一『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』44-45

「新出史料「蘭学問答」と「瘍医問答」・「和蘭医事問答」の初稿と第二稿」平野満『駿台史学』(130)

「「へボン膏」異聞・伝授された周辺」松村恂『埼玉史談』(53-4)

「口述筆記の医学書に見られるオノマトペー『蕉窓雑話』を中心に—(抄)」守山恵子『平成19年度日本医史学会・日本薬史学会・洋学史学会合同大会抄録集』52

## 59 リハビリテーション関係史

「摂食・嚥下障害医療の歴史と展望」小口和代, 才藤栄一『医療』61(2)83-85

「障害者スポーツの発展と現状」陶山哲夫『日本生活支援工学会誌』7(1)8-16

「【リハビリテーション医学2007 最近10年の動向とエビデンス】リハビリテーションを巡る動向 リハビリテーション医学を巡る10年間の動向」中村隆一『総合リハビリテーション』35(10)959-966

「【心疾患のリハビリテーション】歴史的展開」長山雅俊, 伊東春樹『総合リハビリテーション』35(1)7-14

「パーキンソン病の理解とリハビリテーション パーキンソン病の概要と歴史」野尻晋一, 山永裕明『地域リハビリテーション』2(1)42-46

「20年の歩みから介護老人保健施設の明日をみる リハビリテーションの視点から」堀尾慎彌『老

健:全国老人保健施設協会機関誌』17(11)30-31

## 60 検査

「結核菌検査の歴史」青木正和『日本医事新報』(4319)

「ビタミン研究のブレークスルーをもたらしたビタミン定量法 ビタミンB1の定量方法の歴史と定量方法の進歩(抄)」涓原博, 橋詰直孝『ビタミン』81(5-6)275-276

「【画像診断と妊婦管理】産科における超音波検査の変遷」竹内久彌『産婦人科治療』94(1)1-5

「不幸な子どもの生まれない運動」と羊水検査の歴史的受容過程「障害児」出生抑制政策(1960年代半ば—70年代初頭) 興隆の社会構造的要因」土屋敦『生命倫理』17(1)190-197

「【MR撮像法の原理と進化】磁気共鳴撮像法開発の歴史」村瀬研也『日独医報』52(3)336-343

## 61 その他

「オリンピックにおけるドーピングの歴史(第二部1970~1988)(英語)(A Historical Timeline of Doping in the Olympics (Part II 1970-1988))」Kremenik Michael, Onodera Sho, Nagao Mitsushiro, Yuzuki Osamu, Yonetani Shozo『Kawasaki Journal of Medical Welfare』12(2)69-83

「オリンピックにおけるドーピングの歴史(パートIII)1989-2006(英語)(A Historical Timeline of Doping in the Olympics (Part III 1989-2006))」Kremenik Michael, Onodera Sho, Nagao Mitsushiro, Yuzuki Osamu, Yonetani Shozo『Kawasaki Journal of Medical Welfare』13(1)1-20

「縄文人は健康であったか?:古代人の健康状態の推測(英語)(Were the Jomon People healthy or not? Speculation of total health condition of ancient people)」Fujita Hisashi『脂質栄養学』16(2)205-209

「【高齢者のための現代版湯治のすすめ】欧州の温泉保養地に学ぶ 欧州の温泉は、長い歴史と重厚な伝統文化を背景に、長期滞在する保養の場として存在」飯島裕一『GPnet』53(12)44-53

「生老死の中の民俗語彙」板橋晴夫『日本歴史』



- (704) 122-123  
 「近代医学とは何か，ガンはなぜ増えるのか ユダヤ戦略と日本人の健康（抄）」宇野正美『日本歯科東洋医学会学術大会』25回，16  
 「【看護に活かすQOLの視点】QOL研究概論QOL研究の歩みと展望 QOL研究会の歩みから」萬代隆『臨床看護』33(12)1683-1691  
 「近世日本へのイエズス会系宇宙論の伝播と流布（抄）（英語）The transmission and diffusion of Jesuit cosmology in early modern Japan」平岡隆二『西洋医学教育発祥150年記念国際医学史科学史会議抄録集（2007）』24, 66
- 62 中国語文献**
- 「兩種錯誤的中国医学史観一評“中医超科学論”和“中医偽科学論”」王振瑞・李経緯『中華医史雜誌』37(1)3-9  
 「民国時期圍繞中医存廢問題的論戰」郝先中『中華医史雜誌』37(1)10-14  
 「我国歴代術属薬材商品沿革與分化」彭華勝・王德群『中華医史雜誌』37(1)15-18  
 「炮炙“火候”考略」王家葵・陳楚明・吳純潔『中華医史雜誌』37(1)19-22  
 「狂犬病の中医認識嬗変」李永宸・彭勝権『中華医史雜誌』37(1)23-26  
 「腸梗阻治療の歴史回溯」呂雲福・李新秋・張欣欣『中華医史雜誌』37(1)27-29  
 「敦煌医薬卷子 P. 2882 V校補」范崇峰『中華医史雜誌』37(1)30-33  
 「陳自明『外科精要』版本考略」顧漫『中華医史雜誌』37(1)34-37  
 「“中医巫術論”謬在何処」李啓咏『中華医史雜誌』37(1)38-43  
 「博濟医院第一位女医生—賴瑪西」王芳・胡曉文『中華医史雜誌』37(1)44-50  
 「閩西蛟洋紅軍醫院の成立及其演變」高恩顯『中華医史雜誌』37(1)51-52  
 「1949年前中医及相關期刊種類初探」王咪咪『中華医史雜誌』37(1)53-55  
 「談新安医学文化特徵」朱長剛『中華医史雜誌』37(1)56-59  
 「20世紀50年代初廢止中医思想的回潮」知擘『中華医史雜誌』37(1)60  
 「当帰補血湯功效質疑」于大猛『中華医史雜誌』37(1)61  
 「金針撥障術の最早記載」譽為『中華医史雜誌』37(1)26  
 「中美早期檀香貿易」伊広謙『中華医史雜誌』37(1)50  
 「中国中医科学院張志斌研究員赴葛尼黑進行學術訪問」山爾『中華医史雜誌』37(1)9  
 「日本小曾戸洋教授来北京進行學術交流」梁永宣『中華医史雜誌』37(1)14  
 「北京大学張大慶教授學術報告会紀要」陳琦『中華医史雜誌』37(1)62  
 「北京中医薬大学梁永宣博士報告会紀要」李成偉『中華医史雜誌』37(1)63  
 「晉唐時期臟腑辨証学說的發展特点」楊雪梅・李巧芬・李德杏等『中華医史雜誌』37(2)67-70  
 「20世紀60年代前台湾中医發展簡史」陳光偉・周珮琪・林昭庚『中華医史雜誌』37(2)71-75  
 「『痧脹玉衡』痧症辨証論治研究」楊金生・趙美麗・王莹莹等『中華医史雜誌』37(2)76-79  
 「論陳実功在中医外科史上的貢獻」張大萍『中華医史雜誌』37(2)80-83  
 「北平婦嬰保健会的節育宣伝和指導工作」殷雪芬『中華医史雜誌』37(2)84-87  
 「論20世紀内蒙古伝統蒙医学的發展」財吉拉胡『中華医史雜誌』37(2)88-93  
 「薩瑟藍第二信使假說的科学貢獻」郭曉強『中華医史雜誌』37(2)94-97  
 「台北故宮館藏趙開美本『仲景全書』護頁題記者考」游文仁・蘇奕彰『中華医史雜誌』37(2)98-103  
 「『千金翼方』作者質疑」高曉山『中華医史雜誌』37(2)104-107  
 「張仲景“官至長沙太守”考」周貽謀『中華医史雜誌』37(2)108-111  
 「張仲景紀念與研究年表」郝恩恩・劉世恩『中華医史雜誌』37(2)112-115  
 「20世紀中華医学会対外交往概況」李曉芸・王永明・張聖芬『中華医史雜誌』37(2)116-120

- 「佛教養生特点初探」李金菊『中華医史雜誌』37 (2) 121-124
- 「外科縫合器的發展歷程」盧毅卓·陳芙蓉『中華医史雜誌』37 (2) 125
- 「20年前出土的腎臟解剖圖鋅質印版訪查記」姜生『中華医史雜誌』37 (2) 126-128
- 「肝豆狀核變性研究簡史」郝清華『中華医史雜誌』37 (2) 115
- 「人工腎之父」金秀芬·王敏『中華医史雜誌』37 (2) 124
- 「中華医学会 2007 全年學術會議信息發布」中華医学会學術會務部『中華医史雜誌』37 (2) 70
- 「第三屆世界中西醫結合大會將于 2007 年 9 月召開」山爾『中華医史雜誌』37 (2) 75
- 「朱建平研究員赴日學術訪問」白茅『中華医史雜誌』37 (2) 83
- 「医史寶鑒—紀念『中華医史雜誌』創刊 60 周年感奮」李經緯『中華医史雜誌』37 (3) 131
- 「中国医学史的未来：一元還是多元？(摘要)」席文『中華医史雜誌』37 (3) 132
- 「赤芍白芍劃分的本草學源流」彭華勝·王德群『中華医史雜誌』37 (3) 133-136
- 「張景岳太極三說之關係」姚春鵬『中華医史雜誌』37 (3) 137-141
- 「劉素消渴論著考辨」楊仕哲·張賢哲『中華医史雜誌』37 (3) 142-145
- 「清末廣東善堂的醫療救濟活動」賴文·李永宸『中華医史雜誌』37 (3) 146-151
- 「論廣西新桂系時期的公辦中醫教育」張璐礫·戴銘『中華医史雜誌』37 (3) 152-156
- 「心臟電除顫發展史」何慶·万智『中華医史雜誌』37 (3) 161-164
- 「本草三書小考」張燦理『中華医史雜誌』37 (3) 165-167
- 「伍連德于民國時期全國海港檢疫處的防疫工作」張曉麗『中華医史雜誌』37 (3) 168-171
- 「伍連德防治東北鼠疫的貢獻及其軼事」李培京『中華医史雜誌』37 (3) 172-173
- 「我與医史 60 年」程之范『中華医史雜誌』37 (3) 174-179
- 「学会復會與雜誌復刊之回憶」李經緯『中華医史雜誌』37 (3) 180
- 「廣州私立博濟醫院高級護士職業學校概述」周英『中華医史雜誌』37 (3) 181-184
- 「南丁格爾獎章及其中国獲得者」余鳳英『中華医史雜誌』37 (3) 185-188
- 「新中国 50 年北京地区中醫藥期刊出版概述」鄭蓉『中華医史雜誌』37 (3) 189-190
- 「孔子之衛生觀」王吉民著·王揚譯『中華医史雜誌』37 (3) 191-192
- 「世界針灸聯合會成立 20 周年暨世界針灸學術大會將于 2007 年 10 月召開」寧遠『中華医史雜誌』37 (3) 136
- 「中華中醫藥学会第 10 屆医史文獻學術研討會將于 2007 年 8 月召開」劉玉瑋『中華医史雜誌』37 (3) 141
- 「国家非物質文化遺產保護專題展—中国傳統醫藥保護開幕」寧遠『中華医史雜誌』37 (3) 145
- 「馬伯英教授學術報告會在中国医史文獻研究所舉行」李林『中華医史雜誌』37 (3) 156
- 「中国医学史的未来：一元還是多元？」席文著，甄艷譯『中華医史雜誌』37 (4) 195-199
- 「歷代名醫從医動因分析」姚海燕『中華医史雜誌』37 (4) 200-203
- 「古代脯肉與張家山漢簡『二年律令』有関毒脯肉的規定」劉向明『中華医史雜誌』37 (4) 204-206
- 「張介賓医易思想探析」張其成『中華医史雜誌』37 (4) 207-211
- 「中医對中風病証認識和治療的演變」竇志芳·郭蕾·張俊龍等『中華医史雜誌』37 (4) 212-214
- 「民国時期法定傳染病病種考析」張泰山『中華医史雜誌』37 (4) 215-217
- 「中国現代中醫藥法規建設述略」李哲·魯兆麟『中華医史雜誌』37 (4) 218-221
- 「北美第一所医学院費城医学院的創建」張艷榮·李志平『中華医史雜誌』37 (4) 226-229
- 「『溫熱論』伝本及相關問題研究」張志斌『中華医史雜誌』37 (4) 230-233
- 「許勉煥『統名醫類案』及其文獻價值」牛亞華·程英·張偉娜『中華医史雜誌』37 (4) 234-237
- 「『宋以前醫籍考』的編纂與伝承」紀征瀚『中華医史雜誌』37 (4) 238-243

- 「顔福慶與中華医学会」張聖芬『中華医史雜誌』37(4)244-247
- 「日本出土刻有“西州統命湯”の木簡」梁永宣『中華医史雜誌』37(4)203
- 「『周禮』飲食寒温理論初探」陳曉迪『中華医史雜誌』37(4)248-250
- 「淺議『皇漢医学』」董昱佑『中華医史雜誌』37(4)251-253
- 「『銀海精微補』内容提要」孟慶雲『中華医史雜誌』37(4)229
- 「対太邑友文堂版『傳青主女科』刊刻年代的質疑」沈華・趙懷舟・王小芸等『中華医史雜誌』37(4)243
- 「眼科手術放大鏡和顯微鏡」劉都紅・耿曉玲・李創光『中華医史雜誌』37(4)225
- 「中華中医藥学会第十屆中医医史文献學術研討會紀要」王磊・劉雅芳『中華医史雜誌』37(4)254

### 63 韓國語文獻

- 「素問評熱病論의 “邪之所湊，其氣必虛”의 解釋法에 對한 研究」方正均『韓國醫史學會誌』20(1)3-6
- 「王好古의 藥物 및 傷寒理論에 對한 研究」趙炳日・金容辰『韓國醫史學會誌』20(1)7-12
- 「治腫臃에 對한 의사학적 고찰」徐芝妍・金南一・安相佑『韓國醫史學會誌』20(1)13-21
- 「醫方類聚에 인용된 理傷續斷方의 서지연구」金泳坤・安相佑・金南一『韓國醫史學會誌』20(1)22-29
- 「『醫方類聚』에 인용된 『保童秘要』의 本草 고찰을 통해 본 朝鮮 前期 小兒醫學」李佳泯・安相佑『韓國醫史學會誌』20(1)30-40
- 「조선통신사 사행원과 기록 연구—18세기 사행록과 의학문답 기록을 중심으로—」咸長植・車雄碩・俞垣濬・金南一『韓國醫史學會誌』20(1)41-61
- 「王泰林의 肝病論治에 對한 研究」殷哲玟『韓國醫史學會誌』20(1)62-67
- 「金斗鍾의 上世醫學史 批判」朴成圭・金南一『韓國醫史學會誌』20(1)68-82
- 「推拿醫學에 關한 醫史學的 考察」林晉江・金南

- 一・安相佑『韓國醫史學會誌』20(1)83-87
- 「婦人科疾患의 外治療法에 關한 연구 (2) —産時病과 産後病을 중심으로—」許敬子・金恩瑕・李丙旭『韓國醫史學會誌』20(1)88-95
- 「傳統茶藥處方의 복원을 위한 문헌조사」金鐘旻・金南一『韓國醫史學會誌』20(1)96-111
- 「陳士鐸의 《脈訣闡微》에 關한 研究」鄭東赫・朴昃南・孟雄在『韓國醫史學會誌』20(1)112-138
- 「徐靈胎의 《醫學源流論》에 나타난 醫學思想에 對한 考察」金康・朴昃南・孟雄在『韓國醫史學會誌』20(1)139-164
- 「28宿에 對한 考察—《內經》과 《類經》을 中心으로—」朴映奐・朴昃南・孟雄在『韓國醫史學會誌』20(1)165-205
- 「黃帝內經에서의 몸과 健康에 對한 研究」吳在根・金容辰『韓國醫史學會誌』20(2)3-17
- 「불교의학의 약물과 『千金要方』에서의 사용례」金範俊・安相佑・金南一『韓國醫史學會誌』20(2)18-33
- 「任彦國의 의론이 후대에 미친 영향—『治腫秘方』과 『醫林撮要』 『東醫寶鑑』 『田園必考』 『鍼灸經驗方』 『宜彙』 『治瘡方』 『鍼灸集成』을 중심으로—」徐芝妍・金南一『韓國醫史學會誌』20(2)34-41
- 「韓國에서의 儒醫들의 活動—醫書의 編纂, 治療活動을 中心으로—」金南一『韓國醫史學會誌』20(2)42-49
- 「16~17세기 朝鮮 儒學者들의 人體에 對한 理解—東醫寶鑑의 受容과 性理學적 變容—」金聖洙『韓國醫史學會』20(2)50-64
- 「의학인물 연구에 있어서 족보의 필요성」李善我『韓國醫史學會誌』20(2)65-69
- 「壽世玄書의 인용문헌 연구」李善英・金南一・車雄碩『韓國醫史學會誌』20(2)70-80
- 「針과 刀를 이용한 수술법에 對한 문헌 조사—외과 전문서적을 중심으로—」方聖惠・車雄碩・金南一『韓國醫史學會誌』20(2)81-86
- 「形象醫學의 定義와 特徵에 對한 考察」朴駿奎・金南一『韓國醫史學會誌』20(2)87-92
- 「伏氣病에 對한 小考」방정균『韓國醫史學會誌』20(2)93-97

- 「中韩对体质问题的研究比较」王琦·李英帅·马晓峰『韓國醫史學會誌』20(2)98-103
- 「朝医辨象(辨体质, 辨病)与辨证相结合诊疗」崔正植·崔兴燮『韓國醫史學會誌』20(2)104-110
- 「한국 전통추나의학에 대한 의과학적 고찰」林晉江·金南一『韓國醫史學會誌』20(2)111-115
- 「吉益東洞의 觀點에서 본 附子의 逐水作用에 대한 考察」夫 SiWon·朴旻南·孟雄在『韓國醫史學會誌』20(2)116-132
- 「衝逆에 대한 考察—吉益東洞의 《藥微》을 중심으로—」李文根·朴旻南·孟雄在『韓國醫史學會誌』20(2)133-148
- 「明代 王圻의 《三才圖會》臟腑圖에 대한 考察」李明哲·朴旻南·孟雄在『韓國醫史學會誌』20(2)149-168
- 「《方藥合編》中〈活套鍼線〉에 관한 板本學的 考察」吳秉建·朴旻南·孟雄在『韓國醫史學會誌』20(2)169-236
- 「吳又可“溫疫學說”의 病因觀 분석」殷哲玟『韓國醫史學會誌』20(2)237-247
- 「试论《医方类聚》的编纂特点」盛增秀『韓國醫史學會誌』20(2)248-251
- 「中韩日朝传统医学交流中的丰硕成果—写在“《医方类聚》及中韩传统医学文献研究研讨会”即将召开之际—」盛增秀『韓國醫史學會誌』20(2)252-255
- 「上海韩人社会与医学, 健康」孙科志『韓國醫史學會誌』20(2)256-258
- 「精诚习业 乃为大医—从《医方类聚》看一脉相承的中医医德观—」施仁潮『韓國醫史學會誌』20(2)259-261
- 「朝鮮《医林撮要》及其所载中朝医学交流史料的研究」梁永宣『韓國醫史學會誌』20(2)262-267
- 「《医林撮要》的出版前言」梁永宣『韓國醫史學會誌』20(2)268-270
- 「《医方类聚》对中医方剂学的贡献」王英·江凌圳『韓國醫史學會誌』20(2)271-274
- 「略述《乡药集成方》价值与特色」李志庸·曹云『韓國醫史學會誌』20(2)275-277
- 「《东医宝鉴》方剂学内容的初步研究」朱建平『韓國醫史學會誌』20(2)278-303
- 「试论《医方类聚》采辑养生文献的特色和价值」竹剑平『韓國醫史學會誌』20(2)304-307
- 「论“药性归象证”」崔正植『韓國醫史學會誌』20(2)308-313
- 「산청지역의 전통의학 문헌」安相佑『韓國醫史學會誌』21(1)1-12
- 「한국, 동아시아 문화권에서의 ‘건강’ 개념 수용」吳在根·金容辰『韓國醫史學會誌』21(1)13-28
- 「서구의 비지배적 의학이한의학의 전략 선택에 주는 시사점—영미의 정골요법과 카이로프랙틱의 전문직화 전략을 중심으로—」權五敏·安相佑『韓國醫史學會誌』21(1)29-36
- 「否’卦의 활용을 중심으로 본『醫林撮要』속의 易學思想—『醫學正傳』과의 비교를 중심으로—」金憲·金南一『韓國醫史學會誌』21(1)37-46
- 「朝鮮前期의 ‘專門醫女’에 관한 연구—成宗代의 醫女 長德과 貴今을 중심으로—」李敏鎬·安相佑『韓國醫史學會誌』21(1)47-52
- 「『治腫指南』의 여러 판본을 통해 살펴본傳存 경위 연구」朴相映·安相佑『韓國醫史學會誌』21(1)53-58
- 「제호탕(醍醐湯)의 현대적 재현」池明順·田園瓊·高柄燮·安相佑·尹煥烈『韓國醫史學會誌』21(1)59-70
- 「朝鮮時代 小兒驚風에 사용된 약재의 변화」李佳·安相佑『韓國醫史學會誌』21(1)71-76
- 「傳統 傷科學에 대한 小考」殷哲玟『韓國醫史學會誌』21(1)77-82
- 「濟衆新編의 인용방식에 대한 연구」池昶榮『韓國醫史學會誌』21(1)83-88
- 「韓國『黃帝內經』研究 略史」姜延錫·金南一『韓國醫史學會誌』21(1)89-96
- 「《东医宝鉴》方剂引文与《千金方》原文的比较分析」姜赫俊『韓國醫史學會誌』21(1)97-108
- 「콩잎에 대한 문헌적 고찰」李善我·朴相映·安相佑『韓國醫史學會誌』21(1)109-115
- 「承政院日記의 진로기록 연구」洪世玲·車雄碩·金南一『韓國醫史學會誌』21(2)1-12
- 「韓醫學의 人間觀—『東醫寶鑑』을 중심으로—」朴成圭·車雄碩·金南一『韓國醫史學會誌』21

(2) 13-28

「濟衆立效方に 관한 의사학적 고찰—交效散을 중심으로—」李德浩·金洪均·安相佑 『韓國醫史學會誌』 21 (2) 29-40

「인터넷상 동의보감 방제의 약물구성 계보 표현 방법에 관한 연구」李丙旭·鄭勳·權寧奎 『韓國醫史學會誌』 21 (2) 41-48

「湯火傷 醫案 연구」方聖惠·金洪均·金南一 『韓國醫史學會誌』 21 (2) 49-60

「关于近代韩国韩医学的发展及其教育的研究」金容辰 『韓國醫史學會誌』 21 (2) 61-66

「의사학적으로 살펴본 『救急方』」鄭順德·金南一·車雄碩 『韓國醫史學會誌』 21 (2) 67-78

「鄉藥救急方の 口舌脣齒 질환에 관한 고찰」鄭裕壅·金洪均 『韓國醫史學會誌』 21 (2) 79-94

「消渴病 機轉에 관한 이론의 변천」趙善榮·兪垣濬·姜延錫 『韓國醫史學會誌』 21 (2) 95-114

「麻疹會通, 「吾見篇」에 대한 諸問題」徐奉德·安相佑·金南一 『韓國醫史學會誌』 21 (2) 115-122

「조선시대 經絡圖에 관한 고찰」韓奉材·安相佑·金南一 『韓國醫史學會誌』 21 (2) 123-134

「제중신편과 동의보감의 비교 연구」池昶榮 『韓國醫史學會誌』 21 (2) 135-148

「醫學史的 맥락에서 바라본 玄谷 尹吉榮의 학술사상—논문과 저술을 중심으로—」金南一·姜延錫 『韓國醫史學會誌』 21 (2) 149-158

64 歐文文献

ANDERSON, Warwick: Immunization and Hygiene in the Colonial Philippines: *Hist. Med. Allied Sci.*: 62 (1) 1-20

BERRIDGE, Virginia: Medicine and the Public: The 1962 Report of the Royal College of Physicians and the New Public Health: *Bull. Hist. Med.*: 81 (1) 286-311

BIVINS, Roberta: “The English Disease” or “Asian Rickets”? Medical Responses to Postcolonial Immigration: *Bull. Hist. Med.*: 81 (3) 533-568

BOWERS, Kristy Wilson: Balancing Individual and Communal Needs: Plague and Public Health in

Early Modern Seville: *Bull. Hist. Med.*: 81 (2) 335-358

BRIMNES, Niels: Vikings against Tuberculosis: The International Tuberculosis Campaign in India, 1948-1951: *Bull. Hist. Med.*: 81 (2) 407-430

CALLISTER, Sandy: ‘Broken Gargoyles’: The Photographic Representation of Severely Wounded New Zealand Soldiers: *Soc. Hist. Med.*: 20 (1) 111-130

CANTOR, David: Introduction: Cancer Control and Prevention in the Twentieth Century: *Bull. Hist. Med.*: 81 (1) 1-38

CANTOR, David: Uncertain Enthusiasm: The American Cancer Society, Public Education, and the Problem of the Movie, 1921-1960: *Bull. Hist. Med.*: 81 (1) 39-69

CHESTER, G./DALE, P.: Institutional Care for the Mentally Defective, 1914-1948: Diversity as a Response to Individual Needs and an Indication of Lack of Policy Coherence: *Medical History*: 51 (1) 59-78

CONDRAU, Flurin: The Patient’s View Meets the Clinical Gaze: *Soc. Hist. Med.*: 20 (3) 525-540

COOPER, Tim: Richard Baxter and his Physicians: *Soc. Hist. Med.*: 20 (1) 1-19

COOTER, Roger: After Death/After-‘Life’: The Social History of Medicine in Post-Postmodernity: *Soc. Hist. Med.*: 20 (3) 441-464

CORTAS, C. S./TALLEY, C. L.: “Appropriate Remedial Action?” Medical Students, Medical Schools, and Smoking and Health Education in New York and the United States, 1964-87: *Hist. Med. Allied Sci.*: 62 (3) 316-335

DARBY, Robert: The Benefits of Psychological Surgery: John Scoffern’s Satire on Isaac Baker Brown: *Medical History*: 51 (4) 527-544

DE BARROS, Juanita: Dispensers, Obeah and Quackery: Medical Rivalries in Post-Slavery British Guiana: *Soc. Hist. Med.*: 20 (2) 243-261

DE BROUWERE, Vincent: The Comparative Study of Maternal Mortality over Time: The Role of the Professionalisation of Childbirth: *Soc. Hist. Med.*:

- 20 (3) 541–562
- DIGBY, Anne: Medicine, Race and the General Good: The Career of Thomas N. G. Te Water (1857–1926), South African Doctor and Medical Politician: *Medical History*: 51 (1) 37–58
- DOROSHOW, Deborah Blythe: Performing a Cure for Schizophrenia: Insulin Coma Therapy on the Wards: *Hist. Med. Allied Sci.*: 62 (2) 213–243
- DOYLE, Barry M.: Competition and Cooperation in Hospital Provision in Middlesbrough, 1918–1948: *Medical History*: 51 (3) 337–356
- DUFFIN, Jacalyn: The Doctor as Surprised; or, How to Diagnose a Miracle: *Bull. Hist. Med.*: 81 (4) 699–729
- ERASO, Yolanda: Biotypology, Endocrinology, and Sterilization: The Practice of Eugenics in the Treatment of Argentinian Women during the 1930s: *Bull. Hist. Med.*: 81 (4) 793–822
- ERNST, Waltraud: Beyond East and West. From the History of Colonial Medicine to a Social History of Medicine(s) in South Asia: *Soc. Hist. Med.*: 20 (3) 505–524
- GALLOIS, William: Local Responses to French Medical Imperialism in Late Nineteenth-Century Algeria: *Soc. Hist. Med.*: 20 (2) 315–331
- GEDDES, Jennian F.: Deeds and Words in the Suffrage Military Hospital in Endell Street: *Medical History*: 51 (1) 79–98
- GROB, Gerald N.: The Rise and Decline of Tonsillectomy in Twentieth-Century America: *Hist. Med. Allied Sci.*: 62 (4) 383–421
- HANLEY, James G.: Public Health, London's Levels, and the Politics of Taxation, 1840–1860: *Soc. Hist. Med.*: 20 (1) 21–38
- HARKNESS, Jon M.: The U.S. Public Health Service and Smoking in the 1950s: The Tale of Two More Statements: *Hist. Med. Allied Sci.*: 62 (2) 171–212
- HAYE, Thomas: Die Astronomie des Hyginus als Objekt hochmittelalterlicher Lehrdichtung: *Sudhoffs Archiv*: 91 (1) 99–117
- HOPWOOD, Nick: Artist versus Anatomist, Models against Dissection: Paul Zeiller of Munich and the Revolution of 1848: *Medical History*: 51 (3) 279–308
- HORWITZ, Simonne: 'Black Nurses in White': Exploring Young Women's Entry into the Nursing Profession at Baragwanath Hospital, Soweto, 1948–1980: *Soc. Hist. Med.*: 20 (1) 131–146
- HULL, Andrew J.: Teamwork, Clinical Research, and the Development of Scientific Medicines in Interwar Britain: The "Glasgow School" Revisited: *Bull. Hist. Med.*: 81 (3) 569–593
- JONES, E./RAHMAN, S./WOOLVEN, R.: The Maudsley Hospital: Design and Strategic Direction, 1923–1939: *Medical History*: 51 (3) 357–378
- KAMPF, Antje: "This Racial Menace"?: Public Health, Venereal Disease and Maori in New Zealand, 1930–1947: *Medical History*: 51 (4) 435–452
- KARENBERG, Axel: Chopin's Misery and Musicians' medical Biography: *Sudhoffs Archiv*: 91 (1) 82–98
- KEATING, P./CAMBROSIO, A.: Cancer Clinical Trials: The Emergence and Development of a New Style of Practice: *Bull. Hist. Med.*: 81 (1) 197–223
- KELLER, Richard C.: Clinician and Revolutionary: Frantz Fanon, Biography, and the History of Colonial Medicine: *Bull. Hist. Med.*: 81 (4) 823–841
- KENNY, Stephen C.: 'I can do the child no good': Dr Sims and the Enslaved Infants of Montgomery, Alabama: *Soc. Hist. Med.*: 20 (2) 223–241
- KNIGHT, H./HUNTER, M.: Robert Boyle's Memoirs for the Natural History of Human Blood (1684): Print, Manuscript and the Impact of Baconianism in Seventeenth-Century Medical Science: *Medical History*: 51 (2) 145–164
- KRUEGER, Gretchen: "For Jimmy and the Boys and Girls of America": Publicizing Childhood Cancers in Twentieth-Century America: *Bull. Hist. Med.*: 81 (1) 70–93
- KURZER, Frederick: George S. V. Wills and the Westminster College of Chemistry and Pharmacy: A Chapter in Pharmaceutical Education in Great Britain: *Medical History*: 51 (4) 477–506
- LAWRENCE, Susan C.: Access Anxiety: HIPAA and

- Historical Research: *Hist. Med. Allied Sci.*: 62 (4) 422–460
- LEDERER, Susan E.: *Darl Victory: Cancer and Popular Hollywood Film*: *Bull. Hist. Med.*: 81 (1) 94–115
- LERNER, Barron H.: *Ill Patient, Public Activist: Rose Kushner’s Attack on Breast Cancer Chemotherapy*: *Bull. Hist. Med.*: 81 (1) 224–240
- LERNER, Barron H.: *Crafting Medical History: Revisiting the “Definitive” Account of Franklin D. Roosevelt’s Terminal Illness*: *Bull. Hist. Med.*: 81 (2) 386–406
- LEV, E./AMAR, Z.: *Practice versus Theory: Medieval Materia Medica according to the Cairo Genizah*: *Medical History*: 51 (4) 507–526
- LIE, Anne Kveim: *Origin Stories and Norwegian Radesyge*: *Soc. Hist. Med.*: 20 (3) 563–579
- LINKER, Beth: *Feet for Fighting: Locating Disability and Social Medicine in First World War America*: *Soc. Hist. Med.*: 20 (1) 91–109
- LOWY, Hana: *The Social History of Medicine: Beyond the Local*: *Soc. Hist. Med.*: 20 (3) 465–481
- LOWY, Ilana: *Breast Cancer and the “Materiality of Risk”: The Rise of Morphological Prediction*: *Bull. Hist. Med.*: 81 (1) 241–266
- MACDONALD, Helen: *A Scandalous Act: Regulating Anatomy in a British Settler Colony, Tasmania 1869*: *Soc. Hist. Med.*: 20 (1) 39–56
- MACDOUGALL, Heather: *Toronto’s Health Department in Action: Influenza in 1918 and SARS in 2003*: *Hist. Med. Allied Sci.*: 62 (1) 56–89
- MAYES, Rick: *The Origins, Development, and Passage of Medicare’s Revolutionary Prospective Payment System*: *Hist. Med. Allied Sci.*: 62 (1) 21–55
- MCVAUGH, Michael: *Richard Wiseman and the Medical Practitioners of Restoration London*: *Hist. Med. Allied Sci.*: 62 (2) 125–140
- MELI, Domenico B.: *Mechanistic Pathology and Therapy in the Medical Assayer of Marcello Malpighi*: *Medical History*: 51 (2) 165–180
- MOSCUCCI, Ornella: *The “Ineffable Freemasonry of Sex”: Feminist Surgeons and the Establishment of Radiotherapy in Early Twentieth Century Britain*: *Bull. Hist. Med.*: 81 (1) 139–163
- NECOCHEA, Raul: *From Cancer Families to HNPCC: Henry Lynch and the Transformations of Hereditary Cancer, 1975–1999*: *Bull. Hist. Med.*: 81 (1) 267–285
- NELSON, Jennifer: *Healthcare Reconsidered: Forging Community Wellness among African Americans in the South*: *Bull. Hist. Med.*: 81 (3) 594–624
- NORMANDIN, Sebastian: *Claude Bernard and An Introduction to the Study of Experimental Medicine: “Physical Vitalism,” Dialectic, and Epistemology*: *Hist. Med. Allied Sci.*: 62 (4) 495–528
- NOTTINGHAM, C./DOUGALL, R.: *A Close and Practical Association with the Medical Profession: Scottish Medical Social Workers and Social Medicine, 1940–1975*: *Medical History*: 51 (3) 309–336
- NUTTALL, Alison: *Because of Poverty brought into Hospital: ...’ A Casenote — Based Analysis of the Changing Role of the Edinburgh Royal Maternity Hospital, 1850–1912*: *Soc. Hist. Med.*: 20 (2) 263–280
- PARASCANDOLA, John: *Physiology, Propaganda, and Pound Animals: Medical Research and Animal Welfare in Mid-Twentieth Century America*: *Hist. Med. Allied Sci.*: 62 (3) 277–315
- PHILLIPS, Laura L.: *Gendered Dis/ability: Perspectives from the Treatment of Psychiatric Casualties in Russia’s Early Twentieth-Century Wars*: *Soc. Hist. Med.*: 20 (2) 333–350
- PICKSTONE, John V.: *Contested Cumulations: Configurations of Cancer Treatments through the Twentieth Century*: *Bull. Hist. Med.*: 81 (1) 164–196
- RICHARDSON, Nigel: *The Uppingham Typhoid Outbreaks of 1875–1877: A Rural Case — Study in Public Health Reform*: *Soc. Hist. Med.*: 20 (2) 281–296
- ROOS, Anna M.: *Johann Heinrich Cohausen (1665–1750), Salt Iatrochemistry, and Theories of Longevity in his Satire, Hermippus Redivivus (1742)*: *Medical History*: 51 (2) 181–200
- ROSENBERG, Charles E.: *Erwin H. Ackerknecht, Social Medicine, and the History of Medicine*: *Bull.*

- Hist. Med.: 81 (3) 511–532
- SCHLUMBOHM, Jürgen: The Practice of Practical Education: Male Students and Female Apprentices in the Lying – in Hospital of Göttingen University, 1792–1815: *Medical History*: 51 (1) 3–36
- SCHMIDT, Joseph M.: Die Entstehung, Verbreitung und Entwicklung von Heilsystemen als Gegenstand der Medizingeschichte — am Beispiel der Homöopathie: *Sudhoffs Archiv*: 91 (1) 38–72
- SIMON, Jonathan: Emil Behring's Medical Culture: From Disinfection to Serotherapy: *Medical History*: 51 (2) 201–218
- SMITH, Catherine: Parsimony, Power, and Prescriptive Legislation: The Politics of Pauper Lunacy in Northamptonshire, 1845–1876: *Bull. Hist. Med.*: 81 (2) 359–385
- SNELDERS, S./MEIJMAN, F. J./PIETERS, T.: Heredity and Alcoholism in the Medical Sphere: The Netherlands, 1850–1900: *Medical History*: 51 (2) 219–236
- STEGER, Florian: Patientengeschichte-eine Perspektive für Quellen der Antiken Medizin? Überlegungen zu den Kranken-geschichten der Epidemiebücher des Corpus Hippocraticum: *Sudhoffs Archiv*: 91 (2) 230–238
- STOLBERG, Michael: Active Euthanasia in Pre-Modern Society, 1500–1800: Learned Debates and Popular Practices: *Soc. Hist. Med.*: 20 (2) 205–221
- STURDY, Steve: Scientific Method for Medical Practitioners: The Case Method of Teaching Pathology in Early Twentieth-Century Edinburgh: *Bull. Hist. Med.*: 81 (4) 760–792
- TAYLOR, G. S./NICOLSON, M.: The Emergence of Orthodontics as a Specialty in Britain: The Role of the British Society for the Study of Orthodontics: *Medical History*: 51 (3) 379–398
- TEIGEN, Philip M.: Legislating Fear and the Public Health in Gilded Age Massachusetts: *Hist. Med. Allied Sci.*: 62 (2) 141–170
- THALASSIS, Nafsika: Soldiers in Psychiatric Therapy: The Case of Northfield Military Hospital 1942–1946: *Soc. Hist. Med.*: 20 (2) 351–368
- TIMMERMANN, Carsten: As Depressing As It Was Predictable? Lung Cancer, Clinical Trials, and the Medical Research Council in Postwar Britain: *Bull. Hist. Med.*: 81 (1) 312–334
- TOON, Elizabeth: “Cancer as the General Population Knows It”: Knowledge, Fear, and Lay Education in 1950s Britain: *Bull. Hist. Med.*: 81 (1) 115–138
- UNSCHULD, Paul U.: Ein Recht auf Gesundheit? Medizin-theoretische Erörterungen im Kulturvergleich Europa-China: *Sudhoffs Archiv*: 91 (2) 217–229
- VALLGARDA, Signild: Problematizations and Path Dependency: HIV/AIDS Policies in Denmark and Sweden: *Medical History*: 51 (1) 99–112
- VON ZERSSEN, Detlev: Ein halbes Jahrhundert erlebter Psychiatriegeschichte: *Sudhoffs Archiv*: 91 (2) 174–189
- WAKE, Naoko: The Military, Psychiatry, and “Unfit” Soldiers, 1939–1942: *Hist. Med. Allied Sci.*: 62 (4) 461–494
- WALL L. Lewis: Did J. Marion Sims Deliberately Addict His First Fistula Patients to Opium?: *Hist. Med. Allied Sci.*: 62 (3) 336–356
- WALMSLEY, Jonathan: John Locke on Respiration: *Medical History*: 51 (4) 453–476
- WANNELL, Louise: Patients' Relatives and Psychiatric Doctors: Letter Writing in the York Retreat, 1875–1910: *Soc. Hist. Med.*: 20 (2) 297–313
- WATKINS, Elizabeth Siegel: The Medicalisation of Male Menopause in America: *Soc. Hist. Med.*: 20 (2) 369–388
- WEITZEL, Hans: Zum Polyeder auf A. Dürers Stich Melencolia I — ein Nürnberger Skizzenblatt mit Darstellungen archimedischer Körper: *Sudhoffs Archiv*: 91 (2) 129–173
- WESTWOOD, Louise: Care in the Community of the Mentally Disordered: The Case of the Guardianship Society, 1900–1939: *Soc. Hist. Med.*: 20 (1) 57–72
- WIEDEMANN, U./BURGMAIR, W./WEBER, M. M.: Die Hochstbegabtenstudie von Adele Juda 1927–1955. Höhepunkt und Ende der psychiatrischen Ge-



- nialenforschung in Deutschland: Sudhoffs Archiv: 91 (1) 20–37
- WOODS, Robert: Medical and Demographic History: Inseparable?: Soc. Hist. Med.: 20 (3) 483–503
- WOODS, Robert: Lying-in and Laying-out: Fetal health and the Contribution of Midwifery: Bull. Hist. Med.: 81 (4) 730–759
- WUJASTYK, Dominik: A Persian Anatomical Image in a non-Muslim Manuscript from Gujarat: Medical History: 51 (2) 237–242
- ZWEINIGER-BARGIELOWSKA, Ina: Raising a Nation of ‘Good Animals’: The New Health Society and Health Education Campaigns in Interwar Britain: Soc. Hist. Med.: 20 (1) 73–89